

令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事

建築本体工事						電気設備工事・機械設備工事		
図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺	図面番号	図面名称	縮尺
A-00	表紙 図面リスト		(構造)			(電気設備)		
(意匠)			S-01	鉄骨標準図		E-01	電気設備工事特記仕様書	
A-01	改修工事特記仕様書(1)		S-02	床伏図・梁伏図・構造詳細図	1/100 1/20・1/10	E-02	動力分電盤・照明器具姿図	
A-02	改修工事特記仕様書(2)					E-03	幹線設備図	1/100
A-03	改修工事特記仕様書(3)					E-04	動力・コンセント設備図	1/50
A-04	改修工事特記仕様書(4)					E-05	電灯設備図	1/50
A-05	解体工事仕様書					E-06	弱電・自動火災報知設備図	1/50
A-06	配置図・仮設計画図	1/500						
A-07	工事概要・仕上表							
A-08	現況平面詳細図・部分詳細図	1/50・1/10				(機械設備)		
A-09	改修後平面詳細図・部分詳細図	1/50・1/10				M-01	機械設備工事特記仕様書	
A-10	屋根伏図・天井伏図	1/100				M-02	配置図・凡例・機器表	1/500
A-11	立面図(1)	1/50				M-03	現況機械設備平面図	1/50
A-12	立面図(2)	1/50				M-04	改修後機械設備平面図	1/50
A-13	矩計図	1/30						
A-14	展開図(1)	1/50						
A-15	展開図(2)	1/50						
A-16	建具表	1/100・1/50						
A-17	一般図・家具詳細図	1/100 1/20・1/10						
							計29枚(表紙を除く)	



5 建具 改修 工事	1 改修工法	[5. 1. 3] 建具の種類 かぶせ工法 撤去工法 適用箇所 ・アルミニウム製建具 ・樹脂製建具 ・鋼製建具 ・ステンレス製建具 新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 新規建具周囲の補修工法及び範囲	8 鋼製軽量建具	[5. 2. 2][5. 2~4] 性能等級 簡易気密型 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 鋼板 鋼板の厚さ 召合せ	15 軽量シャッター	[5. 11. 2~4] 開閉形式 耐風圧強度 スラットの材質 めっき付着量 めっき付着量 めっき付着量 スラットの形状	19 ガラス用フィルム	名称 種類 張り面 性能値 ・ガラス飛散防止フィルム ・日射調整フィルム 品質
	2 防火戸	[5. 1. 4] ・適用する ・適用しない	9 ステンレス製建具	[5. 2. 2][5. 4. 2][5. 6. 2~4] 性能等級 簡易気密型 外部に面する建具の耐風圧性 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 鋼板 鋼板の厚さ ステンレス鋼板の曲げ加工	16 オーバーヘッドドア	[5. 12. 2, 3] セクション材料 ※スチールタイプ ※アルミニウムタイプ ※ファイバーグラスタイプ	① 改修範囲	既存開口切替の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より側面 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま
	3 見本の製作等	[5. 1. 5] 建具見本の製作 建具見本の程度 特殊な建具の仮組	⑩ 建具用金物	[5. 7. 2, 3] 金物の種類・見え掛り部の材質等 樹脂製建具に使用する丁番 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置	⑪ ガラス	[3. 7][5. 13. 2~4][表5. 13. 1] ・合わせガラス ・フロート合わせガラス ・網入磨き合わせガラス	② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シート等の除去 合成樹脂塗床材の除去工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4層外壁改修工事による改修後の床の清掃範囲
	4 防犯建物部品	[5. 1. 7] ・適用する ・適用しない	⑪ 鍵	[5. 7. 4] マスターキー その他の鍵 鍵箱	12 自動ドア開閉装置	[5. 8. 2, 3] 自動ドア 性能 防錆 センサーの種類 凍結防止	③ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修)
	⑤ アルミニウム製建具	[5. 2. 2, 4, 5][表 5. 2. 2] 性能等級 外部に面する建具 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 枠の見込み寸法 表面処理 屋内の建具 結露水の処理方法 水切り板、ぜん板 網戸等	13 自閉式上吊り引戸装置	[5. 9. 3] 性能 (試験) 工事建築材料等品質性能表による	14 重量シャッター	[5. 10. 2, 3] シャッターの種類 性能 開閉機能による種類 一般重量シャッター 外壁用防火シャッター 屋内用防火シャッター 屋内用防煙シャッター	4 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種別 A種 B種 C種 D種
	6 樹脂製建具	[5. 3. 2~5] 性能等級 外部に面する建具 防音ドアセット 断熱ドアセット 枠の見込み寸法 表面色 水切り板、ぜん板 ガラス	14 重量シャッター	[5. 10. 2, 3] シャッターの種類 性能 開閉機能による種類 一般重量シャッター 外壁用防火シャッター 屋内用防火シャッター 屋内用防煙シャッター	18 ガラスブロック	[5. 13. 5] 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅 伸縮調整 防火性能	5 製材	・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 ・代用樹種を使用できない箇所 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集成材
	7 鋼製建具	[5. 2. 2][5. 4. 2~4][表 5. 4. 2] 性能等級 簡易気密型 外部に面する建具の耐風圧性 防音ドアセット 断熱ドアセット 耐震ドアセット 鋼板	18 ガラスブロック	[5. 13. 5] 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅 伸縮調整 防火性能	18 ガラスブロック	[5. 13. 5] 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅 伸縮調整 防火性能	⑥ 造作用集成材	ホルムアルデヒド放散量 ・「集材材の日本農林規格」による造作用集成材 ・「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 ・「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材
	MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.		
		令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	改修工事特記仕様書(2)		H32.2	A-02		

箕輪町

7	造作用単板積層材 [6.5.2]	ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の化粧加工</th> <th>防虫処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級 :)</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> 「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>※14%以下</td> <td>・</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級 :)	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																																			
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理	間伐材等の適用																																																						
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し (等級 :)	・適用する ・適用しない	・																																																						
	施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用																																																					
			・有り (加工 ・天然木加工 ・塗装加工) ・無し ()	・適用する ・適用しない	※14%以下	・																																																					
	8	床張り用合板等 [6.5.2]	ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・普通合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※5.5</td> <td></td> <td>※1類 ・2類</td> <td>広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td>・</td> </tr> </table> ・構造用合板 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> <th>表板の樹種名</th> <th>接着の程度</th> <th>板面の品質</th> <th>有効断面係数比</th> <th>防虫処理</th> <th>強度等級</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※12</td> <td>※2級以上 ・1級</td> <td></td> <td>※1類 ・特類</td> <td>※C-D以上</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> <td></td> <td>・適用する ・適用しない</td> </tr> </table> ・パーティクルボード <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表表面の状態による区分</th> <th>曲げ強さによる区分</th> <th>接着剤による区分</th> <th>難燃性による区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※15</td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>※P又はM</td> <td></td> </tr> </table> ・構造用パネル <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・1級 ・2級 ・3級 ・4級</td> </tr> </table>	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・	施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用		※12	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上		・適用する ・適用しない		・適用する ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分		※15		※13タイプ	※P又はM		施工箇所	厚さ (mm)	等級			・1級 ・2級 ・3級 ・4級
	施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防火処理	間伐材等の適用																																																		
		※5.5		※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・1等 針葉樹 ※C-D以上	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・																																																		
	施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用																																																	
		※12	※2級以上 ・1級		※1類 ・特類	※C-D以上		・適用する ・適用しない		・適用する ・適用しない																																																	
施工箇所	厚さ (mm)	表表面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分																																																						
	※15		※13タイプ	※P又はM																																																							
施工箇所	厚さ (mm)	等級																																																									
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級																																																									
9	接着剤 [6.5.3] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4.5]	接着剤に含まれる可塑剤は、難燃性のものとする。 ホルムアルデヒド放数量 ※ 規制対象外																																																									
10	防菌・防蟻処理 [6.5.5]	・防菌、防蟻処理が必要な樹種による製材及び集成材 適用部位 : () ・薬剤の加圧注入による防菌・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4</td> </tr> </table> ・薬剤の塗布等による防菌・防蟻処理 <table border="1"> <tr> <th>適用部位</th> <th>処理の方法</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による</td> </tr> </table>	適用部位	保存処理性能区分		・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4	適用部位	処理の方法		※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による																																																	
適用部位	保存処理性能区分																																																										
	・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4 ・ K2 ・ K3 ・ K4																																																										
適用部位	処理の方法																																																										
	※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による ※改修標準仕様書6.5.5(a)(iii)②7~11による																																																										
11	軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]	野縁等の種類 屋外 (※ 25 形 ・ 19 形) 屋内 (※ 19 形 ・ 25 形) ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法 ※適用する (建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力及び積雪荷重に対応した工法) ・適用しない 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 ・図示 ・ 周辺部の端からの間隔 ・図示 ・ 野縁の間隔 ・図示 ・ 既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ・行う (屋外の場合の方法 :) ・行わない ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・天井のふとところが1.5m以下3.0m以下の場合 補強方法 ※改修標準仕様書6.6.4(h)(1)(2)による ・天井のふとところが3.0mを超える場合 補強方法 ※図示 ・ ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 ・ 補強方法 ※図示 ・																																																									
12	軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]	スタッド、ランナーの種類 ※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・																																																									

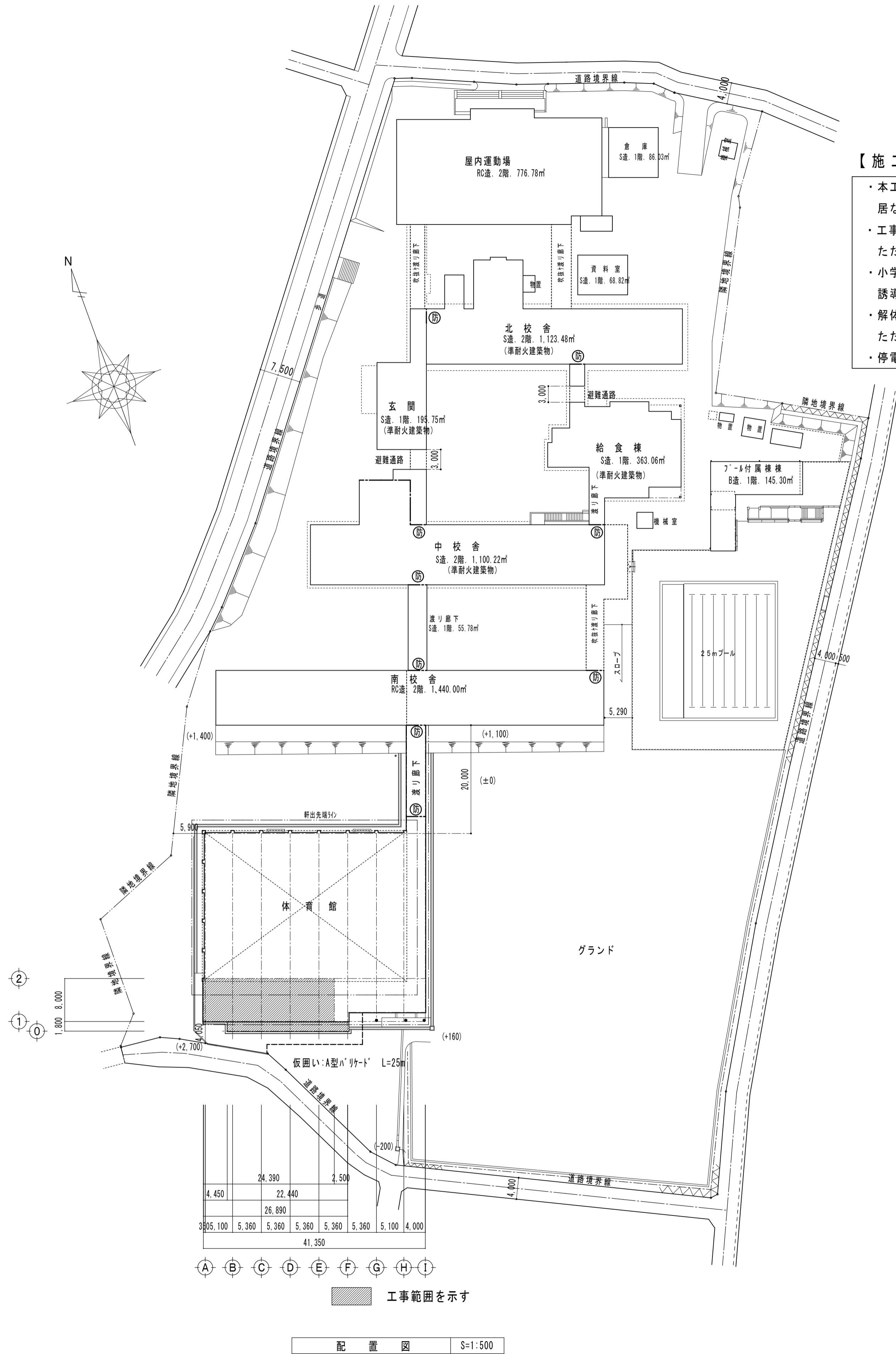
13	ビニル床シート [6.8.2.3]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>○ 発泡層のないもの</td> <td>※FS (複層ビニル床シート)</td> <td></td> <td>○ 無地 ・メープル柄 ・無地 ・メープル柄 ・柄物</td> <td>・帯電防止 ・耐動荷重性</td> <td>※ 2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ 発泡層のあるもの</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 工法 ※ 熱溶接工法 ・ 突付け (施工箇所 :) 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は静電電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考	○ 発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		○ 無地 ・メープル柄 ・無地 ・メープル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性	※ 2.0		○ 発泡層のあるもの																																		
	種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																												
	○ 発泡層のないもの	※FS (複層ビニル床シート)		○ 無地 ・メープル柄 ・無地 ・メープル柄 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性	※ 2.0																																													
	○ 発泡層のあるもの																																																		
	14	ビニル床タイル [6.8.2]	<table border="1"> <tr> <th>JIS記号</th> <th>施工箇所</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>特殊機能</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ FT (複層ビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ KT (コブシシボビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 300×300 ・ 450×450</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>・ 2.0 ・ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ FOA (置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・ 無地 ・ 柄物</td> <td>・ 500×500</td> <td>・ 帯電防止 ・ 防滑性</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> 特殊機能 帯電防止 ・ 帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満 又は静電電気抵抗値 (JIS A 1454) 1×10 ¹⁰ ~1×10 ¹¹ Ω程度 防滑性 ・	JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考	・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0		・ KT (コブシシボビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0		・ FOA (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・																					
	JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考																																												
	・ FT (複層ビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	※ 2.0 ・ 2.5 ・ 3.0																																													
	・ KT (コブシシボビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 300×300 ・ 450×450	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・ 2.0 ・ 3.0																																													
	・ FOA (置敷きビニル床タイル)		・ 無地 ・ 柄物	・ 500×500	・ 帯電防止 ・ 防滑性	・																																													
	15	ビニル幅木 [6.8.2]	材質 ○ 軟質 ・ 硬質 高さ (mm) ※60 ○100 厚さ (mm) ※1.5以上 ・																																																
16	ゴム床タイル [6.8.2]	色柄 () 厚さ (mm) ・ 3.0 ・ 4.5 ・ 6.0 ・ 9.0 寸法 (mm) ()																																																	
17	カーペット敷き [6.9.3~4] [表6.9.1]	・ 織じゅうたん <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>バイル形状</th> <th>織り方</th> <th>色柄等</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ カットバイル</td> <td>・ ツイル</td> <td>・ 無地</td> <td>・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ ループバイル</td> <td>・ ダブ</td> <td>・ 柄物 (標準品)</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>・ カット、ループ併用</td> <td>・ ツイル</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ タフテッドカーペット <table border="1"> <tr> <th>バイル形状</th> <th>バイル長さ (mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ カットバイル</td> <td>・ 5~7</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ ループバイル</td> <td>・ 4~6</td> <td>・ ダブ</td> <td>・ 適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ レベルバイル</td> <td>・ 4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ カット、ループ併用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> 下敷き材 (グリップ工法の場合) ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm ・ ニードルパンチカーペット 厚さ (mm) () 帯電性 ・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧3kV 以下 ・) ・ 適用しない 備考 ()	種類	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考	・ A種	・ カットバイル	・ ツイル	・ 無地	・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)		・ B種	・ ループバイル	・ ダブ	・ 柄物 (標準品)	・ 適用しない		・ C種	・ カット、ループ併用	・ ツイル				バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考	・ カットバイル	・ 5~7	※全面接着工法	・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)		・ ループバイル	・ 4~6	・ ダブ	・ 適用しない		・ レベルバイル	・ 4				・ カット、ループ併用				
種類	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考																																														
・ A種	・ カットバイル	・ ツイル	・ 無地	・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)																																															
・ B種	・ ループバイル	・ ダブ	・ 柄物 (標準品)	・ 適用しない																																															
・ C種	・ カット、ループ併用	・ ツイル																																																	
バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考																																															
・ カットバイル	・ 5~7	※全面接着工法	・ 適用する (性能 : ※人体帯電電圧 3kV以下 ・)																																																
・ ループバイル	・ 4~6	・ ダブ	・ 適用しない																																																
・ レベルバイル	・ 4																																																		
・ カット、ループ併用																																																			
18	合成樹脂塗床 [6.10.2~3]	・ 厚膜型塗床材 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 弾性ウレタン樹脂系塗床</td> <td></td> <td>・ 薄膜流し展べ工法</td> <td>・ 平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材</td> <td></td> <td>・ 厚膜流し展べ工法</td> <td>・ 防滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・ 厚膜型塗床材</td> <td></td> <td>・ 樹脂モルタル工法</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 薄膜型塗床材</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)</td> <td></td> <td></td> <td>工程 塗布量 (kg/m²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ・ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色 ・</td> </tr> </table> 塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・	種類	施工箇所	工法	仕上げの種類	・ 厚膜型塗床材			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ	・ 弾性ウレタン樹脂系塗床		・ 薄膜流し展べ工法	・ 平滑仕上げ	・ 厚膜型塗床材		・ 厚膜流し展べ工法	・ 防滑仕上げ	・ 厚膜型塗床材		・ 樹脂モルタル工法		・ 薄膜型塗床材				・ アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ・ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色 ・																					
種類	施工箇所	工法	仕上げの種類																																																
・ 厚膜型塗床材			※平滑仕上げ ・ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ																																																
・ 弾性ウレタン樹脂系塗床		・ 薄膜流し展べ工法	・ 平滑仕上げ																																																
・ 厚膜型塗床材		・ 厚膜流し展べ工法	・ 防滑仕上げ																																																
・ 厚膜型塗床材		・ 樹脂モルタル工法																																																	
・ 薄膜型塗床材																																																			
・ アクリル樹脂塗床 (JIS K 5970)			工程 塗布量 (kg/m ²) ・ 表面仕上げ ・ 平滑 ・ 防滑 溶剤 ・ 水性色 ・ 溶剤系 ・ 無溶剤系 仕上げ色 ・ 標準色 ・																																																

19	フローリング張り [6.11.2~7]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>大きさ</th> <th>仕上塗装</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ フローリングボード</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td>15</td> <td>板幅75 板長さ500以上</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 釘留め工法 (直張り)</td> <td>※ なら</td> <td>・ 12以上</td> <td>板幅75 板長さ300以上</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>・ 12以上</td> <td>板幅75 板長さ300以上</td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フローリングブロック</td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>15</td> <td>303×303</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ モルタル埋込工法</td> <td>※ なら</td> <td>※15</td> <td>※303×303</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ゼアバーコート</td> <td>・ 接着工法</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> </table> 天然木化粧複合フローリング <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>工法</th> <th>樹種</th> <th>厚さ/大きさ (mm)</th> <th>種別</th> <th>防湿処理</th> <th>塗装仕上げ</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> <tr> <td>・ 複合1種フローリング</td> <td>・ 釘留め工法 (根太張り)</td> <td>※ なら</td> <td></td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種</td> <td>・ 適用する ・ 適用しない</td> <td>・ 塗装品 ・ 無塗装品</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 複合2種フローリング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 複合3種フローリング</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 接着工法</td> <td>※ なら</td> <td>板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※ 規制対象外 接着工法の場合の緩衝材 ※合成樹脂発泡シート 現場塗装仕上げ ・ 行う (施工箇所 :) ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・ オイルステインの上、ワニス塗り ・ 生地のままワニス塗り ・ 行わない [6.12.2]	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用	・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・		・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・		・ 接着工法	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・	・ フローリングブロック	・ 接着工法	※ なら	15	303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・		・ モルタル埋込工法	※ なら	※15	※303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・	・ ゼアバーコート	・ 接着工法				・ 塗装品 ・ 無塗装品	・	種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用	・ 複合1種フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 適用する ・ 適用しない	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・	・ 複合2種フローリング								・ 複合3種フローリング									・ 接着工法	※ なら	板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上																																									
	種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用																																																																																																																									
	・ フローリングボード	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら	15	板幅75 板長さ500以上	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																									
		・ 釘留め工法 (直張り)	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・																																																																																																																									
		・ 接着工法	※ なら	・ 12以上	板幅75 板長さ300以上		・																																																																																																																									
	・ フローリングブロック	・ 接着工法	※ なら	15	303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																									
		・ モルタル埋込工法	※ なら	※15	※303×303	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																									
	・ ゼアバーコート	・ 接着工法				・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																									
	種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用																																																																																																																								
	・ 複合1種フローリング	・ 釘留め工法 (根太張り)	※ なら		・ A種 ・ B種 ・ C種	・ 適用する ・ 適用しない	・ 塗装品 ・ 無塗装品	・																																																																																																																								
・ 複合2種フローリング																																																																																																																																
・ 複合3種フローリング																																																																																																																																
	・ 接着工法	※ なら	板厚 ・ 8以上 ・ 板幅 ・ 75以上 ・ 板長さ ・ 900以上																																																																																																																													
20	畳敷き [6.12.2]	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 (畳床 : KT-I ・ KT-II ・ KT-III ・ KT-K ・ KT-N) 下地の種類 ・ 標準仕様書 表12.6.1による床組 ・ ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)																																																																																																																														
21	せっこうボードその他のボード張り [6.13.2~3]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>JIS 記号</th> <th>厚さ (mm)、規格等</th> </tr> <tr> <td>・ 硬質木毛セメント板</td> <td>HW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 中質木毛セメント板</td> <td>MW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木毛セメント板</td> <td>NW</td> <td>・ 15 ・ 20 ・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質木片セメント板</td> <td>HF</td> <td>・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 普通木片セメント板</td> <td>NF</td> <td>・ 30 ・</td> </tr> <tr> <td>・ けい酸カルシウム板 (フレキシブルボード)</td> <td>0.8FK 1.0FK</td> <td>タイプ 2 (無石棉) ○ 6 ・ 8</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール化粧吸音板</td> <td>DR</td> <td>・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・)</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール吸音板 1号</td> <td>RW-B</td> <td>・ 25 ・</td> </tr> <tr> <td>・ グラスウール吸音板 32K</td> <td>GW-B</td> <td>・ 25 (5' 5000包)</td> </tr> <tr> <td>○ せっこうボード</td> <td>GB-R</td> <td>○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 不燃構造せっこうボード</td> <td>GB-NC</td> <td>9.5 (不燃)化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)</td> </tr> <tr> <td>・ シーゾングせっこうボード</td> <td>GB-S</td> <td>12.5 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ 強化せっこうボード</td> <td>GB-F</td> <td>・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)</td> </tr> <tr> <td>・ せっこうラスボード</td> <td>GB-L</td> <td>9.5</td> </tr> <tr> <td>・ 化粧せっこうボード (木目)</td> <td>GB-D</td> <td>12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り</td> </tr> <tr> <td>○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)</td> <td>GB-D</td> <td>9.5 (準不燃)</td> </tr> </table> ○ 普通合板 <table border="1"> <tr> <th>表面の材質</th> <th>樹種名 ()</th> <th>厚さ (mm) ()</th> <th>接着の程度 ()</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td>生地、透明塗料塗り (※初年度)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>不透明塗料塗り (※1年程度)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>板面の品質 ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>厚さ (mm) ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>接着の程度 ()</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防虫処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 難燃処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 防火処理</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ○ 天然木化粧合板 <table border="1"> <tr> <th>樹種名 ()</th> <th>厚さ (mm) ()</th> <th>接着の程度 ()</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>防火処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 特殊加工化粧合板 化粧加工の方法 (・ オートレイン ・ プリント ・ 塗装) 表面性能 () タイプ 厚さ (mm) () ※B種 ・ A種 接着の程度 () ・ 防虫処理 ・ 難燃処理 ・ 防火処理	種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等	・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・	・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・	・ 普通木片セメント板	NF	・ 30 ・	・ けい酸カルシウム板 (フレキシブルボード)	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石棉) ○ 6 ・ 8	・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・)	・ ロックウール吸音板 1号	RW-B	・ 25 ・	・ グラスウール吸音板 32K	GW-B	・ 25 (5' 5000包)	○ せっこうボード	GB-R	○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ 不燃構造せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃)化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)	・ シーゾングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)	・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)	・ せっこうラスボード	GB-L	9.5	・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り	○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)	表面の材質	樹種名 ()	厚さ (mm) ()	接着の程度 ()	防虫処理	難燃処理	防火処理	生地、透明塗料塗り (※初年度)							不透明塗料塗り (※1年程度)							板面の品質 ()							厚さ (mm) ()							接着の程度 ()							・ 防虫処理							・ 難燃処理							・ 防火処理							樹種名 ()	厚さ (mm) ()	接着の程度 ()	防虫処理	難燃処理	防火処理						
種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等																																																																																																																														
・ 硬質木毛セメント板	HW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																														
・ 中質木毛セメント板	MW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																														
・ 普通木毛セメント板	NW	・ 15 ・ 20 ・ 25 ・																																																																																																																														
・ 硬質木片セメント板	HF	・ 12 ・ 15 ・ 18 ・ 21 ・																																																																																																																														
・ 普通木片セメント板	NF	・ 30 ・																																																																																																																														
・ けい酸カルシウム板 (フレキシブルボード)	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石棉) ○ 6 ・ 8																																																																																																																														
・ ロックウール化粧吸音板	DR	・ フラットタイプ (・ 9 (不燃) ・ 12 ・) ・ 凹凸タイプ (・ 12 (不燃) ・ 15 ・ 19 ・)																																																																																																																														
・ ロックウール吸音板 1号	RW-B	・ 25 ・																																																																																																																														
・ グラスウール吸音板 32K	GW-B	・ 25 (5' 5000包)																																																																																																																														
○ せっこうボード	GB-R	○ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																														
・ 不燃構造せっこうボード	GB-NC	9.5 (不燃)化粧無 (下地張り用) 化粧有 (トラバーチン模様)																																																																																																																														
・ シーゾングせっこうボード	GB-S	12.5 (不燃)																																																																																																																														
・ 強化せっこうボード	GB-F	・ 12.5 (不燃) ・ 15 (不燃)																																																																																																																														
・ せっこうラスボード	GB-L	9.5																																																																																																																														
・ 化粧せっこうボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・ 柱目 ・ 板目) 専用下地材有り																																																																																																																														
○ 化粧せっこうボード (トラバーチン模様)	GB-D	9.5 (準不燃)																																																																																																																														
表面の材質	樹種名 ()	厚さ (mm) ()	接着の程度 ()	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																										
生地、透明塗料塗り (※初年度)																																																																																																																																
不透明塗料塗り (※1年程度)																																																																																																																																
板面の品質 ()																																																																																																																																
厚さ (mm) ()																																																																																																																																
接着の程度 ()																																																																																																																																
・ 防虫処理																																																																																																																																
・ 難燃処理																																																																																																																																
・ 防火処理																																																																																																																																
樹種名 ()	厚さ (mm) ()	接着の程度 ()	防虫処理	難燃処理	防火処理																																																																																																																											
・ メラミン樹脂化粧板	JIS K 6903 による (※ 1.2 ・)																																																																																																																															
・ 中質木毛樹脂化粧板	MDF	・ 3 ・ 7 ・ 9 ・ 12																																																																																																																														
・ 厚膜張りパーティクルボード			・ 無研磨板 VN ・ 研磨板 VS ・ 10 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																													
・ 化粧パーティクルボード			・ 単板オートレイン DV ・ プリントオートレイン DO ・ 塗装 DC ・ 10 (難燃) ・ 12 (難燃)																																																																																																																													
・ ハードボード (素地)	HB		・ 未研磨板 (・ オートレイン ・ プリント) RN ・ 研磨板 (・ オートレイン ・ プリント) RS																																																																																																																													
・ ハードボード (化粧)			・ 内装用 D1 ・ 外装用 DE ・ 2.5 ・ 3.5 ・ 5 ・ 7																																																																																																																													
・ インシュレーションボード	IB	A級 (・ 天井仕上 ・ 内装仕上) ・ 9 ・ 12 ・ 15 ・ 18																																																																																																																														

22	壁紙張り [6.14.2~3]	<p>せっこうボード等の下地は図示による。 適当シール材 ・ 適用する (・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド) ・ 適用しない 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ 合板類の張付け ※B種 ・ A種 せっこうボードの目地工法 ・ 仕上げ表による ・</p> <p>[6.14.2~3]</p> <p>ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ 壁紙の種類 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>フタ</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃</td> </tr> </table> モルタル・プaster一面の下地調整 ※RB種 ・ コンクリート・ALC一面の下地調整 ※RB種 ・ せっこうボード面の下地調整 ※RB種 ・</p> <p>[7.1.3]</p> <p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所 :)</p> <p>[7.2.2~7]</p> <p>塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ○ 図示 ・</p> <p>下地調整 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">下地の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td>木部</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂吊めつき面</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>垂吊めつき面 (鋼製建具)</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R C種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>モルタル、プaster一面</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面</td> <td></td> <td>・ R A種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※ R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>[7.3.2~3]</p> <p>錆止め塗料塗りの種別 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">塗料</th> <th rowspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">鉄鋼面</td> <td>EP-G以外</td> <td>塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>A種 ※C種 ・ A種 ※A種 ・ B種 ※C種 ・</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>B種 ※A種 ・ B種 ※B種 ・</td> </tr> <tr> <td>EP-G以外</td> <td>塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A種 ※A種 ・ ※C種 ※C種 ・</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C種 ※A種 ・ C種 ※A種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">垂吊めつき面</td> <td>EP-G以外</td> <td>塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A種 ※A種 ・ ※C種 ※C種 ・</td> </tr> <tr> <td>EP-G</td> <td>塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C種 ※A種 ・ C種 ※A種 ・</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>垂吊めつき鋼面 (鋼製建具)</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・ 2種</td> <td>垂吊めつき鋼面 (鋼製建具以外)</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>○ クリヤラッカー塗り (CL)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>○ 耐油性塗料塗り (DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級 (3) 級</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>垂吊めつき鋼面</td> <td>・</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td></td> <td>上塗り等級 () 級</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>コナリ面及び押出成形材の板面</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)</td> <td>コナリ面等</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の木部</td> <td>※B種 ・</td> <td>※A種 ・</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の垂吊めつき鋼面</td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)</td> <td></td> <td>※B種 ・</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ ラッカーエナメル塗り (LE)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>○ オイルステイン塗り (OS)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 木材保護塗料塗り (WP)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (コナリ面、鉄鋼面、プaster一面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしきり ※改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしきりしめるシーラーとする ・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしきり ※改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしきりしめるシーラーとする ・</p> <p>・ 高日射反射塗料塗り (S) 下地調整 (改修標準仕様書表7.2.2) ・ R A種 ・ R B種 ・ R C種</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="4">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付量 (kg/m²)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料塗り</td> <td rowspan="2">JIS K 5675</td> <td rowspan="2">屋根用塗料</td> <td rowspan="2">2種</td> <td>・ 1級</td> <td rowspan="3">塗料製造所の仕様による</td> </tr> <tr> <td>・ 2級</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 3級</td> <td></td> </tr> </table> </p></p>	施工箇所	紙	繊維	フタ	無機質	その他	防火種別	備考								・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃	下地の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※ R B種	・ R A種 ・ R B種	・	鉄鋼面	※ R B種	・ R A種		垂吊めつき面	※ R B種	・ R A種		垂吊めつき面 (鋼製建具)	※ R B種	・ R C種		モルタル、プaster一面	※ R B種	・ R A種 ・ R B種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R B種	・ R A種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面		・ R A種	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※ R B種	・ R A種 ・ R B種	・	塗装面	塗料		工程	塗替え	新規	鉄鋼面	EP-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	A種 ※C種 ・ A種 ※A種 ・ B種 ※C種 ・	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	B種 ※A種 ・ B種 ※B種 ・	EP-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	※A種 ※A種 ・ ※C種 ※C種 ・	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	C種 ※A種 ・ C種 ※A種 ・	垂吊めつき面	EP-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	※A種 ※A種 ・ ※C種 ※C種 ・	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	C種 ※A種 ・ C種 ※A種 ・	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種	垂吊めつき鋼面 (鋼製建具)	※B種 ・	※B種 ・	塗料の種類 ※1種 ・ 2種	垂吊めつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	○ クリヤラッカー塗り (CL)				・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)				・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	○ 耐油性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (3) 級	・	A種		垂吊めつき鋼面	・	A種		上塗り等級 () 級				コナリ面及び押出成形材の板面			○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コナリ面等	※B種 ・	※B種 ・ A種	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種	屋内の垂吊めつき鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種	・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	※B種 ・	・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・	※B種 ・ A種	・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・ ラッカーエナメル塗り (LE)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	○ オイルステイン塗り (OS)				・ 木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	工程	塗料その他				塗付量 (kg/m ²)	規格番号	規格名称	種類	等級	塗料塗り	JIS K 5675	屋根用塗料	2種	・ 1級	塗料製造所の仕様による	・ 2級					・ 3級	
	施工箇所	紙	繊維	フタ	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																																																																																																																												
								・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃 ・ 不燃 ・ 準不燃																																																																																																																																																																																												
	下地の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修																																																																																																																																																																																																
		塗替え	新規																																																																																																																																																																																																	
	木部	※ R B種	・ R A種 ・ R B種	・																																																																																																																																																																																																
	鉄鋼面	※ R B種	・ R A種																																																																																																																																																																																																	
	垂吊めつき面	※ R B種	・ R A種																																																																																																																																																																																																	
	垂吊めつき面 (鋼製建具)	※ R B種	・ R C種																																																																																																																																																																																																	
	モルタル、プaster一面	※ R B種	・ R A種 ・ R B種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																
コンクリート面 (DP以外)、ALCパネル面	※ R B種	・ R A種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																	
コンクリート面 (DP)、押出成形セメント板面		・ R A種	・ 行う ・ 行わない																																																																																																																																																																																																	
せっこうボード面及びその他ボード面	※ R B種	・ R A種 ・ R B種	・																																																																																																																																																																																																	
塗装面	塗料		工程																																																																																																																																																																																																	
	塗替え	新規																																																																																																																																																																																																		
鉄鋼面	EP-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	A種 ※C種 ・ A種 ※A種 ・ B種 ※C種 ・																																																																																																																																																																																																	
	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	B種 ※A種 ・ B種 ※B種 ・																																																																																																																																																																																																	
	EP-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	※A種 ※A種 ・ ※C種 ※C種 ・																																																																																																																																																																																																	
	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	C種 ※A種 ・ C種 ※A種 ・																																																																																																																																																																																																	
垂吊めつき面	EP-G以外	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	※A種 ※A種 ・ ※C種 ※C種 ・																																																																																																																																																																																																	
	EP-G	塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	C種 ※A種 ・ C種 ※A種 ・																																																																																																																																																																																																	
	塗装の種類	塗装面	工程																																																																																																																																																																																																	
			塗替え	新規																																																																																																																																																																																																
・ 合成樹脂顔合ペイント塗り (SOP)	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・																																																																																																																																																																																																	
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																																																	
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
	垂吊めつき鋼面 (鋼製建具)	※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																																																	
塗料の種類 ※1種 ・ 2種	垂吊めつき鋼面 (鋼製建具以外)	※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																																																	
		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
○ クリヤラッカー塗り (CL)																																																																																																																																																																																																				
・ フタル酸樹脂エナメル塗り (FE)																																																																																																																																																																																																				
・ アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り (NAD)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
○ 耐油性塗料塗り (DP)	鉄鋼面 上塗り等級 (3) 級	・	A種																																																																																																																																																																																																	
	垂吊めつき鋼面	・	A種																																																																																																																																																																																																	
	上塗り等級 () 級																																																																																																																																																																																																			
	コナリ面及び押出成形材の板面																																																																																																																																																																																																			
○ つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)	コナリ面等	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・																																																																																																																																																																																																	
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
	屋内の垂吊めつき鋼面	※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
・ 合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP)		※B種 ・	※B種 ・																																																																																																																																																																																																	
・ 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り (EP-T)		※B種 ・	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
・ ウレタン樹脂ワニス塗り (UC)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
・ ラッカーエナメル塗り (LE)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
○ オイルステイン塗り (OS)																																																																																																																																																																																																				
・ 木材保護塗料塗り (WP)		※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																																																																																																																																	
工程	塗料その他				塗付量 (kg/m ²)																																																																																																																																																																																															
	規格番号	規格名称	種類	等級																																																																																																																																																																																																
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用塗料	2種	・ 1級	塗料製造所の仕様による																																																																																																																																																																																															
				・ 2級																																																																																																																																																																																																
				・ 3級																																																																																																																																																																																																
7	塗装改修工事																																																																																																																																																																																																			
①	材料 [7.1.3]																																																																																																																																																																																																			
②	下地調整 [7.2.2~7]																																																																																																																																																																																																			
③	錆止め塗料塗り [7.3.2~3]																																																																																																																																																																																																			
④	塗装																																																																																																																																																																																																			

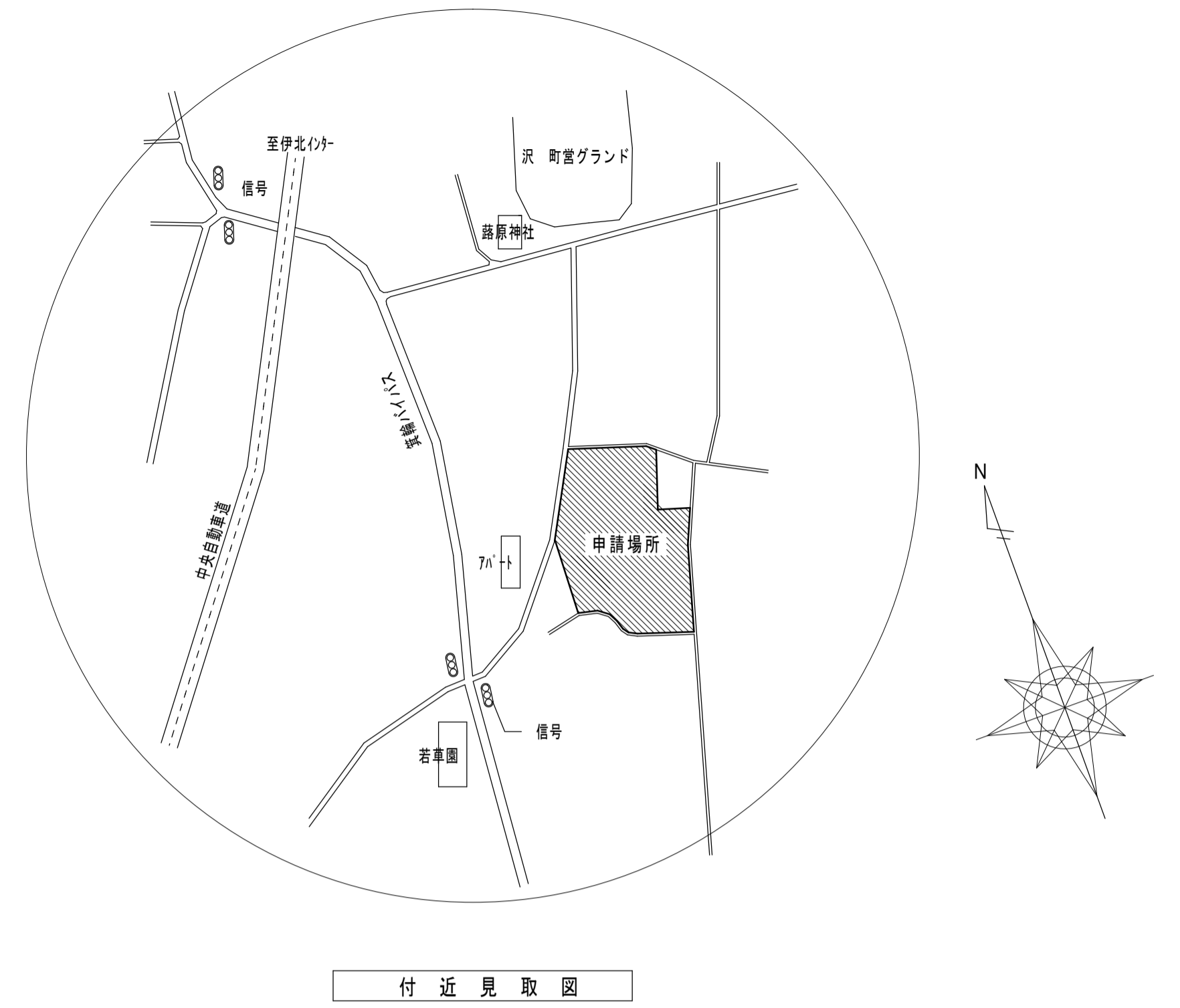
<p>8 鉄筋コンクリート工事</p> <p><一般事項> ① 適用範囲</p> <p><鉄筋> ② 鉄筋の種類</p> <p>3 溶接金網</p> <p>4 鉄筋の継手</p> <p>⑤ 帯筋</p> <p>⑥ 鉄筋のかぶり厚さ</p> <p>7 圧接完了後の試験</p>	<p>※改修特記仕様書 1 仕様書 1 工事概要 3 工事種目に掲げる下記の工事項目番号 (番号○～番号○までの工事種目) のうち、改修標準仕様書8.1.1適用範囲に定める工事内容 ・改修特記仕様書 1 仕様書 1 工事概要 3 工事種目に掲げる下記の工事項目番号 ・番号○～番号○までの工事種目)のうち、改修標準仕様書8.1.1適用範囲に定めるもの以外の工事内容</p> <p>[8. 2. 1][表8. 2. 1]</p> <table border="1"> <tr> <th>規格の名称</th> <th>種類の記号</th> <th>呼び径 (mm)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)</td> <td>・ SD295A</td> <td>※ D16以下</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ SD345</td> <td>※ D19以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>形状等 [8. 2. 2]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)</th> <th>使用部位</th> </tr> <tr> <td>・ 溶接金網</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 鉄筋格子</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>継手方法 [8. 3. 4]</p> <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>継手方法と適用径の範囲</th> </tr> <tr> <td>・ 柱主筋</td> <td>・ ガス圧継手 (D19以上) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 梁主筋</td> <td>・ ガス圧継手 (D19以上) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 耐力壁</td> <td>・ 重ね継手 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など</td> <td>・ ガス圧継手 () ・ 重ね継手 ()</td> </tr> </table> <p>鉄筋の継手位置 [8. 3. 4][表8. 3. 2][表8. 3. 3]</p> <p>・ 図示 ・</p> <p>重ね継手 主筋及び耐力壁の重ね長さ ・ 図示 ・ 改修標準仕様書 表8. 3. 2による</p> <p>組立の形 [8. 3. 4] ○ 図示 ・</p> <p>⑥ 鉄筋のかぶり厚さ [8. 3. 5][表8. 3. 6] 最小かぶり厚さ(目地處から算出を行う) ※標準仕様書 表8. 3. 6による ・ 図示 ・</p> <p>柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無 ○ 無し ・ 有り 適用箇所 () 主筋のかぶり厚さ ・ 最小かぶり厚さ () mm 特殊な要求性能におけるコンクリートの部分 (耐久性上不利な部分) ○ 無し ・ 有り 適用箇所 () ・ 改修標準仕様書 表8. 3. 6に加える厚さ () mm</p> <p>・ 超音波探傷試験 [8. 3. 8](5. 4. 9)(5. 4. 10) 箇所数 ・ 全圧接部 適用箇所 ・ 図示 ・ ・ 標準仕様書5. 4. 9(2) (i) による箇所数 適用箇所 ・ 図示 ・ ・ 引張試験 (5. 4. 9)(5. 4. 10) 適用箇所 ・ 図示 ・</p>	規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所	鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・ SD295A	※ D16以下		・ SD345	※ D19以上		種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位	・ 溶接金網				・ 鉄筋格子				適用箇所	継手方法と適用径の範囲	・ 柱主筋	・ ガス圧継手 (D19以上) ・	・ 梁主筋	・ ガス圧継手 (D19以上) ・	・ 耐力壁	・ 重ね継手 ・	・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ ガス圧継手 () ・ 重ね継手 ()	<p>⑬ 混和材料 [8. 2. 5][8. 5. 8]</p> <p>12 モルタル及びグラウト材 [8. 2. 11]</p> <p>・ 混和剤の種類 (JIS A 6204によるA E剤、A E減水剤又は高性能A E減水剤とし、化学混和剤の塩化イオン量による区分はI種とする。 また、防錆材を併用する場合はJIS A 6205による防錆材とする。) ・ 混和剤の種類 (JIS A 6201によるフライアッシュのI種、II種若しくはI種、JIS A 6206による高炉スラグ微粉末、JIS A 6207によるシリカフューム又はJIS A 6202による膨張剤とする。)</p> <p>・ 構造体用モルタル [8. 2. 11] 材料 ・ 改修標準仕様書[8. 2. 5] 圧縮強度 ・ 図示 ・ フロー値 ・ 図示 ・ ・ グラウト材 [8. 2. 11] 無収縮グラウト材の材質等</p> <p>混和材 セメント系(酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの)とする。 セメント JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 砂 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。 ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。 無収縮グラウト材の品質及び試験方法 コンシステンシー Jロートによる落下時間 練混ぜ完了から3分以内の値 : 8±2秒 ブリージング 練り混ぜ2時間後のブリージング率 : 2.0%以下 凝結時間 凝結開始時間 : 1時間以上 終結時間 : 10時間以内 無収縮性 材齢7日 収縮しない 圧縮強度 材齢 3日 20.0N/mm²以上 材齢 28日 40.0N/mm²以上 塩化物量 0.30kg/m³以下 試験方法 1) NEXCO試験方法 試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。</p>	<p><鉄骨> ⑬ 鉄骨製作工場 [8. 1. 5] 製作工場の加工能力 ※建築基準法第77条の45第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国建築工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「(M)グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場 ○ 監督職員の承諾する製作工場 施工管理技術者 ※適用する ・ 適用しない ⑬ 線端距離、ボルト間隔、ゲージ等 [8. 1. 6] 鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件 ・ 図示 ・ 適用箇所 ・ 図示 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 鋼材の材質 [8. 2. 8][表8. 2. 7]</p> <table border="1"> <tr> <th>種類の記号</th> <th>適用箇所</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>STKR400</td> <td>柱</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>S S 400</td> <td>形鋼・板鋼</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>S S 400</td> <td>D. PL・B. PL</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> <tr> <td>S S C 400</td> <td>胴縁</td> <td>※JIS規格による</td> </tr> </table> <p>⑭ 高力ボルト [8. 2. 9] 区分 ○ トルシア形高力ボルト 2種 (S10T) ○ JIS形高力ボルト 2種 (F10T) 高力ボルトの径 ※ 図示 ・ すべり係数試験 ※ 行わない ・ 行う 23 溶融垂れつき高力ボルト (7. 2. 2) セットの種類 ・ 1種 (F8T相当) ・ 摩擦面の処理 ※ プラスト処理 (表面粗度50μmRz以上) 摩擦面の確認方法 ・ 図示 ・ 試験片によるすべり耐力試験 ⑭ 溶接接合 [8. 14. 7] スカラップの形状 ○ 改良型 エンドタブの切除 ・ 行なう 適用箇所 ・ 全て ・ 図示 ・ 行わない ⑭ 溶接部の試験 [8. 14. 11~12] 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ※ 行う ⑭ 錆止め塗装 [8. 16. 2][8. 16. 3][7. 3. 2][表7. 3. 1][表7. 3. 2] 塗料の種類 [8. 16. 2][8. 16. 3][7. 3. 2][表7. 3. 1][表7. 3. 2] 鉄鋼面</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 改修標準仕様書 表7. 8. 1 A種</td> <td>・ 屋外 (改修標準仕様書8. 16. 2の範囲以外) ・</td> </tr> <tr> <td>○ 改修標準仕様書 表7. 3. 1 B種</td> <td>・ 屋内 (改修標準仕様書8. 16. 2の範囲以外) ・</td> </tr> </table> <p>垂れつき面</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 改修標準仕様書 表7. 3. 2 A種</td> <td>・ 屋外、屋内 ・</td> </tr> </table> <p>鋼製スリーブの内側(鉄骨に溶接されたもの)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ 改修標準仕様書 表7. 3. 1 A種</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>27 耐火被覆材 (7. 9. 2~7)[8. 17. 2] 種類等 種類 材料・工法 適用箇所 (部位・部分) ・ 耐火材吹付け ・ 乾式吹付けロックウール ・ 半乾式吹付けロックウール ・ 湿式ロックウール ・ ・ 耐火板張り ・ 繊維混入型酸カルシウム板 ・ ・ 耐火材巻付け ・ 高耐熱ロックウール ・ ・ 5mm厚砂塗り 材料及び工法は、建築基準法に基づき定められたもの又は認定を受けたものとする。 性能 性能 適用箇所 (部位・部分) ・ 30分耐火 ・ 1時間耐火 ・ 2時間耐火 ・ 3時間耐火</p>	種類の記号	適用箇所	規格等	STKR400	柱	※JIS規格による	S S 400	形鋼・板鋼	※JIS規格による	S S 400	D. PL・B. PL	※JIS規格による	S S C 400	胴縁	※JIS規格による	種別	適用箇所	・ 改修標準仕様書 表7. 8. 1 A種	・ 屋外 (改修標準仕様書8. 16. 2の範囲以外) ・	○ 改修標準仕様書 表7. 3. 1 B種	・ 屋内 (改修標準仕様書8. 16. 2の範囲以外) ・	種別	適用箇所	・ 改修標準仕様書 表7. 3. 2 A種	・ 屋外、屋内 ・	種別	適用箇所	・ 改修標準仕様書 表7. 3. 1 A種	・	<p>⑭ アンカーボルト (7. 2. 4)(表7. 2. 3)(7. 10. 3) 適用 ・ 構造用アンカーボルト ・ JIS B 1220 又は JSS II 13-2004 ABR400 ・ JIS B 1220 又は JSS II 13-2004 ABR490 ・ ○ 建方用アンカーボルト 材質 ○ S400 アンカーボルト及びナットのねじの種類、規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度 ・ 標準仕様書 表7. 2. 3による ・ 保持及び埋込み工法 (7. 10. 3)(表7. 10. 1) ・ 構造用 ※ 図示 ・ ・ 建方用 ・ 標準仕様書 表7. 10. 1 (・ A種 ・ B種 ・ C種) による ⑭ 柱底均しモルタル (7. 2. 9)(7. 10. 3)(表7. 10. 1)[8. 2. 11] モルタルの種類 ○ 無収縮モルタル (7. 2. 9)(7. 10. 3)(表7. 10. 1)[8. 2. 11] 圧縮強度 ・ 図示 ・ 無収縮モルタルの材料及び調合 材料、調合等 ・ 標準仕様書 7. 2. 9による ・ 品質及び試験方法 ・ 標準仕様書 表7. 2. 6による ・ 工法の種別 ・ 標準仕様書 表7. 10. 2 ・ A種 [モルタル厚さ50] ・ B種 [モルタル厚さ30] ⑭ スタッドボルト (7. 2. 5)</p> <table border="1"> <tr> <th>径 (呼び名)</th> <th>長さ (呼び長さ)</th> <th>mm</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>16φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 120</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>19φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>22φ</td> <td>・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>31 溶融垂れつき 種別等 (7. 12. 3)(表14. 2. 2) 垂れつきの種類 材料 適用箇所 A種 (HDZ55) 最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板 B種 (HDZ45) 最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板 ※ 図示 C種 (HDZ35) 普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板 外観検査 ・ 行う ・ 行わない めっき付着量の検査 ・ 行う ・ 行わない 32 製作精度 (7. 3. 3) ※(一社)日本建築学会「JASS 6 鉄骨工事」付則6「鉄骨精度検査基準」による。 ※通しダイアグラムの許容誤差 ・ 全てのダイアグラムはH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること ・ ダイアグラムをH12建告第1464号第二号イ(1)(2)に規定するただし書きの計算確認有り補強方法 ・ 「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による ・ ⑭ <耐震> 33 既存部分の処理 [8. 19. 3][8. 20. 3][8. 21. 3] 適用範囲 [8. 19. 3][8. 20. 3][8. 21. 3] ※既存コンクリートとの打組む面 ※既存コンクリートとモルタル又はグラウト材の充てり部の接合面 ・ 既存コンクリートの目荒しの範囲 ・ 平均高さ 2~5mm (最大7mm) 程度の凹面を、全体にわたってつける。 ・ 既存コンクリートの目荒しの程度 ・ 既存柱、梁面 打組む面の15~30%程度 ・ 既存壁 打組む面の10~15%程度 34 現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事 [8. 19. 8][8. 21. 5] コンクリートの打込み工法の種類 ・ 流込み工法 ・ 圧入工法 35 柱補強 [8. 21. 5][8. 21. 6][8. 21. 7] ・ 溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法 [8. 21. 5] ・ 鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法 [8. 21. 6] ・ 連続繊維補強工法 [8. 21. 7] 36 連続繊維シート巻き [8. 2. 12] 材料・形状 [8. 2. 12] 採用した工法の規定を満足するもの 材質 引張り強度 (含浸硬化後) ・ 2500N/mm² 以上 ・ 3000N/mm² 以上 ヤング係数 (含浸硬化後) ・ 2.35×10⁵ N/mm² 程度 ・ 2.00×10⁵ N/mm² 以上 工法 [8. 21. 7] ※(一財)日本建築防災協会の評価を受けた工法 ・ 下地調整 [8. 21. 7] ひび割れ部の改修工法の種類 ・ 樹脂注入工法 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シール工法 柱の隅角部の面取り [8. 21. 7] ※工法の評価内容による 37 スリットの施工 [8. 22. 2] スリット部の配管等の探査 [8. 22. 2] ※探査器により探査し、配管等の位置の墨出を行う ・ はつり出し</p>	径 (呼び名)	長さ (呼び長さ)	mm	適用箇所	16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120			19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150			22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150		
規格の名称	種類の記号	呼び径 (mm)	適用箇所																																																																															
鉄筋コンクリート用棒鋼 (異形鉄筋)	・ SD295A	※ D16以下																																																																																
	・ SD345	※ D19以上																																																																																
種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径 (mm)	使用部位																																																																															
・ 溶接金網																																																																																		
・ 鉄筋格子																																																																																		
適用箇所	継手方法と適用径の範囲																																																																																	
・ 柱主筋	・ ガス圧継手 (D19以上) ・																																																																																	
・ 梁主筋	・ ガス圧継手 (D19以上) ・																																																																																	
・ 耐力壁	・ 重ね継手 ・																																																																																	
・ 基礎スラブ、耐圧スラブ、土圧壁など	・ ガス圧継手 () ・ 重ね継手 ()																																																																																	
種類の記号	適用箇所	規格等																																																																																
STKR400	柱	※JIS規格による																																																																																
S S 400	形鋼・板鋼	※JIS規格による																																																																																
S S 400	D. PL・B. PL	※JIS規格による																																																																																
S S C 400	胴縁	※JIS規格による																																																																																
種別	適用箇所																																																																																	
・ 改修標準仕様書 表7. 8. 1 A種	・ 屋外 (改修標準仕様書8. 16. 2の範囲以外) ・																																																																																	
○ 改修標準仕様書 表7. 3. 1 B種	・ 屋内 (改修標準仕様書8. 16. 2の範囲以外) ・																																																																																	
種別	適用箇所																																																																																	
・ 改修標準仕様書 表7. 3. 2 A種	・ 屋外、屋内 ・																																																																																	
種別	適用箇所																																																																																	
・ 改修標準仕様書 表7. 3. 1 A種	・																																																																																	
径 (呼び名)	長さ (呼び長さ)	mm	適用箇所																																																																															
16φ	・ 80 ・ 100 ・ 120																																																																																	
19φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150																																																																																	
22φ	・ 80 ・ 100 ・ 130 ・ 150																																																																																	
MEMORANDUM		TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.																																																																												
令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事			改修工事特記仕様書(4)		H32.2	A-04																																																																												

<p style="text-align: center;">令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事 解体工事仕様書</p> <p>I 解体工事概要</p> <p>1. 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪475</p> <p>2. 敷地面積 (㎡) 19,721.99㎡</p> <p>3. 除却対象物</p> <table border="1"> <tr> <th>除却対象建築物等</th> <th>構造</th> <th>階数</th> <th>梁間(m)</th> <th>桁行(m)</th> <th>建築面積(㎡)</th> <th>延面積(㎡)</th> </tr> <tr> <td>屋内運動場の内外装の一部</td> <td>S</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>195.12</td> <td>195.12</td> </tr> </table> <p>II 解体工事仕様</p> <p>1. 共通仕様 (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁業務部監修「建築物解体工事共通仕様書(平成24年版)」(以下、「解体共仕」という。)により、解体共仕に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁業務部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年版)」(以下「標準仕」という。)及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(平成25年度版)」(以下、「改修標準仕」という。)による。</p> <p>2. 特記仕様 (1) 項目は、番号に 印の付いたものを適用する。 (2) 特記事項は、・印の付いたものを適用する。 ・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ・印と※印の付いた場合は、共に適用する。 (3) 特記事項に記載の()内の表示番号は、解体共仕の当該項目を示す。</p>	除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)	屋内運動場の内外装の一部	S	1			195.12	195.12	<p style="text-align: center;">建設廃棄物の処理</p> <p>⑤ 屋外設備等</p> <p>6 解体後の整地</p> <p>4 ① 一般事項</p> <p>② 再資源化等</p> <p>3 現場利用する再資源化された建設廃棄物</p> <p>4 産業廃棄物広域認定制度の活用</p> <p>5 最終処分する建設廃棄物</p> <p>5 ① 施工調査</p>	<p>・冷媒を回収した後撤去を行う機器は下記による。</p> <table border="1"> <tr> <th>図面番号</th> <th>記号</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>電柱の撤去 ・行う (/ 図による) ○行わない 外灯の撤去 ・行う (/ 図による) ○行わない</p> <p>解体後の埋戻し及び盛土 ・行う 整地高さ ・現状G L ・行う (/ 図による) 埋戻し及び盛土の材料 ・山砂の類 ・他現場の建設発生土の中の良質土 ・再生コンクリート砂 埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。</p> <p>・行わない</p> <p>本工事は「建設副産物情報交換システム」を活用する。 総合施工計画作成時、工事完了時及び登録情報に変更が生じた場合、速やかに当該システムにデータ入力を行う。また、同システムにより工事着手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を工事完了時に同計画書の実施報告書(書式は同一)を作成し、監督職員に提出するものとする。</p> <p>建設廃棄物の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>建設廃棄物の種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・コンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・コンクリート及び鉄からなる建設 資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○木材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・木材(縮減)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○アスファルトコンクリート</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○金風類</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・小形二次電池</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・蛍光灯ランプ、HIDランプ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・硬質塩化ビニル管、継手</td> <td></td> </tr> </table> <p>※中間処理施設又は再資源化施設等の名称、所在地は現場説明書による</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による</p> <table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※最終処分施設の名称、所在地は現場説明書による</p> <p>分別調査を行う特別管理産業廃棄物等の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>採取する部位又は箇所等</th> <th>採取する数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・ 図示 ・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示 ・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示 ・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 図示 ・ 箇所</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>PCB含有シーリング分析調査</p> <p>・第一次判定 現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。 ・第二次判定 専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う。</p> <p>・絶縁油のPCB含有量の分析は、「特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検計方法(平成4年7月3日厚生省告示第192号)」又は「絶縁油中のポリ塩化ビフェニルの分析方法規定(電気技術規定JEAC1201-1991)」により行う。</p> <p>・焼却炉のダイオキシン類汚染物質の調査は、「廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類暴露防止対策要綱(平成13年4月25日付基発第401号)」により行う。</p>	図面番号	記号									建設廃棄物の種類	備考	・コンクリート		・コンクリート及び鉄からなる建設 資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品)		○木材		・木材(縮減)		○アスファルトコンクリート		○金風類		・小形二次電池		・蛍光灯ランプ、HIDランプ		・硬質塩化ビニル管、継手		名称	仕様	数量	備考																	種類	備考									名称	仕様	数量	備考																	採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考	・ 図示 ・ 箇所			・ 図示 ・ 箇所			・ 図示 ・ 箇所			・ 図示 ・ 箇所			<p>2 特別管理産業廃棄物の処理</p> <p>3 PCBを含む機器類</p> <p>4 PCB含有シーリング材</p> <p>5 特殊な建設副産物の改修及び処分</p> <p>6 1 アスベスト含有分析調査</p> <p>2 7μm以下じん濃度測定</p>	<p><4.4.1></p> <table border="1"> <tr> <th>特別管理産業廃棄物の種類</th> <th>仕様</th> <th>数量</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※処理施設の名称、所在地は現場説明書による</p> <p>引渡しを要する機器類</p> <p>撤去方法 ・「標準施工要領書(日本シーリング工業協会同組合連合会/日本シーリング材工業会)」による。 ・ 撤去範囲 ※(図示 / 図による)</p> <table border="1"> <tr> <th>回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類</th> <th>対象機器名称</th> <th>備考</th> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <p>※回収業者又は処分場の名称、保管場所・処分場の名称は現場説明書による</p> <p>分析によるアスベスト含有建材の調査 ・行う(下表による)</p> <table border="1"> <tr> <th>材料名</th> <th>調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)</th> </tr> <tr> <td>外壁 アクリルリシン</td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※定性分析 ・定量分析</td> </tr> </table> <p>採取箇所 ※ 図示 分析対象 ※アスベスト 6種類(アモサイト、クリソタイル、クロソライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト) 分析方法 ※JIS A 1481「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」による 分析結果については、監督職員に提出すること。</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定 ・行う(測定名称及び測定点は下表による)</p> <p>アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部:光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。 測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。</p> <p>測定箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各施工箇所ごと)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定2</td> <td>処理作業前</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定4</td> <td>処理作業中</td> <td>出入口</td> <td>各点</td> <td>空気の流れを確認</td> </tr> <tr> <td>・測定5</td> <td>処理作業中</td> <td>負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>各点</td> <td>除じん装置の性能確認</td> </tr> <tr> <td>・測定6</td> <td>処理作業後</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定7</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定8</td> <td>処理作業後</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>計点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定9</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室内</td> <td>各点</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・測定10</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計点</td> <td>-</td> </tr> </table> <p>アスベスト粉じん濃度測定方法</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8,9,10</th> <th>測定5</th> </tr> <tr> <td>計数機器</td> <td>位相差顕微鏡</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>ノズル径</td> <td>25mm</td> <td></td> <td>47mm</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量</td> <td>1 l/min</td> <td>5 l/min</td> <td>10 l/min</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間</td> <td>5min</td> <td>120min</td> <td>240min</td> </tr> <tr> <td>試料の透明化</td> <td>アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数条件</td> <td>総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>計数アスベスト</td> <td>直径3μm未満、長さ5μm-0.3μm以上、長さと直径比3:1以上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>50 f/l</td> <td>0.5 f/l</td> <td>0.3 f/l</td> </tr> </table>	特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考																	回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備考													材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)	外壁 アクリルリシン	※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析		※定性分析 ・定量分析	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考	・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	-	・測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計点	-	・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	-	・測定4	処理作業中	出入口	各点	空気の流れを確認	・測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認	・測定6	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	計点	-	・測定7	処理作業後	処理作業室内	各点	-	・測定8	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	計点	-	・測定9	処理作業後	処理作業室内	各点	-	・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	-		測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5	計数機器	位相差顕微鏡			ノズル径	25mm		47mm	試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min	試料の吸引時間	5min	120min	240min	試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法			計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野			計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm-0.3μm以上、長さと直径比3:1以上				50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l	<p>報告書の作成(記録する項目)</p> <p>ア、測定結果 イ、測定時間 ウ、測定位置(測定高さとともに図面上に記載する。) エ、サンプリング条件(メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量) オ、マウンティング方法 カ、顕微鏡視野面積、計数視野数 キ、測定時(各測定場所ごと)天候、温度、湿度、外気の風速及び風向</p> <p>アスベスト含有吹付け材の除去 ・行う 除去方法は6.3.2)による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。</p> <p>除去物及び汚染物質等 処理方法 ※密封処理(二重袋梱包) 隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。 ・セメント固化工</p> <p>アスベスト含有保温材の除去 ・行う 作業上の隔離 ・行う ・行わない</p> <p>アスベスト含有成形板の除去 ・行う</p> <p>7 その他</p> <p>1. 工事現場の環境改善について</p> <p>② 産業廃棄物の取扱いについて</p> <p>産業廃棄物処理状況記録及び写真を次のように整備すること。 (1) 搬出された産業廃棄物の処理状況記録 ① 処理の全部又は一部を委託した場合 ア 収集運搬車両ごとの産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)A票、B票、D票及E票(建Ⅱの場合はB票を加える。)の写し、建設廃棄物処理委託契約書の写し並びに搬出解体材の数量集計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真) ② 請負者が自ら処理した場合 ア マニフェストに準じた解体材の種類ごとの数量集計表 イ 最終処分場の案内図及び処分状況の写真(中間処理にあっては中間処理施設の案内図及び中間処理状況の写真) ③ 特別管理産業廃棄物の場合 ①又は②に準ずる。ただし産業廃棄物管理票とあるを特別管理産業廃棄物管理票と読み替える。 (2) 産業廃棄物の再資源化実施状況記録 再生資源利用促進実施に記録する事項 発生量、搬出先名称、区分、施工条件の内容、搬出先名称、運搬距離、搬出先の種類等 (3) 写真 ① 工事着手前の現場全景、周辺及び対象建築物等の現況写真 ② 仮設物、安全措置状況及び工程写真(除却作業状況、埋設配管等及び基礎掘削は入念に撮影すること。) ③ 使用機械類 ④ 産業廃棄物収集運搬車両への積込み時及び積降し時の写真 ⑤ しゅん工時の全景写真(着手時と同一アングルとする。) ⑥ その他監督職員の指示による</p> <p>3. 騒音、振動調査</p> <p>調査の有無 ※無 ・有 調査方法については設計図書による。</p> <p>4. 土壌調査</p> <p>調査項目 ・土壌調査 ・土壌調査(含有量試験) ・揮発性有機化合物抽出調査 ・廃棄物含有調査 土壌汚染に係る環境基準に準拠すること。 調査箇所については設計図書による。</p> <p>⑤ 官公庁その他への届出手続等</p> <p>(1) 工事の着手、施工、完成にあたり、関係機関への必要な手続等を遅延なく行う。 (2) 前項に規定する届出手続等を行うにあたっては、届出内容についてあらかじめ監督職員に報告する。</p> <p>⑥ 疑義に関する協議等</p> <p>設計図書に定められた内容に疑義が生じたり、現場の納まり又は取合い等の関係で、設計図書によることが困難又は不都合な場合が生じたときは、監督職員と協議する。</p> <p>⑦ 文化財その他の埋蔵物</p> <p>工事の施工にあたり、文化財その他の埋蔵物を発見した場合は、直ちにその状況を監督職員に報告する。その後の措置については、監督職員の指示に従う。また、当該埋蔵物の発見者としての権利は、法律の定めるところにより、発注者が保有する。</p> <p>8. 埋蔵文化財調査</p> <p>「周知の埋蔵文化財包蔵地」の該当 掘削作業時の教育委員会等の立会い 埋蔵文化財調査の時期</p> <p>・該当する ・有 ・解体工事終了後</p> <p>・該当しない ・無</p>
除却対象建築物等	構造	階数	梁間(m)	桁行(m)	建築面積(㎡)	延面積(㎡)																																																																																																																																																																																																																																																				
屋内運動場の内外装の一部	S	1			195.12	195.12																																																																																																																																																																																																																																																				
図面番号	記号																																																																																																																																																																																																																																																									
建設廃棄物の種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
・コンクリート																																																																																																																																																																																																																																																										
・コンクリート及び鉄からなる建設 資材(PC板、コンクリート平板、コンクリート二次製品)																																																																																																																																																																																																																																																										
○木材																																																																																																																																																																																																																																																										
・木材(縮減)																																																																																																																																																																																																																																																										
○アスファルトコンクリート																																																																																																																																																																																																																																																										
○金風類																																																																																																																																																																																																																																																										
・小形二次電池																																																																																																																																																																																																																																																										
・蛍光灯ランプ、HIDランプ																																																																																																																																																																																																																																																										
・硬質塩化ビニル管、継手																																																																																																																																																																																																																																																										
名称	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	備考																																																																																																																																																																																																																																																									
名称	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																							
採取する部位又は箇所等	採取する数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
・ 図示 ・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 図示 ・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 図示 ・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																										
・ 図示 ・ 箇所																																																																																																																																																																																																																																																										
特別管理産業廃棄物の種類	仕様	数量	備考																																																																																																																																																																																																																																																							
回収及び処分を行う特殊な建設副産物の種類	対象機器名称	備考																																																																																																																																																																																																																																																								
材料名	調査方法(1材料あたりの試料数:3サンプル)																																																																																																																																																																																																																																																									
外壁 アクリルリシン	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																									
	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																									
	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																									
	※定性分析 ・定量分析																																																																																																																																																																																																																																																									
測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各施工箇所ごと)	備考																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定1	処理作業前	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定2	処理作業前	施工区画周辺又は敷地境界	計点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定3	処理作業中	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定4	処理作業中	出入口	各点	空気の流れを確認																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定5	処理作業中	負圧・除じん装置の排出口(処理作業室外の場合)	各点	除じん装置の性能確認																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定6	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	計点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定7	処理作業後	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定8	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	計点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定9	処理作業後	処理作業室内	各点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
・測定10	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計点	-																																																																																																																																																																																																																																																						
	測定3	測定1,2,4,6,7,8,9,10	測定5																																																																																																																																																																																																																																																							
計数機器	位相差顕微鏡																																																																																																																																																																																																																																																									
ノズル径	25mm		47mm																																																																																																																																																																																																																																																							
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min																																																																																																																																																																																																																																																							
試料の吸引時間	5min	120min	240min																																																																																																																																																																																																																																																							
試料の透明化	アセトノートリアセチレン法又は、シュウ酸エチル法																																																																																																																																																																																																																																																									
計数条件	総アスベスト繊維数200本又は視野数50視野																																																																																																																																																																																																																																																									
計数アスベスト	直径3μm未満、長さ5μm-0.3μm以上、長さと直径比3:1以上																																																																																																																																																																																																																																																									
	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l																																																																																																																																																																																																																																																							
MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 解体工事仕様書	SCALE	DATE H32.2	SHEET NO. 箕輪町 A-05																																																																																																																																																																																																																																																					



【施工条件】

- ・本工事は小学校の屋内運動場の一部を改修する工事であり通常の学習活動を行っている中での居ながら工事である為、児童の安全確保・授業中の騒音等に特に留意する。
- ・工事期間中は学童クラブの活動は別室にて予定しているため、仮間仕切等の仮設は不要とする。ただし工事範囲以外の部分との取合部の工事は土日祝日等の休校日または放課後の施工とする。
- ・小学校の登下校時と工事車両の搬出入が重複しないよう時間帯の分離を図ると共に必要により誘導員等を配置し安全確保に努める。
- ・解体撤去工事等の騒音を伴う工事については、土日祝日等の休校日の作業を基本とする。ただしやむをえない場合は学校側を含め監督員・監理者と協議を行い決定する。
- ・停電及び断水を伴う工事については、事前に学校側と協議を行い日程を確認すること。



	改修建物(体育館)	改修部分	左記計	その他建物	合計
敷地面積					19,721.99 ㎡
建築面積	1,426.96 ㎡	195.12 ㎡	1,622.08 ㎡	3,886.52 ㎡	5,508.60 ㎡
延べ面積	1階	1,295.39 ㎡	1,490.51 ㎡	3,556.64 ㎡	5,047.15 ㎡
	2階	71.26 ㎡	71.26 ㎡	2,005.45 ㎡	2,076.71 ㎡
	合計	1,366.65 ㎡	195.12 ㎡	1,561.77 ㎡	5,562.09 ㎡

【概略工事工程表】

工事種目	1					2					3				
	1	7	14	21	30	1	7	14	21	30	1	7	14	21	30
仮設工事	準備	仮設事務所等整備	仮囲い								外部足場				清掃・まとめ 各種検査
解体撤去工事			既存側溝撤去								内部足場				
テラス工事			側溝移設・改修			基礎					外壁・外部建具 内部仕上				
鉄骨工事						庇					外壁下地 腰壁				
内外装工事											外部建具・外壁				内部LGS・ホート・加工
塗装工事															外部・内部
家具・ユニット工事															外部・内部
電気設備工事											仮設・撤去				配線・器具付け 試験調整
機械設備工事											仮設・撤去				配管配線 機器設置 試験調整

【改修工事建物概要】

建物名称	箕輪町北小学校屋内運動場
住所	箕輪町大字中箕輪475
用途地域	都市計画地域内 区域区分非設定
防火地域	指定なし
敷地面積	19,721.99 m ²
建築面積	5,508.60 m ²
延べ面積	7,123.86 m ² (屋内運動場 1,366.65m ² 内改修部分195.12m ²)
建ぺい率	27.93% / 60%
容積率	36.12% / 200%
防火性能	ロ-2準耐火建築物
最高の高さ	17.80 m
最高の軒高	11.83 m

解体特記事項	・改修工事にかかわる施工範囲は余幅30cmを標準とする。ただし定尺物等については適宜とする。
--------	--

【仕上特記事項】

塗装凡例	建材凡例
SOP・・・合成樹脂調合ペイント3回塗り EP・・・合成樹脂エマルジョンペイント3回塗り VE・・・塩化ビニル樹脂エナメル3回塗り FUE・・・フッ素樹脂エナメル3回塗り UC・・・ウレタン樹脂ワニス3回塗り CL・・・クリヤラッカー3回塗り(3分艶) OS・・・オイルステイン2回塗り AE・・・アクリル樹脂エナメル(トップコート)	GB-R・・・石膏ボード GB-S・・・シーリング石膏ボード GB-F・・・強化石膏ボード FK・・・ケイ酸カルシウム板 GW・・・グラスウール HGW・・・高性能グラスウール RW・・・ロックウール FS・・・複層ビニル床シート TS・・・単層ビニル床シート FT・・・複層ビニル床タイル TT・・・単層ビニル床タイル KT・・・コブジョイントビニル床タイル

【改修工事概要】

1.内装改修	・現ミーティング室及び器具庫1を学童クラブ室を3室に改修する。 またそれに伴う建具の取替及び新設と内装改修をおこなう。 ・新設学童クラブ室(3)に収容人員に対応する児童ロッカーの新設 ・学童クラブ(1)、(2)間に建具を新設しフレックスな使用に対応する。
2.外部改修	・学童クラブ室南側にテラスを新設 ・上記に伴う庇の新設 ・既存アルミサッシの取替に伴う外壁面の改修
3.外構改修	・テラス新設による既存水路の移設及び改修
4.電気設備改修	・今回改修工事に伴う電気設備機器の整備及び更新 ・新規照明設備のLED化
5.機械設備改修	・今回改修工事に伴う機械設備の整備及び更新 ・既存冷房機器(2台)及び新規空気調和設備(冷暖房)の整備 ・既存外部給水弁及び排水樹の一時撤去及び改修(配管改修とも)
6.その他	

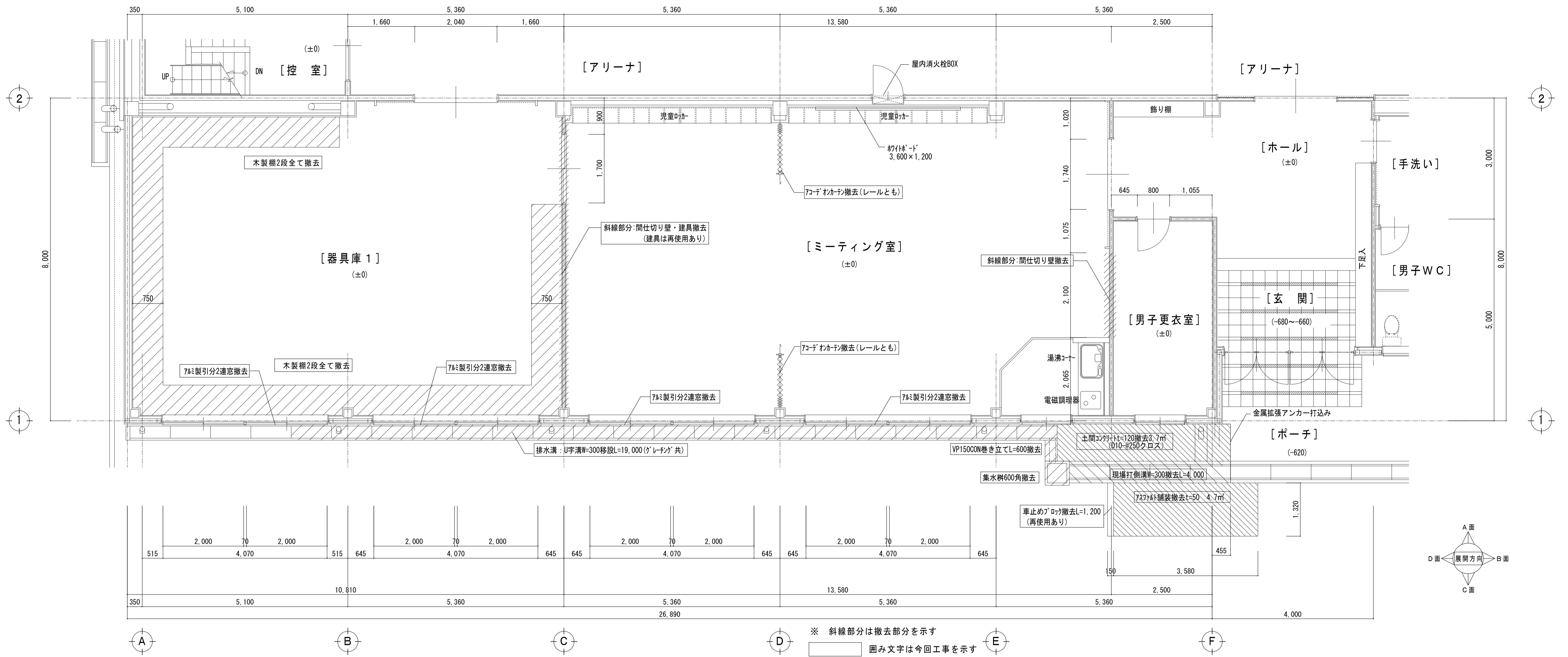
【外部仕上表】

部 位	現況仕上名	改修工事	
既存部分	基礎	化粧合板型枠コンクリート打ち 補修	
	外壁	鉄骨下地 透湿防水シート張り 窯業系サイディング張りt=16 通気工法	外部建具取替に係る部分:撤去及び復旧
	屋根	フッ素鋼板t=0.6 ハゼ`式折板葺きH90 (フネエ-t4裏貼り)	
	軒天	有孔無孔ケイカル板t6 目透し張り EP塗装	
	外部建具	中低層用カラーアルミ製サッシ	南面引き違い連窓取替(4か所)
	笠木	フッ素鋼板t=0.6 曲げ加工	
新設テラス	樋	軒樋:高圧木毛メント板t20 コムアスルフィン` 塩ビ`被膜鋼板t0.4 縦樋:カラーVP100φ	縦樋: カラーVP100φ改修(5か所)
	床		土間コンクリート金コテ仕上(クワック誘発目地切5x5)
	防雨壁		鉄骨枠組 ケイカル板t=8両面張り EP-G
	屋根		カラーGL鋼板t0.6 +アクリル折板2.0t 折板葺きH88
	樋		軒樋:塩ビ製 W200 前高型 縦樋: カラーVP100φ 外部鉄骨部分はDP塗装 スチール製下足入(オープン型4段20人用x6台) 排水溝移設・改修

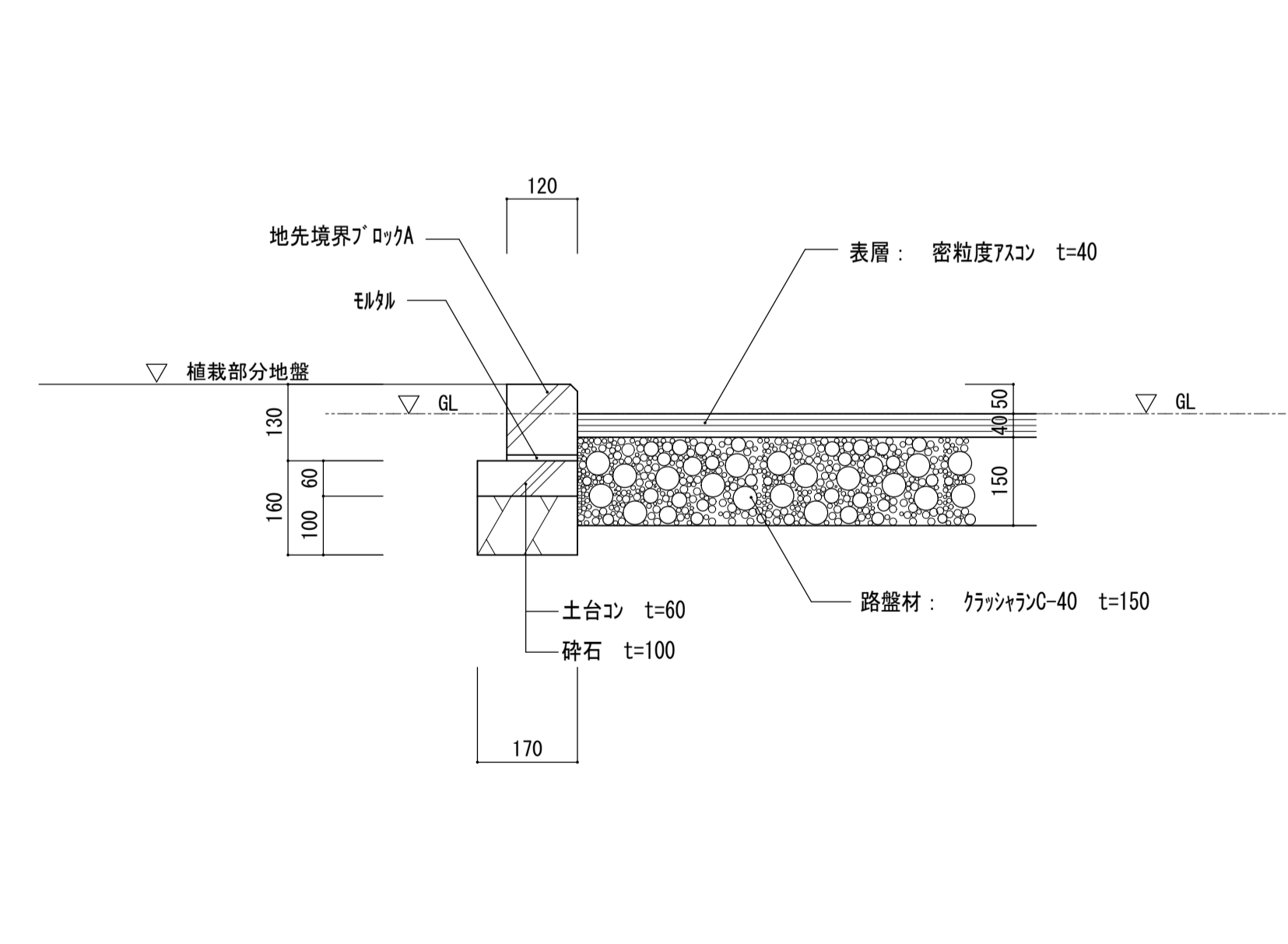
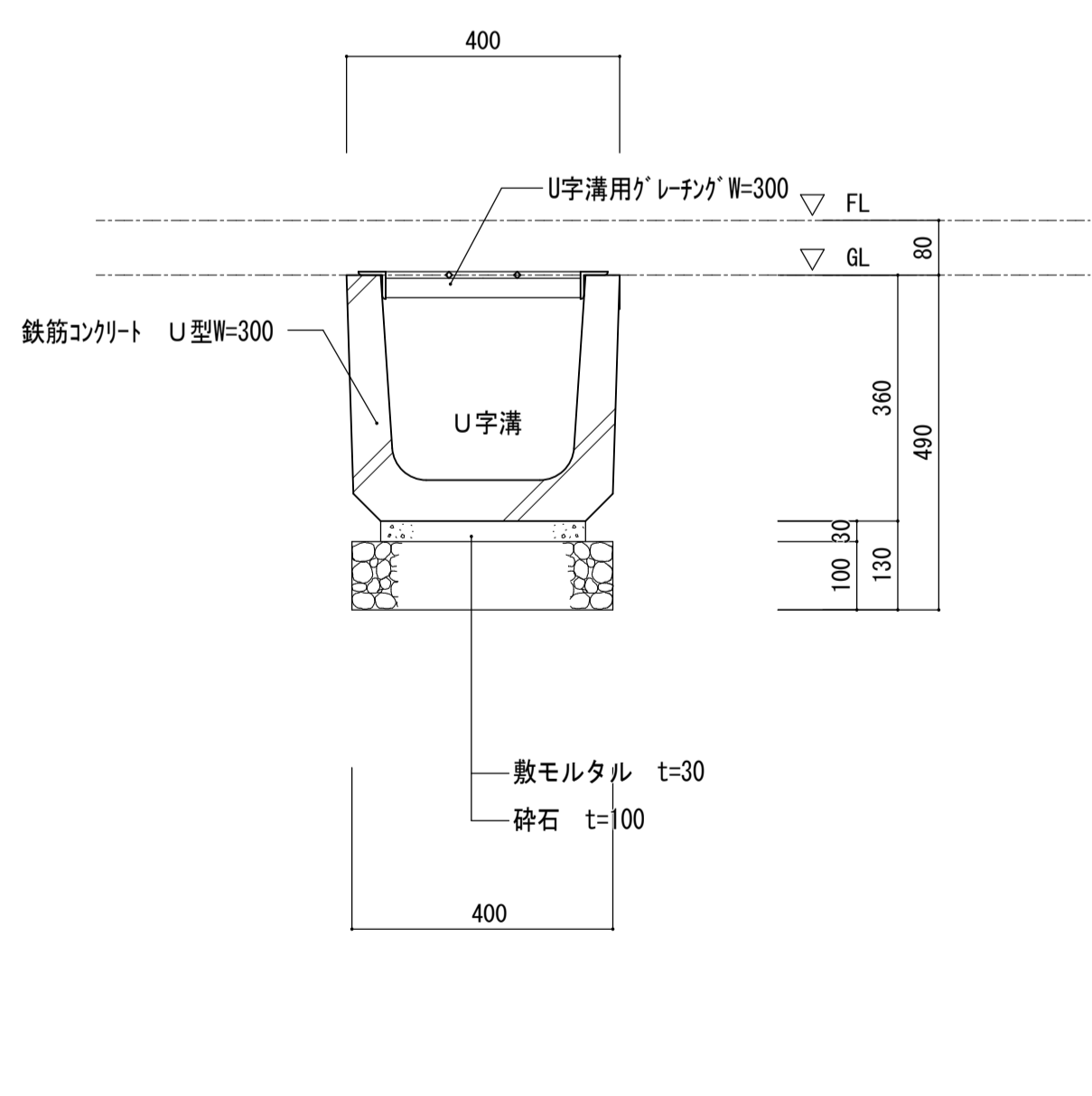
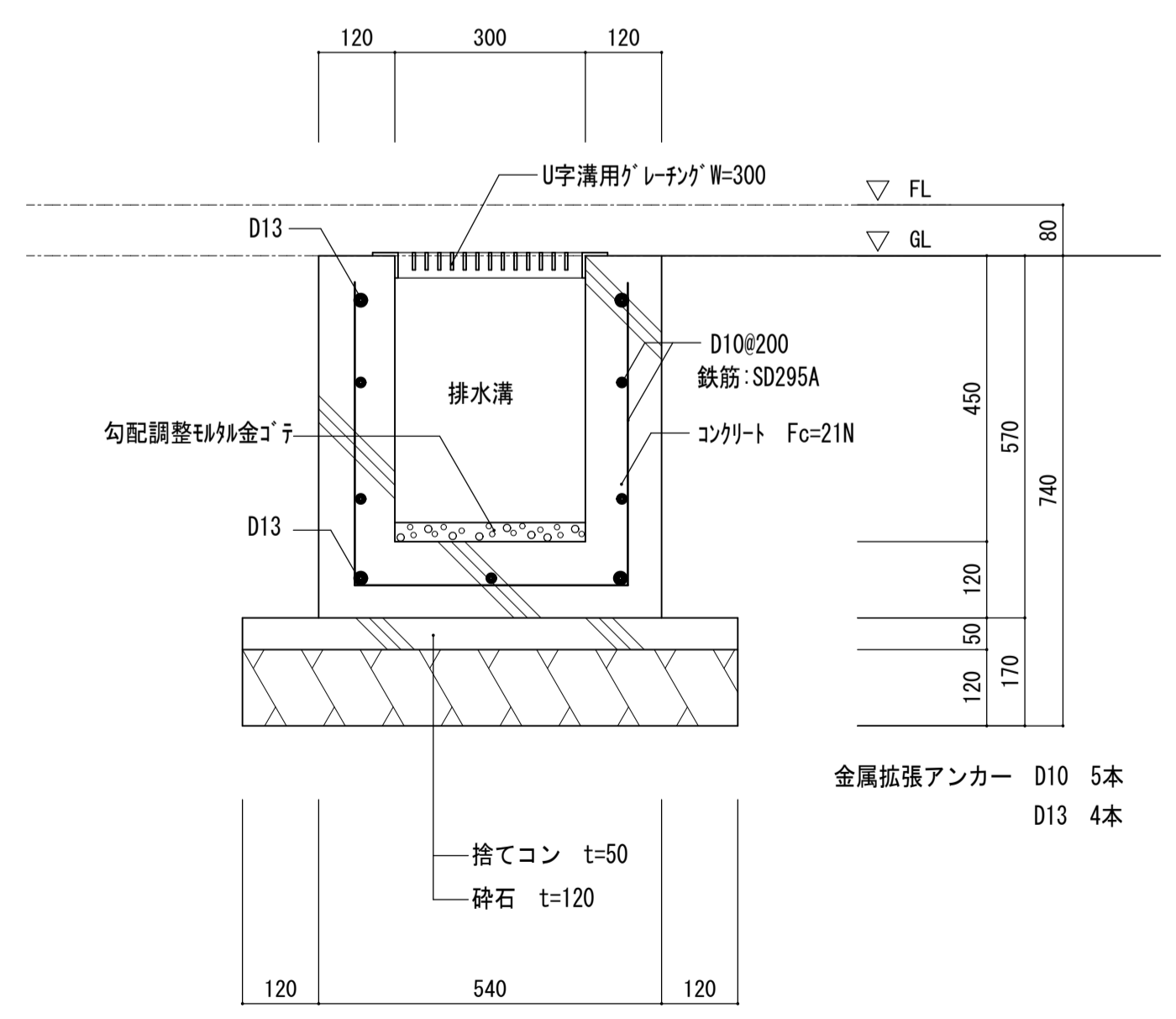
【内部仕上表】

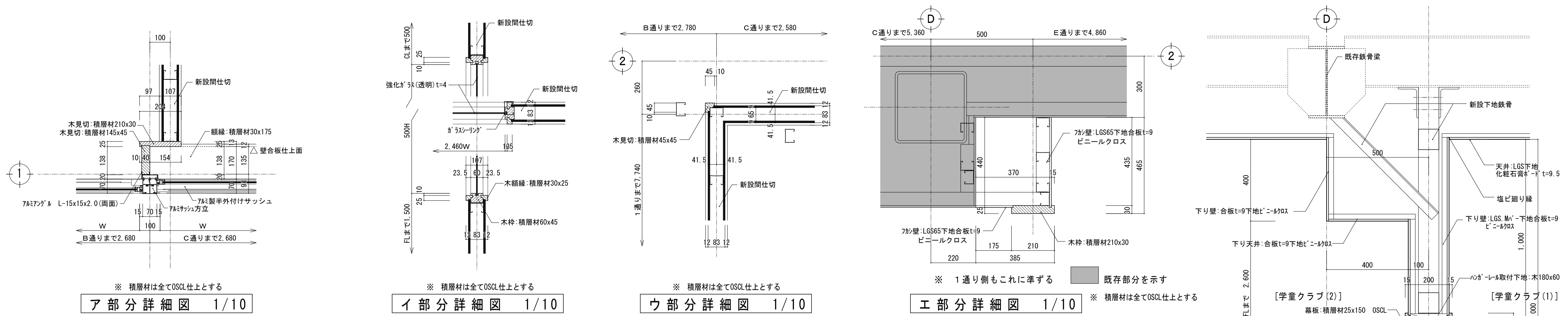
室 名	部 位	床			幅 木			壁			天 井			備考・その他	
		仕 上			高さ	下地	腰壁仕上		壁仕上	下地	仕 上		廻縁		天井高
現 況	器具庫1	土間コンクリート金コテ下地 長尺塩ビ`床シート2.0 撤去			105	LGS	合板t9張り 一部撤去		合板t9張り 一部撤去	LGS	化粧石膏ボード`t=9.5張り 一部撤去		塩ビ	3,000	棚撤去
	ミーティング室	土間コンクリート金コテ下地 タイルカーペット貼り			105	LGS	合板t9捨張り 銘木合板t6 目透し張り		合板t9張り ビニルクロス貼り一部撤去	LGS	化粧石膏吸音ボード`t=9.5張り 一部撤去		塩ビ	3,000	カーテン(レース+ケスミット)一部撤去 フュー`ティオンカーテン撤去 間仕切り一部撤去(建具共)
	男子更衣室	土間コンクリート金コテ下地 複層塩ビ床タイルt=2.5			75	LGS	合板t9張り一部撤去 ビニルクロス貼り一部撤去		同左	LGS	化粧石膏吸音ボード`t=9.5張り		塩ビ	2,600	間仕切り一部撤去
改修後	学童クラブ(1)	既存のまま 一部補修			105	LGS	(新設間仕切部分)合板t9下地 銘木合板t=6 目透し張り		(新設間仕切部分)合板t9下地 ビニルクロス貼り	LGS	既存のまま 一部補修		塩ビ	3,000	カーテン`ル復旧 間仕切り一部新設(建具新設共)
	静養コーナー	既存のまま 一部補修			105	LGS	既存のまま 一部補修		既存のまま 一部補修	LGS	既存のまま		塩ビ	2,600	
	学童クラブ(2)	(旧器具庫部分)タイルカーペット敷 (現況部分)一部補修			105	LGS	(新設間仕切部分)合板t9下地 銘木合板t=6 目透し張り		(新設間仕切部分)合板t9下地 ビニルクロス貼り	LGS	既存のまま 一部補修		塩ビ	3,000	カーテン`ル復旧 間仕切り一部新設(建具共)
	学童クラブ(3)	タイルカーペット敷			105	LGS	(既存部分)既存合板t9下地 銘木合板t=6 目透し張り (新設間仕切部分)同上		(既存部分)既存合板t9下地 ビニルクロス貼り (新設間仕切部分)同上	LGS	既存のまま 一部補修		塩ビ	3,000	カーテン`ル新設 キョウキ`ト`新設`児童用ロッカー新設

 現況部分を示す



現況平面詳細図 1/50





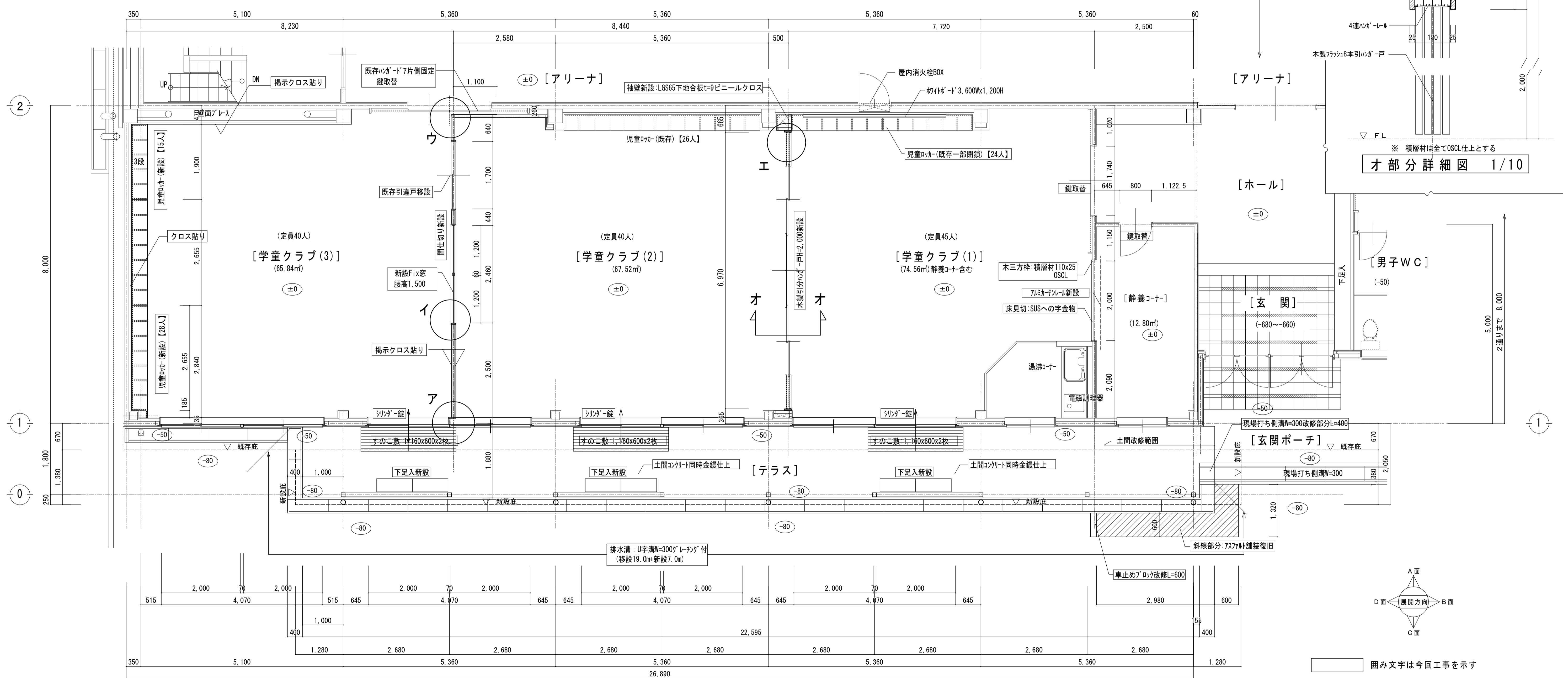
※ 積層材は全てOSCL仕上とする
ア部分詳細図 1/10

※ 積層材は全てOSCL仕上とする
イ部分詳細図 1/10

※ 積層材は全てOSCL仕上とする
ウ部分詳細図 1/10

※ 1通り側もこれに準ずる
エ部分詳細図 1/10

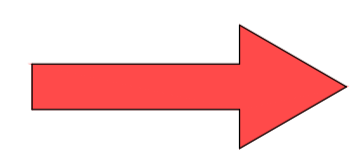
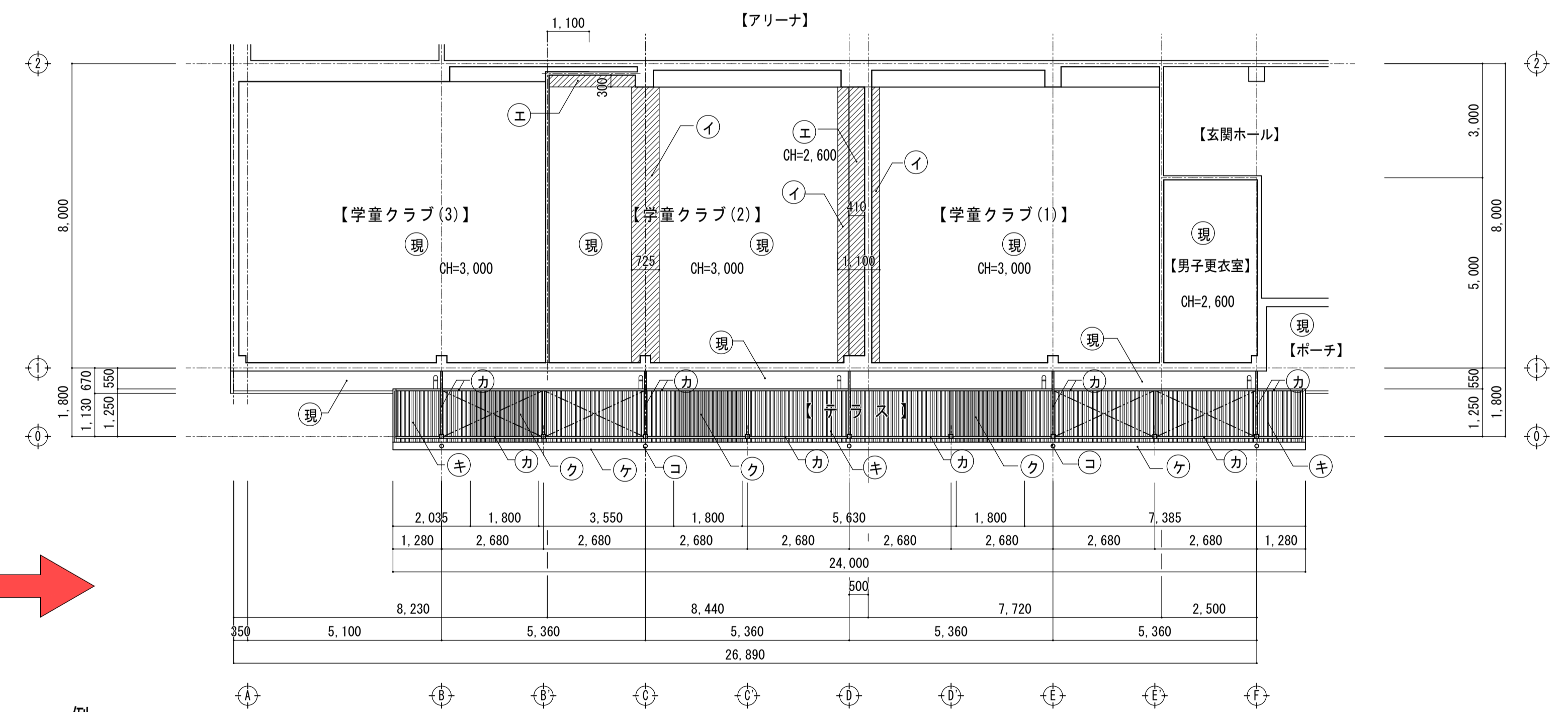
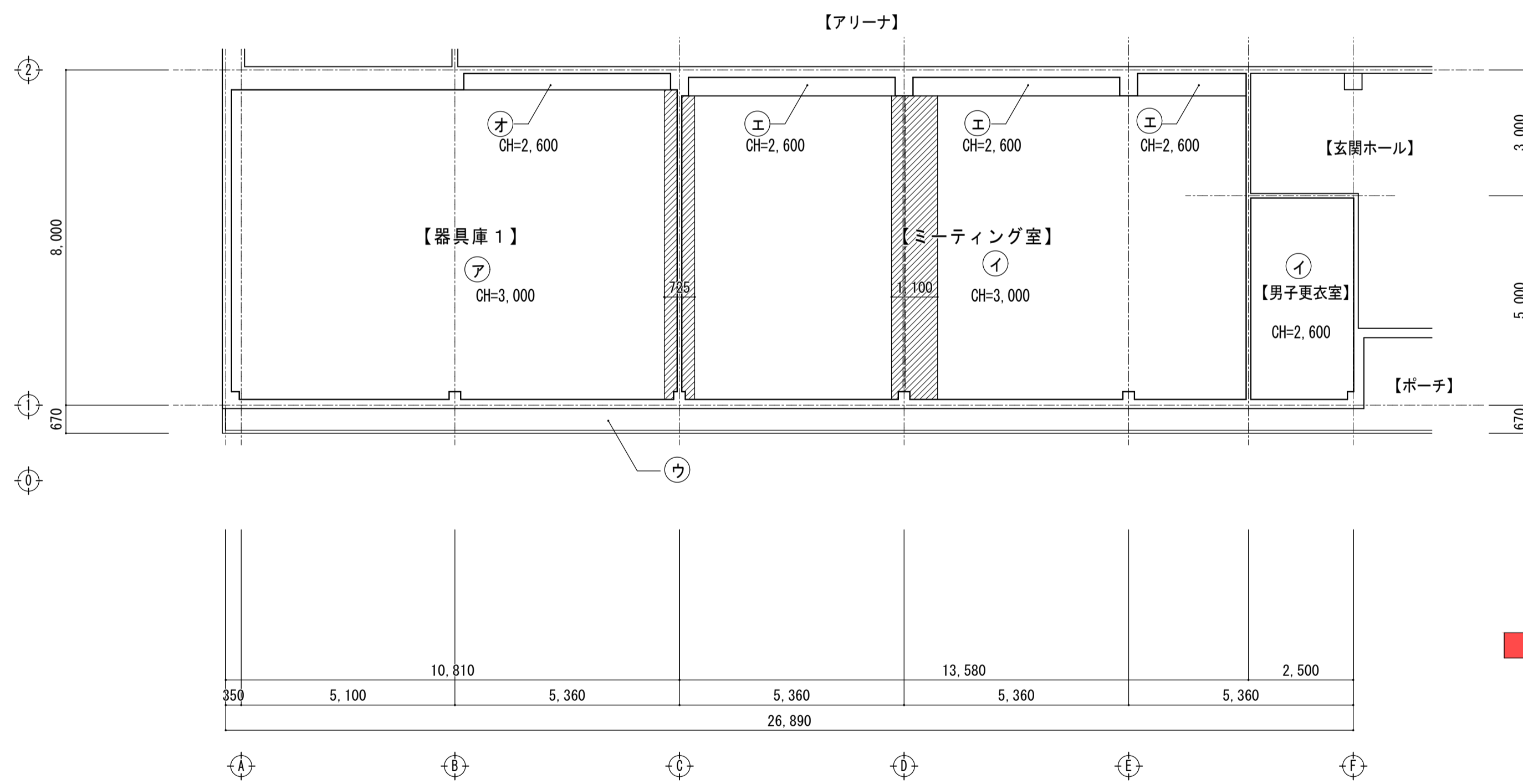
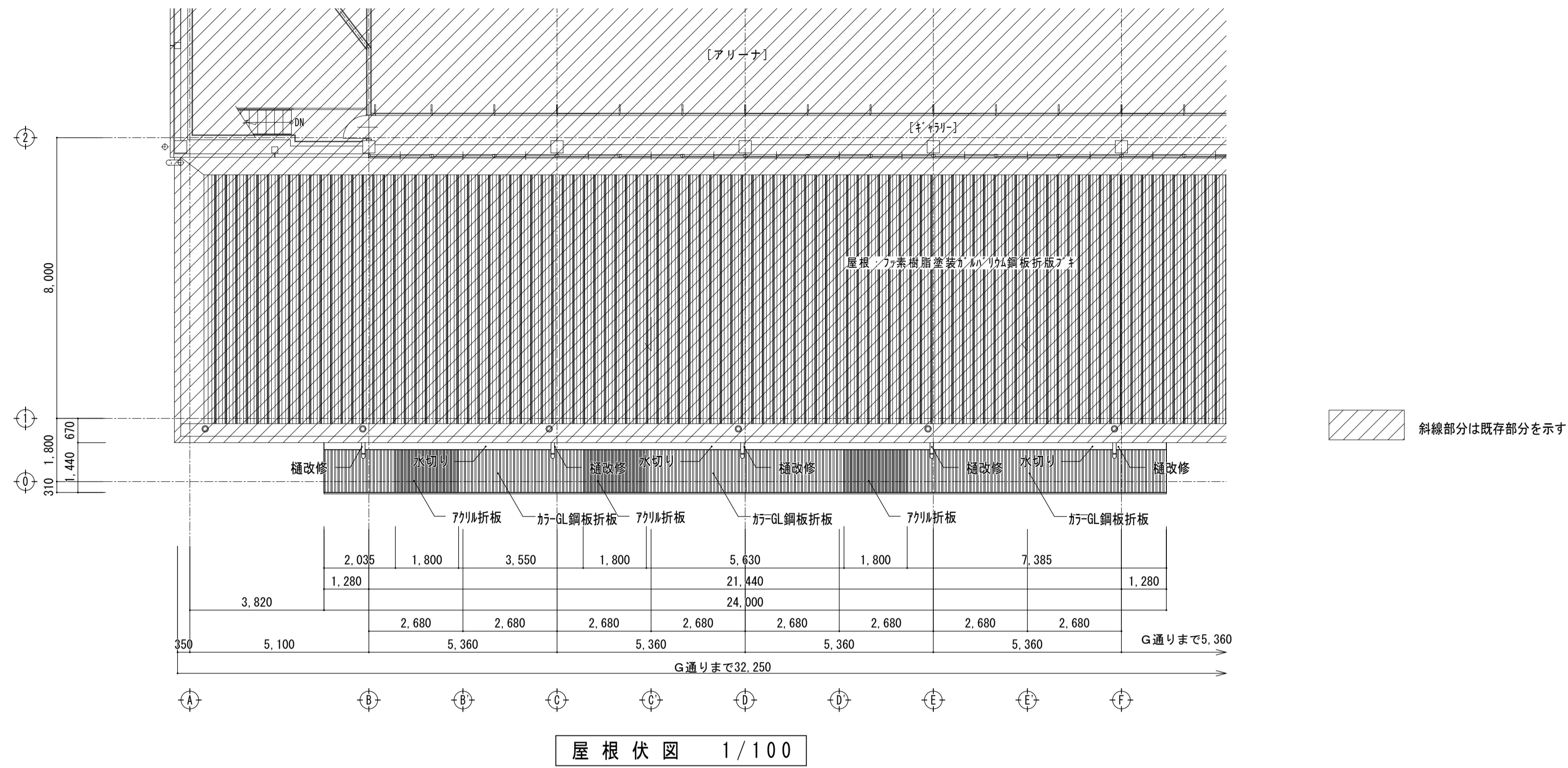
※ 積層材は全てOSCL仕上とする
オ部分詳細図 1/10



○ 囲み文字は今回工事を示す

改修後 平面詳細図 1/50

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	<h1>箕輪町</h1>	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	改修後平面詳細図・部分詳細図	1/50	H32.2		A-09
			A3縮小時は50%			

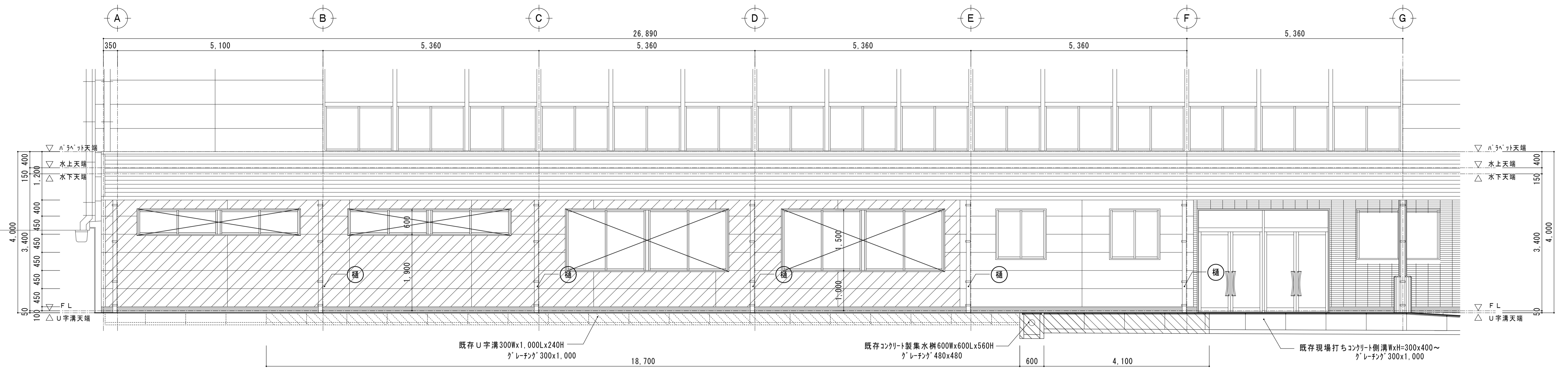


凡 例

ア	化粧石膏ボードt=9.5	—	塩ビ廻り縁
イ	化粧石膏吸音ボードt=9.5	カ	鉄骨 DP
ウ	ケイ酸カルシウム板t=6(一部有孔板)目透し張りEP	キ	777-GL鋼板製折板H=88
エ	ビニールクロス貼り	ク	777製折板H=88
オ	合板t=9	ケ	軒樋
現	現況のまま	コ	縦樋

現況天井伏図 1/100

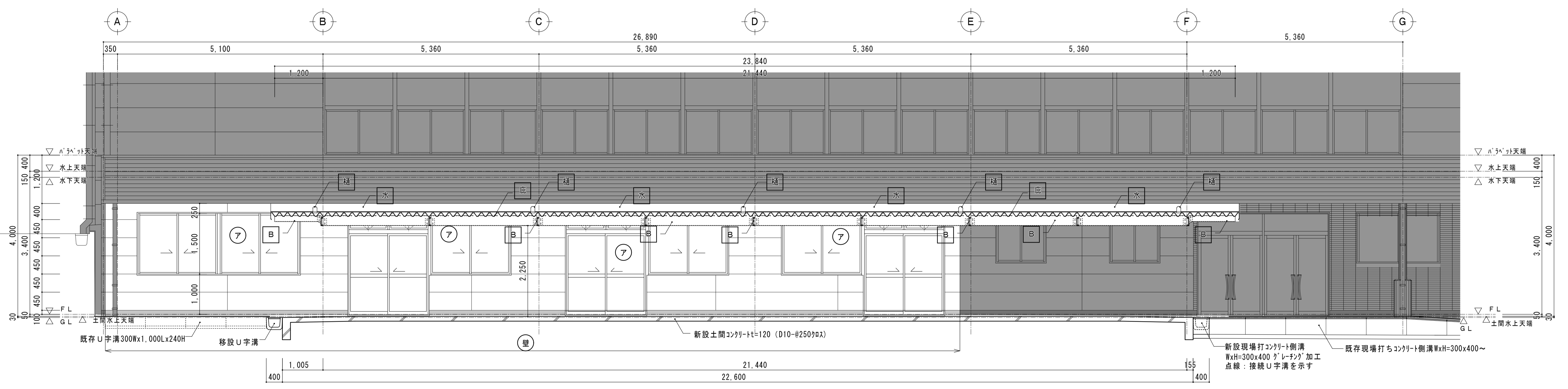
改修後天井伏図 1/100



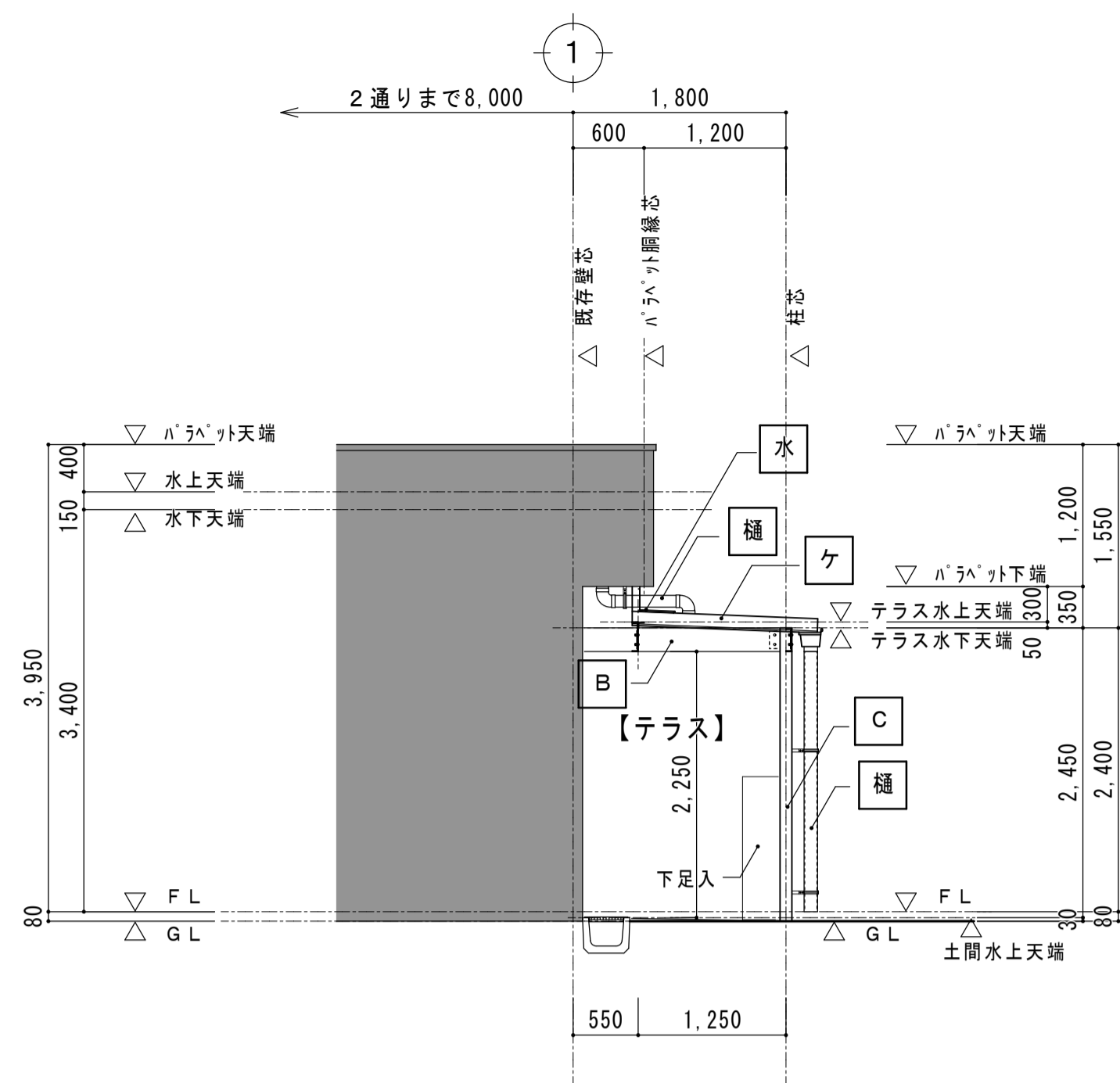
現況 南 立 面 図 S=1:50

	外壁材撤去範囲(下地透湿シート共)
	撤去アルミ製建具(枠共)
	塩ビ製堅樋撤去(受金物共)
	既存U字溝撤去(移設)範囲(グレーチング共)
	既存現場打ち側溝・集水柵撤去範囲(グレーチングは再使用有)

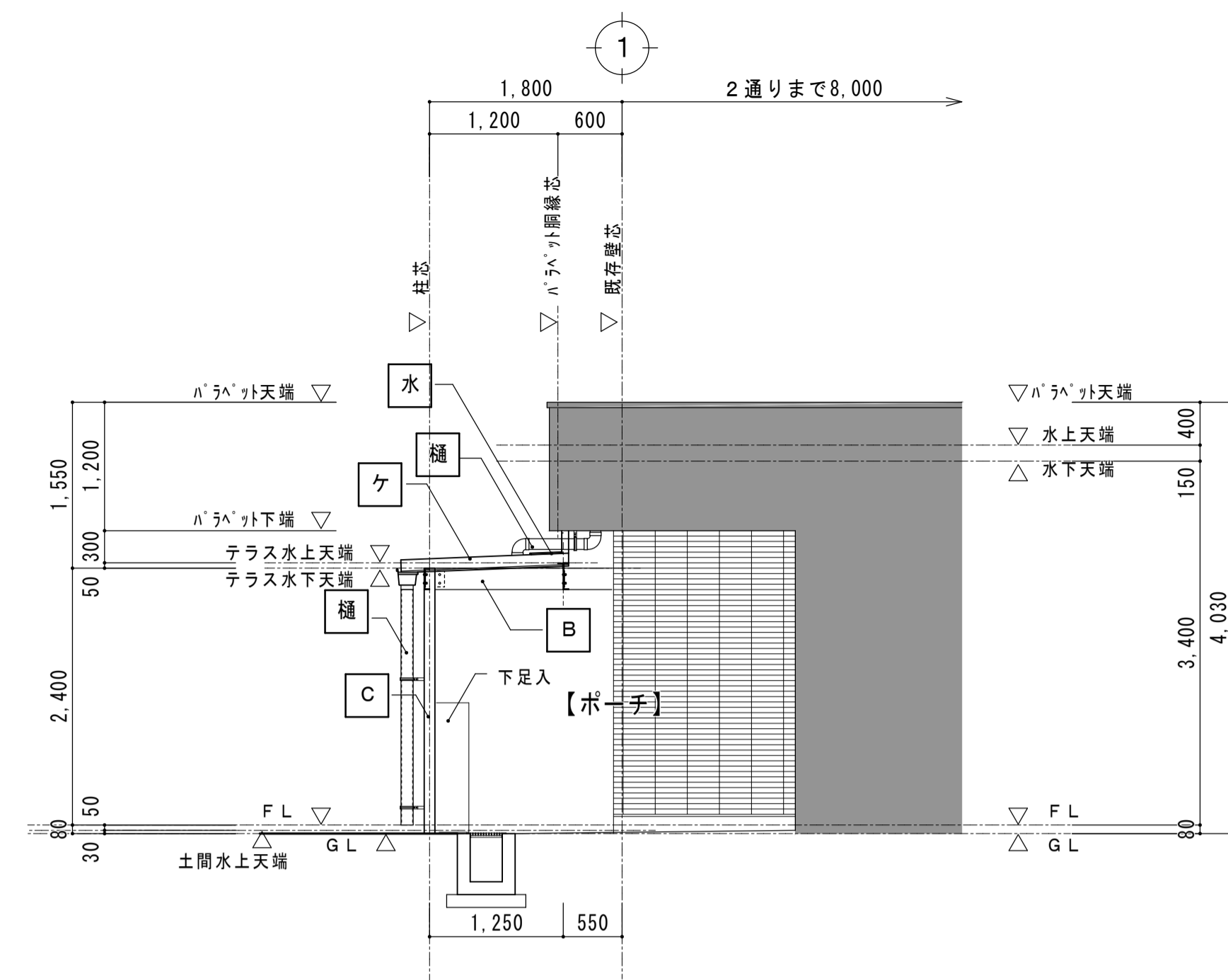
	壁張替範囲:窯業系サイディング $t=16$ 通気工法(下地透湿シート・鉄骨胴縁補修共)		鉄骨柱 DP塗装
	新設アルミ製建具		鉄骨梁 DP塗装
	既存堅樋改修:VP11林 90		
	水切り:カー-GL鋼板 0.4 加工 $280W \times 220H$		
	庇屋根:カー-GL鋼板 $0.6+7$ ケリ折板 2.0 $H=88$ 折板葺き		非改修部分を示す



改修後 南外壁 立 面 図 S=1:50

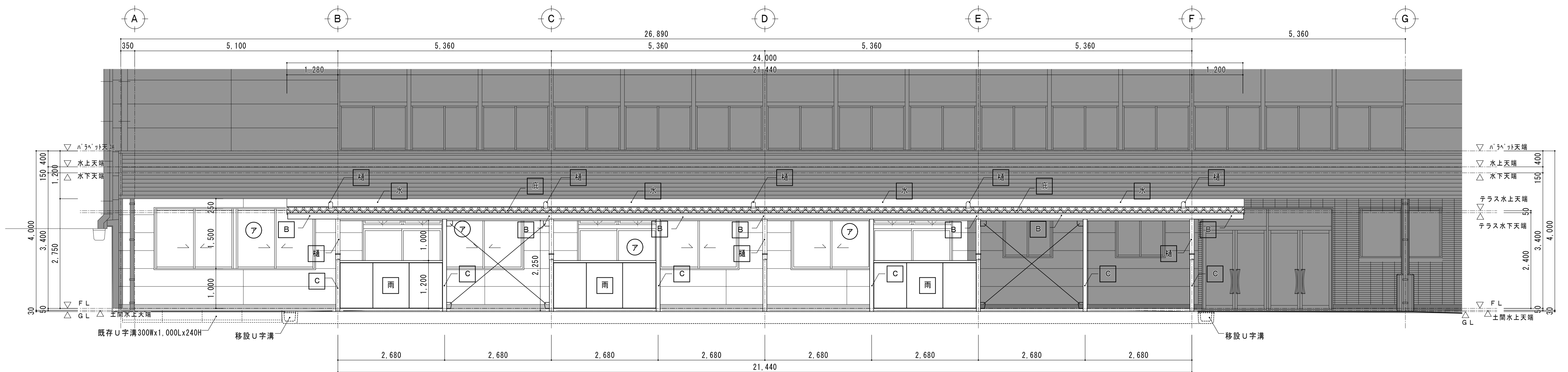


改修後 西面 立面図 S=1:50

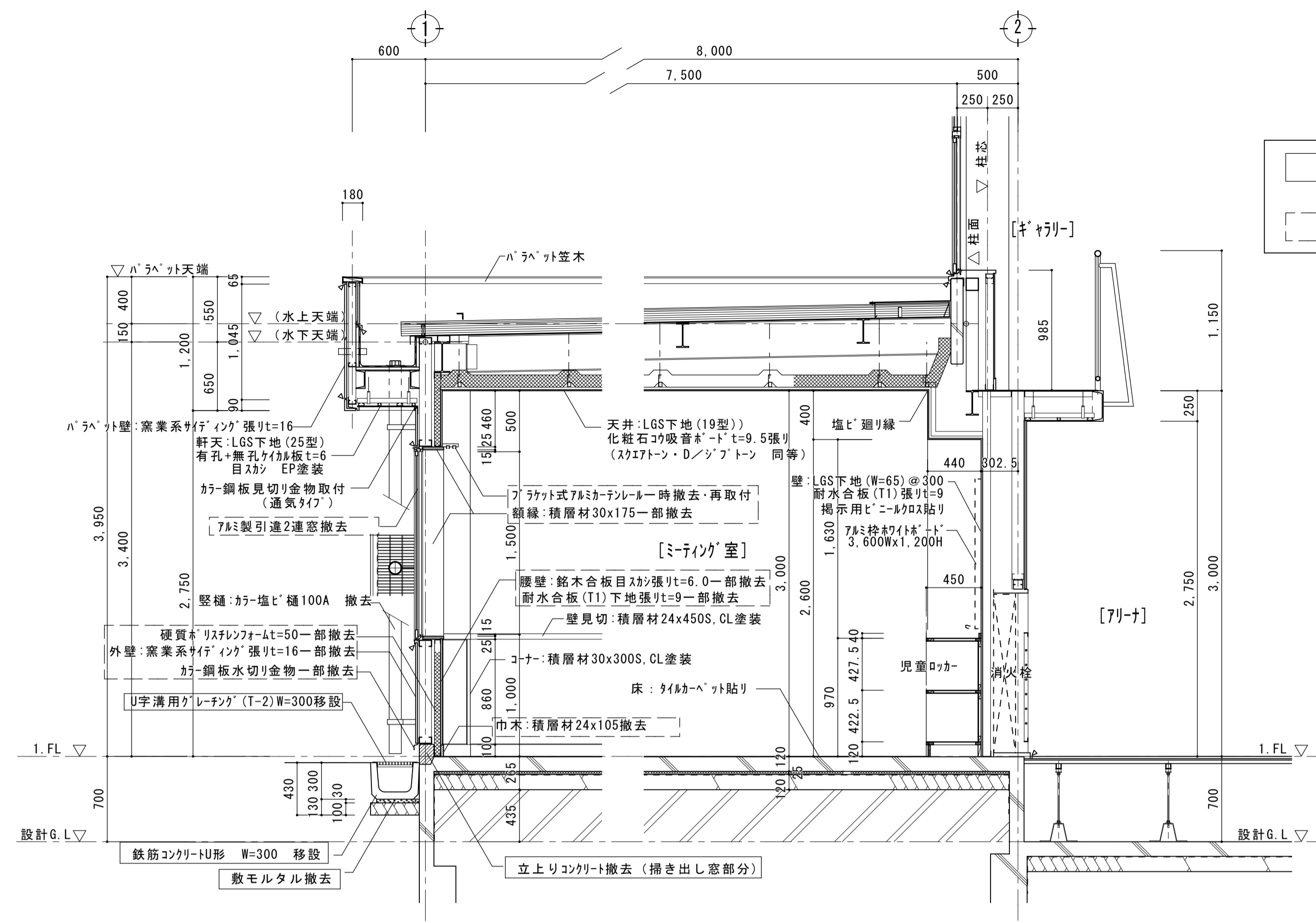


改修後 東面 立面図 S=1:50

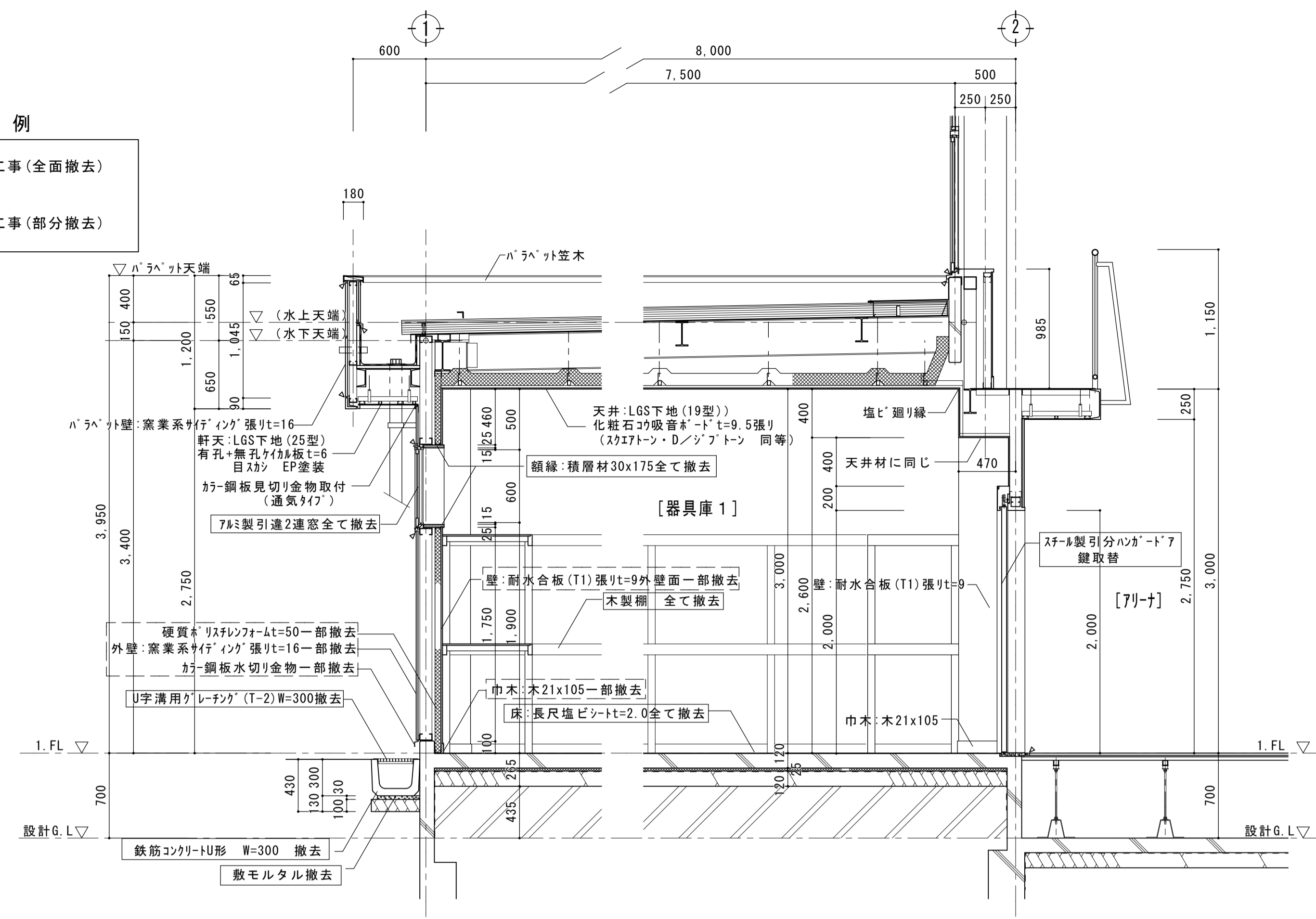
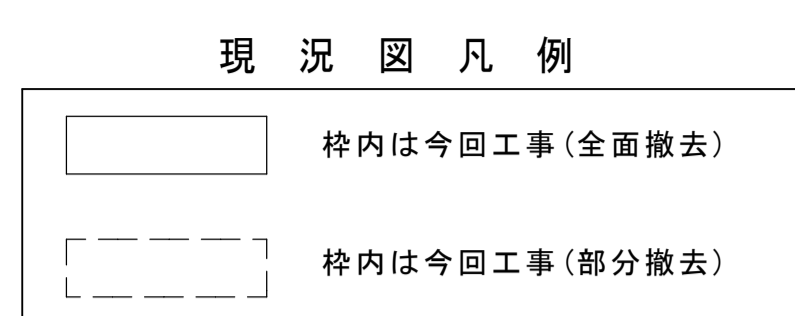
改修後立面図 凡例			
壁	壁張替範囲:窯業系サイディング $t=16$ 通気工法 (下地透湿シート・鉄骨胴縁補修共)	ケ	ケラバ包み:ｶﾞ-GL鋼板0.4加工 100Wx120H
ア	新設アルミ製建具	C	鉄骨柱 DP塗装
植	既存縦樋改修:ｶﾞ-VP100 \times 1 \times 90+直管	B	鉄骨梁 DP塗装
水	水切り:ｶﾞ-GL鋼板0.4加工 280Wx220H	雨	防雨壁:鉄骨下地ケ加工板 $t=8$ EP-G 鉄部 DP塗装 水切り:ｶﾞ-GL鋼板0.4加工 25Wx150H
庇	庇屋根:ｶﾞ-GL鋼板0.6+7ｸﾘﾙ折板2.0 H=88 折板葺き		非改修部分を示す



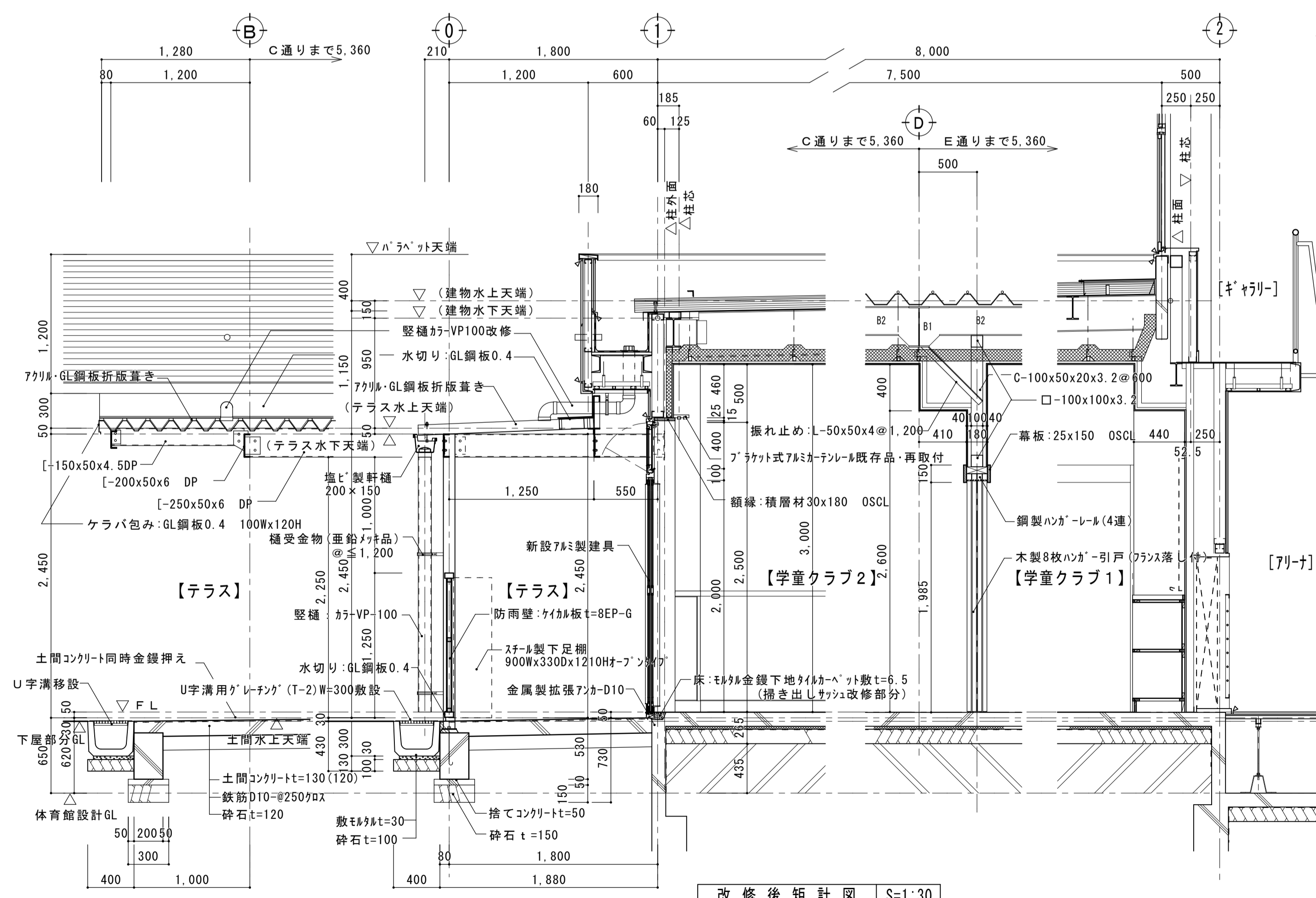
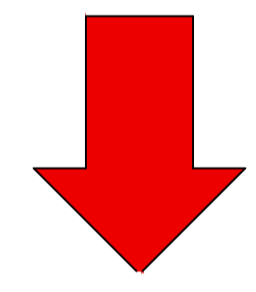
改修後 南面 立面図 S=1:50



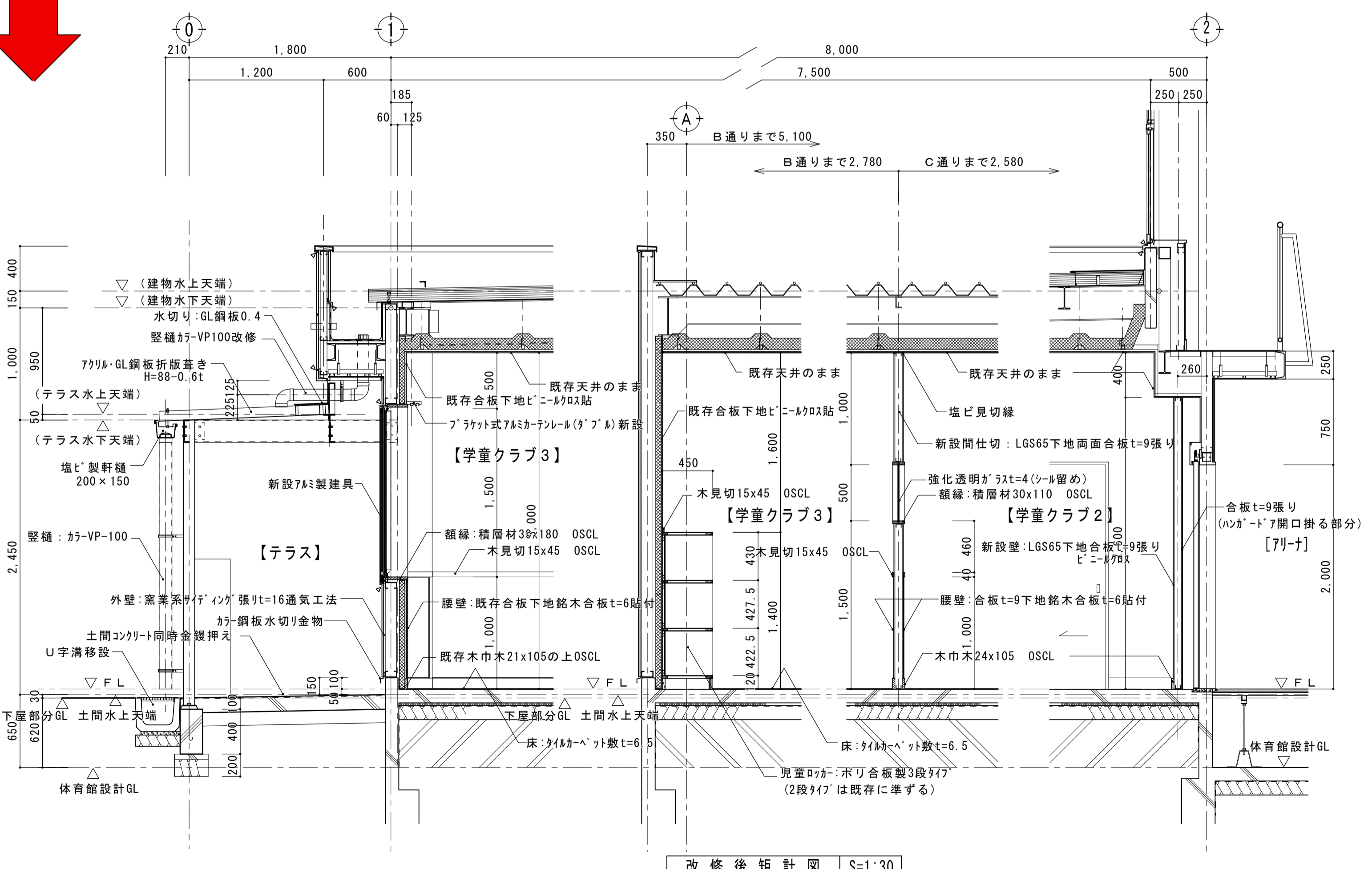
現況矩計図 S=1:30



現況矩計図 S=1:30



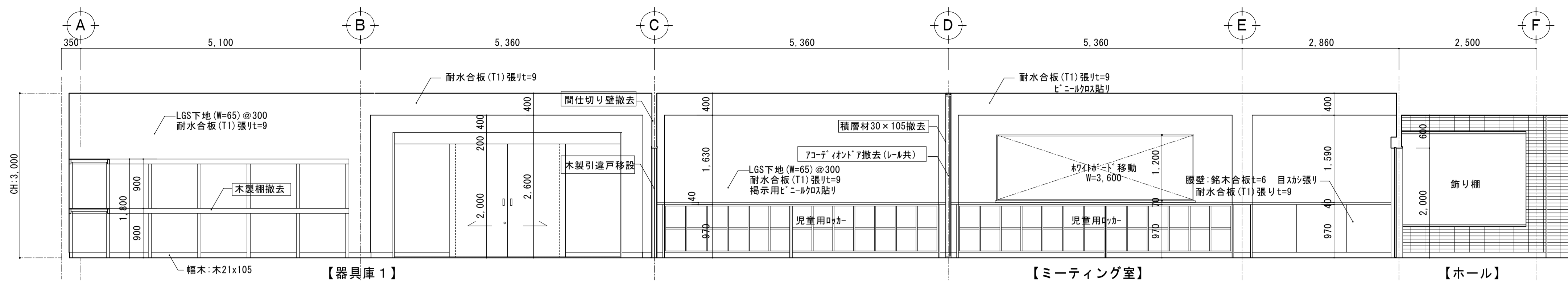
改修後矩計図 S=1:30



改修後矩計図 S=1:30

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	矩計図	1/30 (A3縮小時は50%)	H32.2	A-13

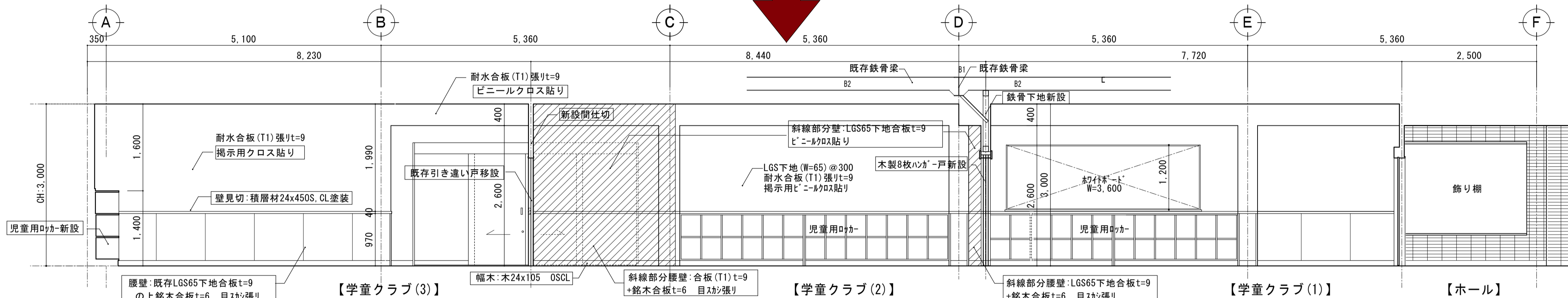
箕輪町



現況展開図

□ 囲み文字は今回工事を示す

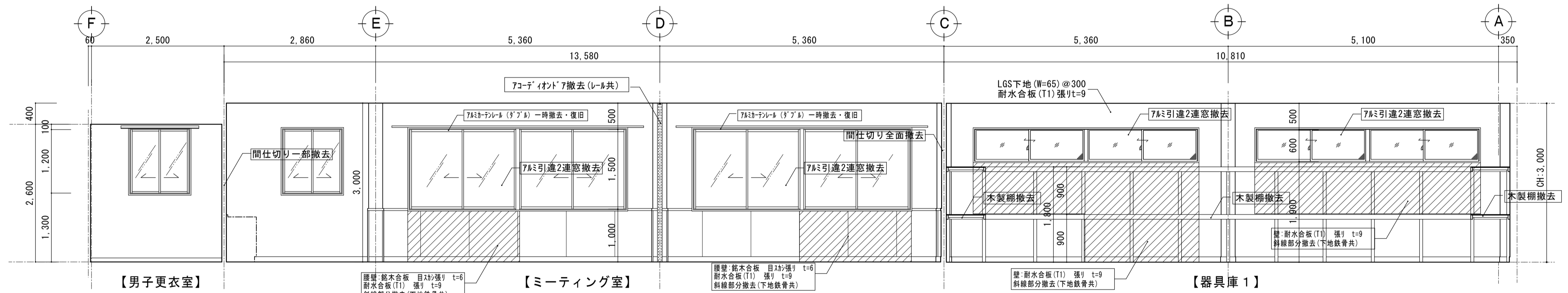
器具庫1・ミーティング室・ホール・男子更衣室



改修後展開図

□ 囲み文字は今回工事を示す

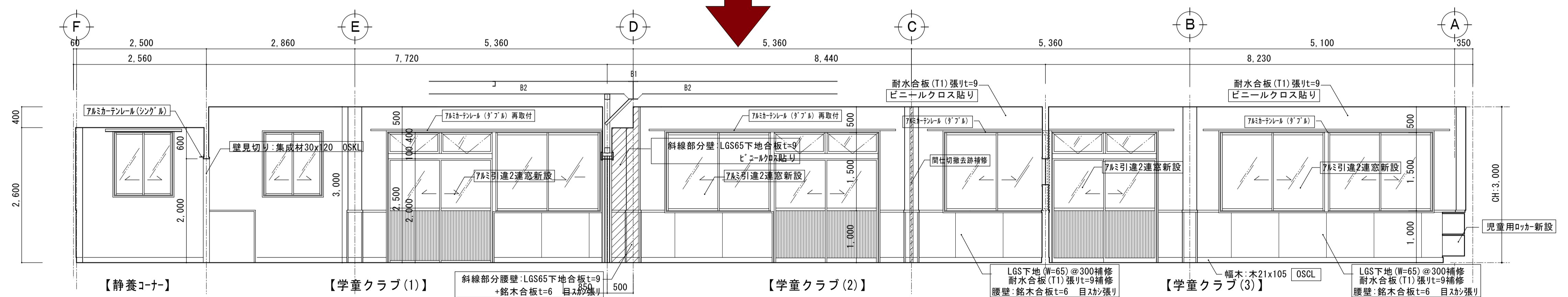
学童クラブ(1)・学童クラブ(2)・学童クラブ(3)



現況展開図

□ 囲み文字は今回工事を示す

器具庫1・ミーティング室・ホール・男子更衣室



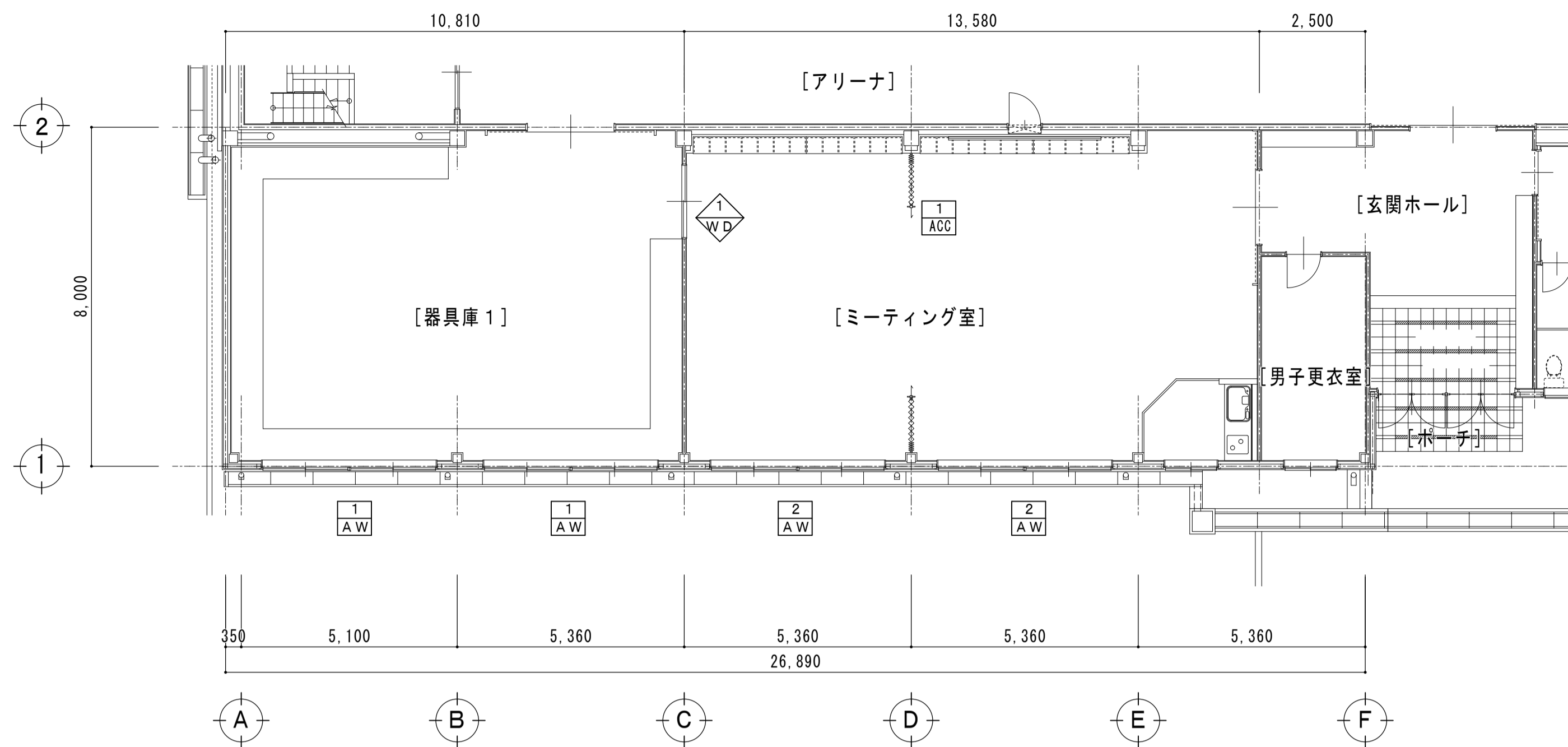
改修後展開図

□ 囲み文字は今回工事を示す

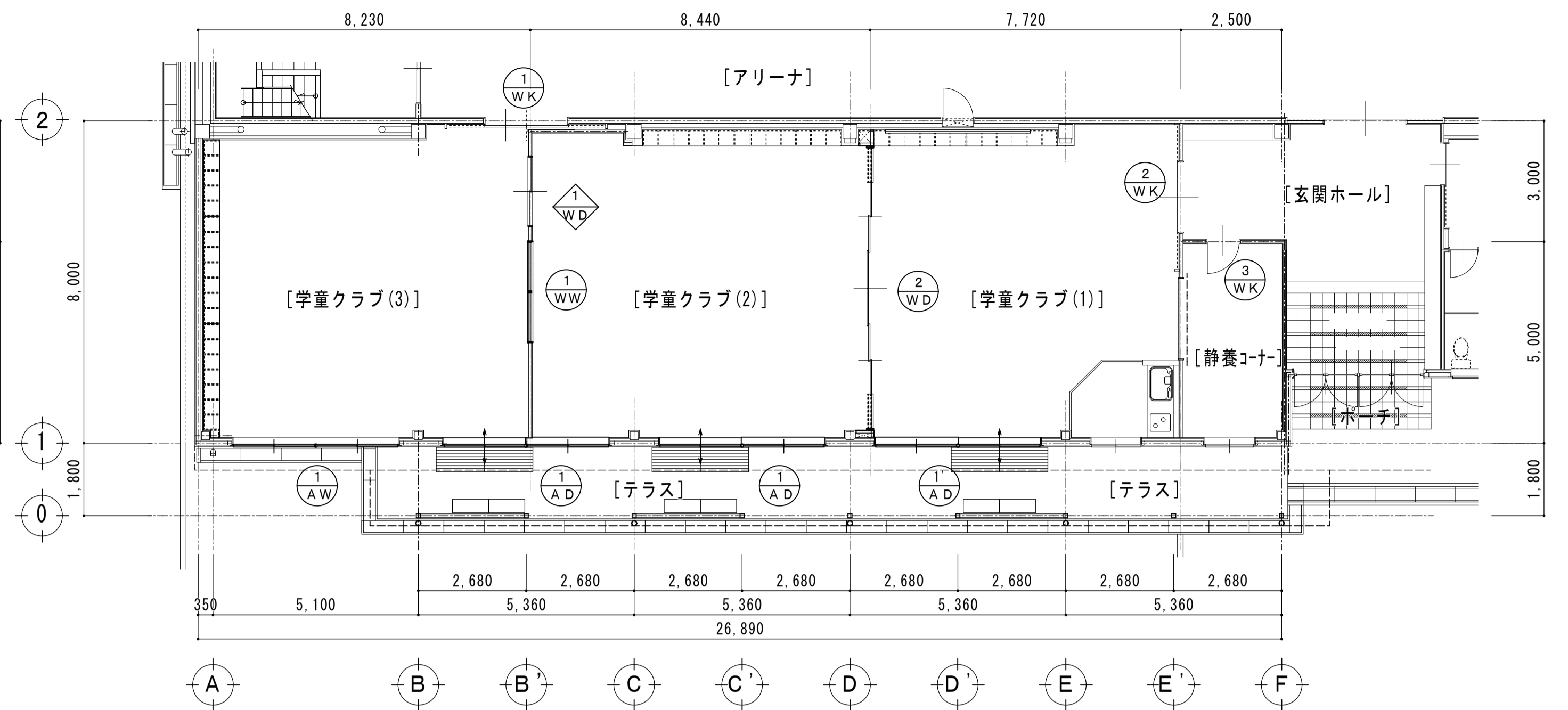
学童クラブ(1)・学童クラブ(2)・学童クラブ(3)

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	展開図(1)	1/50 A3縮小時は50%	H32.2	A-14

箕輪町



現況撤去建具キープラン 1/100



改修後建具キープラン 1/100

撤去建具表 S=1:50

符号	AW-1	2ヶ所	器具庫1	AW-2	2ヶ所	ミーティング室
姿図 (内観図)						
型式	鉄骨用半外付け7mmサッシ 引違イ2連窓		鉄骨用半外付け7mmサッシ 引違イ2連窓			
ガラス	強化ガラス厚4mm		強化ガラス厚4mm			
金物	付属金物一式		付属金物一式			
備考	網戸付		網戸付			

符号	ACC-1	1ヶ所	ミーティング室	WD-1	1ヶ所	ミーティング室
姿図 (内観図)						
型式	引分7mmサッシ		木製ポリ合板フラッシュ引き違い戸			
ガラス	-		-			
金物	付属金物一式		引手・Uスチール			
備考	天上露出型レール		移設再使用有			

改修建具表 S=1:50

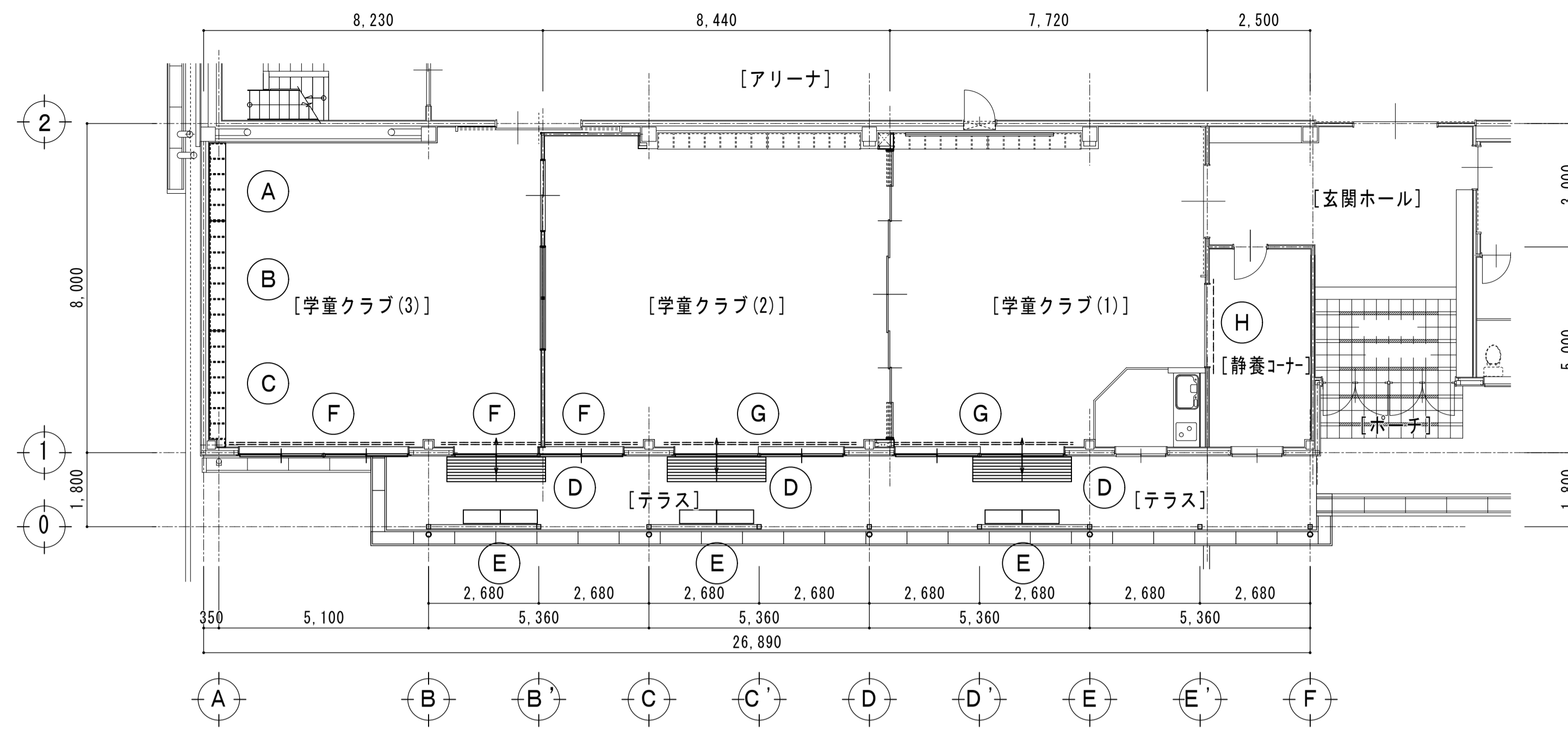
※WK-2, 3は既存木製建具のシリンダ錠取替工事

符号	AD-1, 1'	2ヶ所, 1か所 (AD-1'は左右反転形)	学童クラブ(2),(3), 学童クラブ(1)	AW-1	1ヶ所	学童クラブ(3)	WD-1	1ヶ所	学童クラブ(2)
姿図 (内観図)									
型式	鉄骨用半外付け7mmサッシ 腰パネル掃出し引違戸(フラットレールタイプ) 欄間外倒し2連窓+引違窓		鉄骨用半外付け7mmサッシ 引違イ2連窓		木製ポリ合板フラッシュ引き違い戸				
ガラス	強化ガラス厚4mm		強化ガラス厚4mm		-				
金物	7mmサッシウレ腰パネル・シリンダ錠・ラマ ワンタッチ開放式・付属金物一式		付属金物一式		引手・Uスチール				
備考	網戸付		網戸付		既存品再使用				

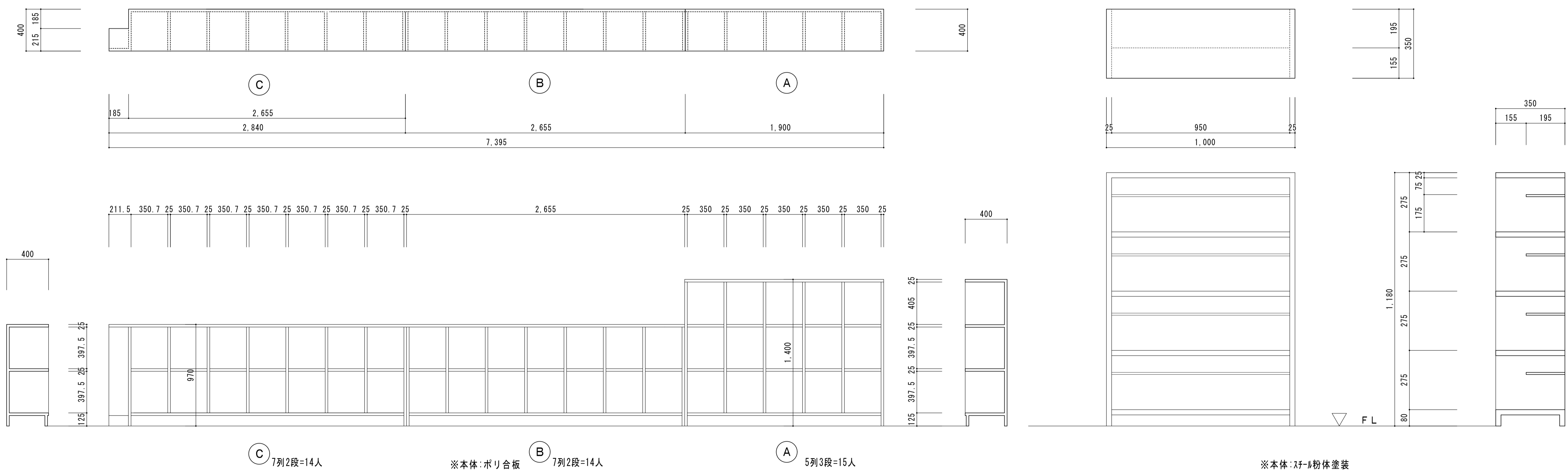
符号	WD-2	1ヶ所	学童クラブ(1)	WW-1	1ヶ所	学童クラブ(2)	WK-1	1ヶ所	学童クラブ(3)
姿図 (内観図)									
型式	木製ポリ合板7mmサッシ8本引きハガ-戸		2連木製ガラスFix窓		木製引分ハガ-戸				
ガラス	-		強化ガラス厚4mm		-				
金物	引手・4連ハガ-レール・フランス落し		-		引手・ハガ-レール・シリンダ錠				
備考			ガラス周囲シーリング						

凡 例

符 号	名 称	備 考
Ⓐ	児童用ロッカ- (15人用)	ポリ合板製 1,900Wx400Dx1,400H 5列3段
Ⓑ	児童用ロッカ- (14人用)	ポリ合板製 2,655Wx400Dx970H 7列2段
Ⓒ	児童用ロッカ- (14人用)	ポリ合板製 2,655 (2,840) Wx400Dx970H 7列2段
Ⓓ	スノコ (塩ビ樹脂製木調品)	1,160Lx600Wx2枚/個所 (テラト同等品)
Ⓔ	スチ-ル製シューズボックス (4段オープンタイプ)	1,000Wx350Dx1,180Hx2台/個所 (オフィスコム同等品) ケ-リン購入法適用品・粉体塗装品
Ⓕ	アルミ製カーテンレ-ル (ダブル)	ブラケット型 L=開口幅+300程度
Ⓖ	既存アルミ製カーテンレ-ル (ダブル) 再取付	ブラケット型
Ⓗ	アルミ製カーテンレ-ル (シングル)	ブラケット型 L=2,300



一般図 キ-プラン 1/100



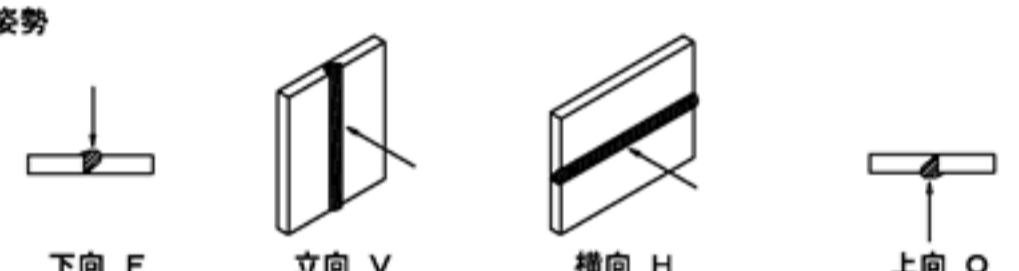
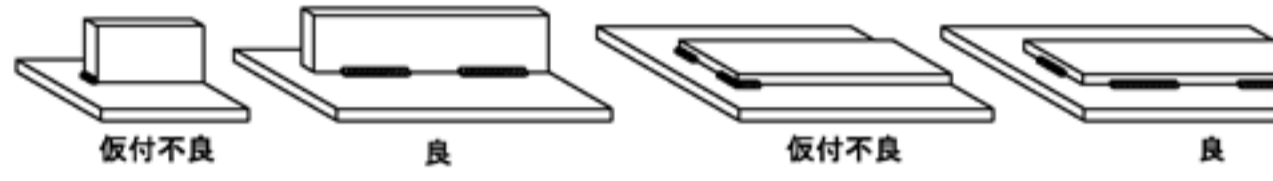
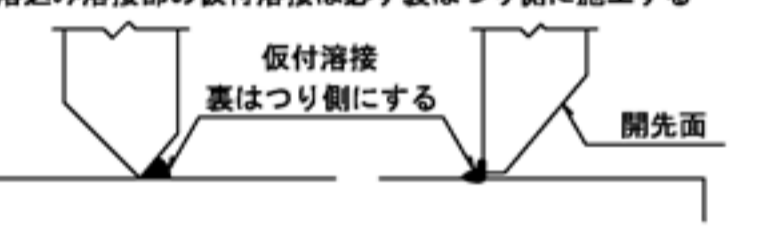
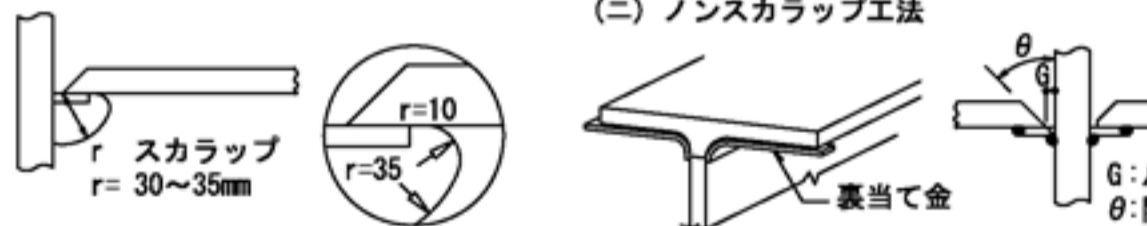
児童用ロッカ-詳細図 1/20

シューズボックス詳細図 (参考) 1/10

鉄骨構造標準図(1)

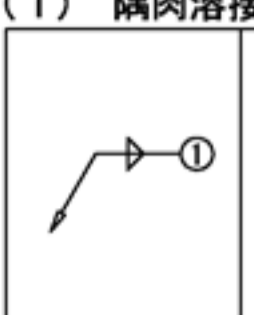
※修正箇所は下線を引くこと

1. 一般事項

- (1) 材料及び検査
 (a) 構造設計特記仕様による
 (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする。但し、ベースプレートの厚さは除く
 (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法・精度及びその他の結果を添付する
- (2) 工作一般
 (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 (b) 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 (c) 高強度鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- (3) 高力ボルト接合
 (a) 本構めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない
 (b) 高力ボルトの摩擦面の処理は黒皮などを産金外径2倍以上の範囲でショットブラスト、グラインダー掛け等を用いて除去した後、屋外に自然放置して発生した赤さび状態であること。但し、ショットブラスト、グリットブラストによる処理で表面荒さが、 $50\mu\text{m}$ 以上である場合は、赤さびは発生しないままでよい。
 (c) 高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付けの順序は部材が十分に密着するよう注意して行う。
- (4) 溶接接合
 (a) 平成12年建設省告示第1464号第二号イ、ロによる、溶接部の性能、溶着金属の性能を満足すること。
 (b) 溶接技能者
 溶接技能者は施工する溶接に適用するJISZ3801(手溶接)又はJISZ3841(半自動溶接)の溶接術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
 (c) 溶接機器
 (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 (ロ) アークエアガウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 (ハ) サブマリアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
 (d) 溶接方法
 アーク手溶接 (MC) ガスシールドアーク半自動溶接 (GC)
 セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接 (NGC) アークエアガウジング (AAG)
 (e) 溶接姿勢

 (f) 組立溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う
 (イ) 仮付位置
 組立溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

 (ロ) 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する

 (g) 溶接施工
 (イ) エンドタブ
 I 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付ける
 II エンドタブの材質は、母材と同質とする
 III エンドタブの長さは、MC:35mm以上
 NGC, GC:40mm以上と特記のない場合は、溶接終了後、母材より10mm程度残し切断して、グラインダー仕上げとする
 IV プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出し設計者、又は工事監理者の承認を得る
 (ロ) 裏当て金
 材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で6mm、半自動溶接で9mm以上、巾は25mm以上を原則とする。但し、溶接性能が確認できれば監理者の承認を得て変更することができる
 (ハ) スカラップ半径は30~35mmと10mmのダブルアルとする。但し梁成がD=150mm未満の場合のスカラップはr=20mmとする

 (ホ) 裏はつり
 標準図の溶接においてAAGと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を履行し、部材に確認マークを付ける
 (ヘ) 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部を傷めない様に養生を行う
- (5) 塗装
 コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

2. 溶接標準図 (注) f:余盛 G:ルート間隔 R:フェース S:脚長 (単位mm)

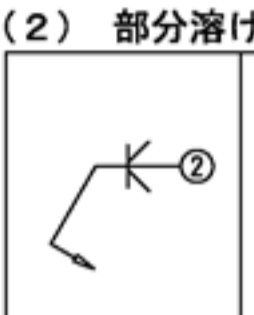
(1) 隅肉溶接



t ≤ 16mm	
t	7以下 8~10 11~13 14~16
S	6 7 10 12

・但し片面溶接の場合はS=tとする
 ・tはt1, t2の小さな方とする
 ・余盛は(1+0.1S)mm以下とする
 ・軸力が加わる場合のSは母材と同厚とすることが望ましい

(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所)に注意




R ≤ 2

t/4 ≤ f ≤ 10mm	t ≤ 16mm
溶接姿勢	F, V

(3) 完全溶込み溶接 (平継手 T形継手)

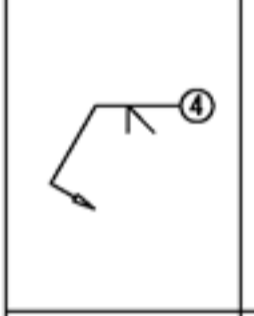
③



t	6 < t < 19mm
溶接姿勢	F, V

t/4 ≤ f ≤ 10mm

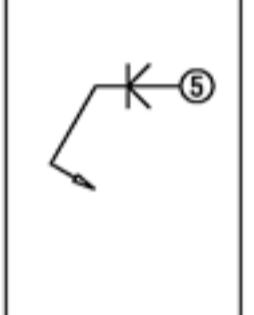
④



t mm	MC		NGC		GC	
	θ	t1	θ	t1	θ	t1
6 ≤ t < 12	45°	6	45°	6	45°	6
12 ≤ t < 16	35°	9	35°	9	35°	9
16 ≤ t	35°	9	35°	9	35°	9

溶接姿勢 F, V

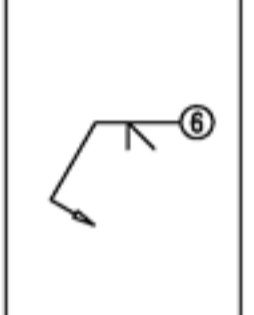
⑤



ど厚t mm	余盛の高さmm
t ≤ 4	1
4 < t ≤ 12	2
12 < t ≤ 19	3
19 < t	4

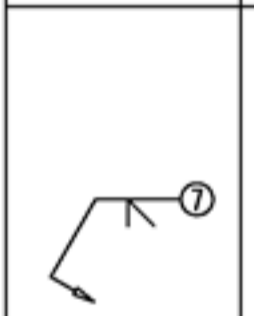
t	t ≥ 19mm
溶接姿勢	F, V

⑥



t	6 < t ≤ 19mm
溶接姿勢	F, V

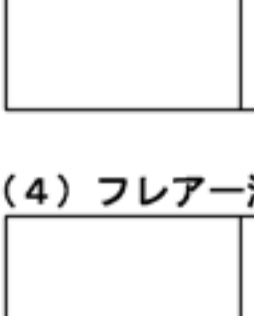
⑦



t mm	MC		NGC		GC	
	θ	t1	θ	t1	θ	t1
6 < t < 12	45°	6	45°	6	45°	6
12 ≤ t ≤ 19	35°	9	35°	9	35°	9
19 < t	35°	9	35°	9	35°	9

溶接姿勢 F, V

(4) フレア溶接

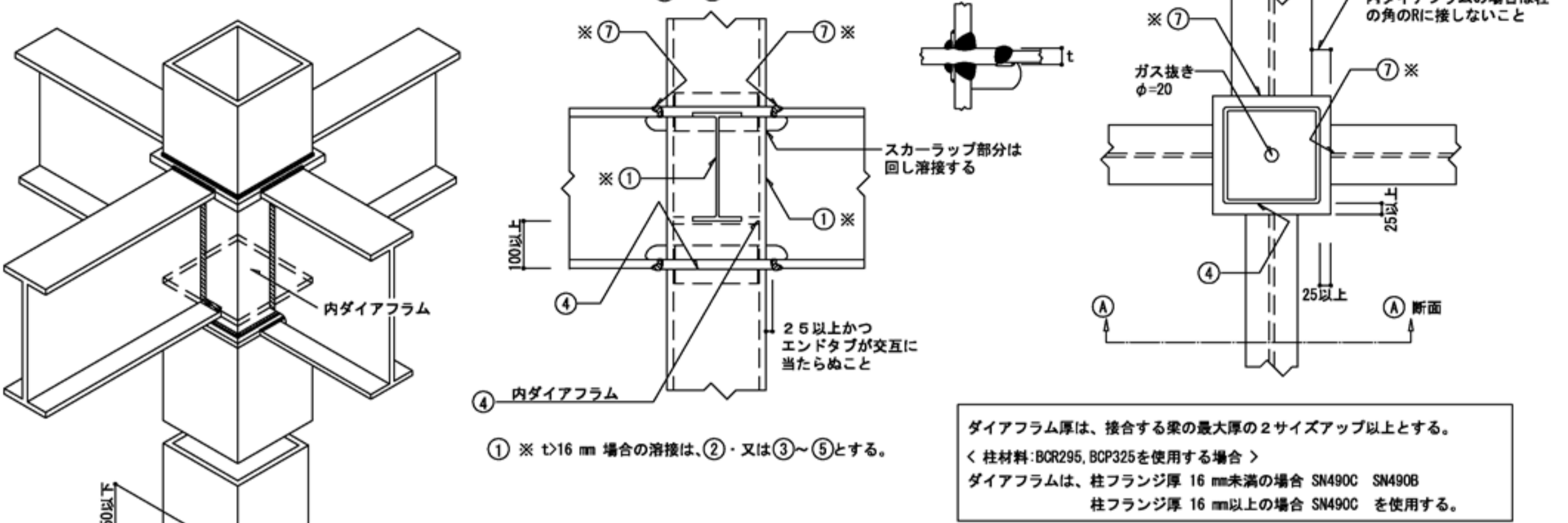


寸法 (mm)		
φ	B	S
9	7	4
13	8	4.5
16	9	5
19	10	6
22	11	7
25	12	8

・フレア溶接長は、鋼板に接する全長とする
 ・9mm~16mmは1バス以上、19mm以上は2バス以上とする
 溶接棒角度θは30°~40°とする

※ 溶接記号番号を○中に記入のこと

●BOX型 (通しダイアフラムの場合)



① ※ t ≤ 16 mm 場合の溶接は、②・又は③~⑤とする。

② ※ t ≥ 16 mm 場合の溶接は、③~⑤とする。

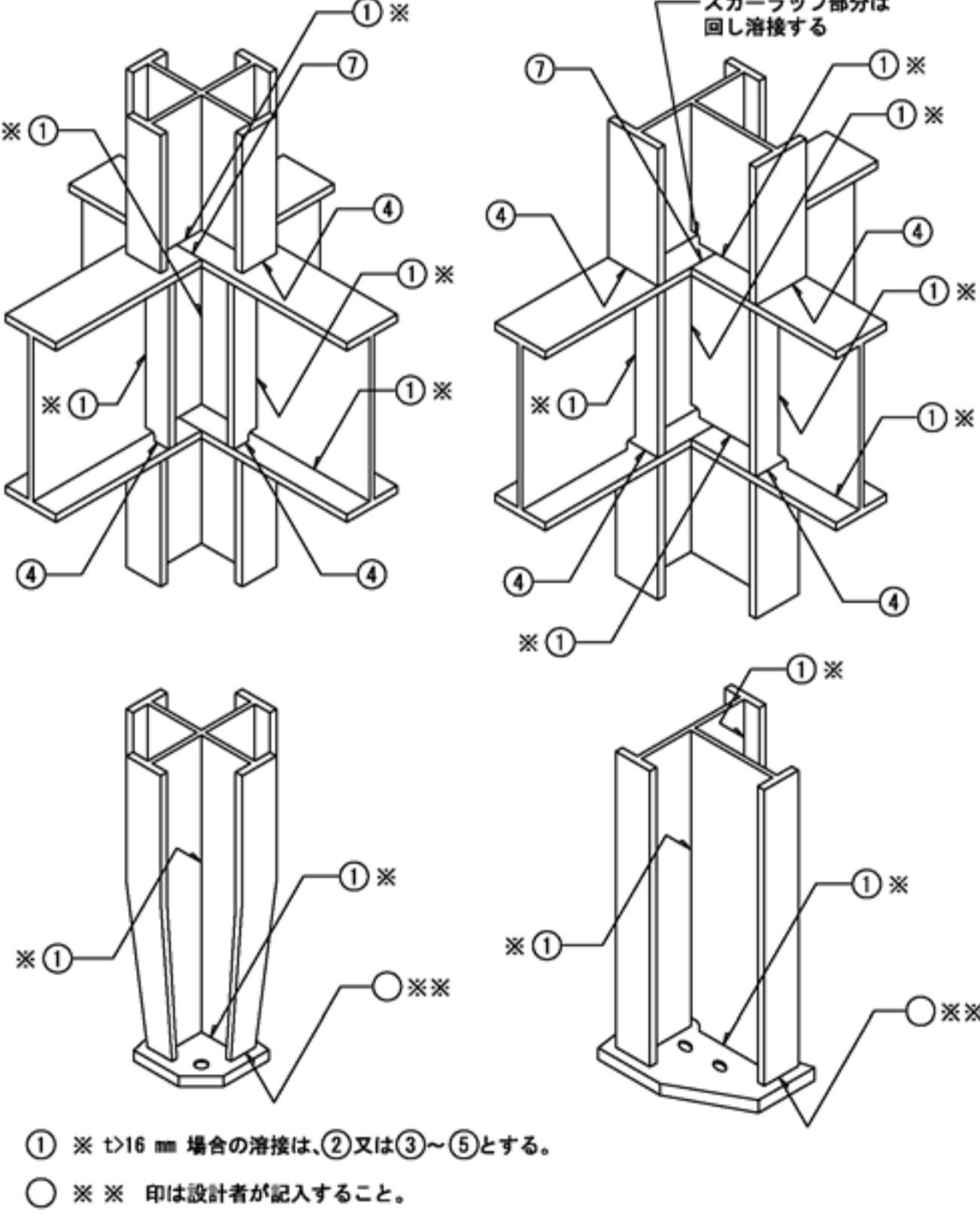
ダイアフラム厚は、接合する梁の最大厚の2サイズアップ以上とする。
 < 柱材料: BQR295, BCP325を使用する場合 >
 ダイアフラムは、柱フランジ厚 16 mm未満の場合 SN490C SN490B
 柱フランジ厚 16 mm以上の場合 SN490C を使用する。

●鋼材種別による溶接条件

鋼材の種類	溶接材料	入熱 (kJ/cm)	バス間温度 (°C)
400N級鋼	JIS Z 3211, 3212, 3214	YGW-11, 15	40 以下
	JIS Z 3312	YGW-18, 19	350 以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P	40 以下
	JIS Z 3212, 3214	YGW-11, 15	350 以下
490N級鋼	JIS Z 3312	YGW-11, 15	30 以下
	JIS Z 3315	YGA-50W, 50P	40 以下

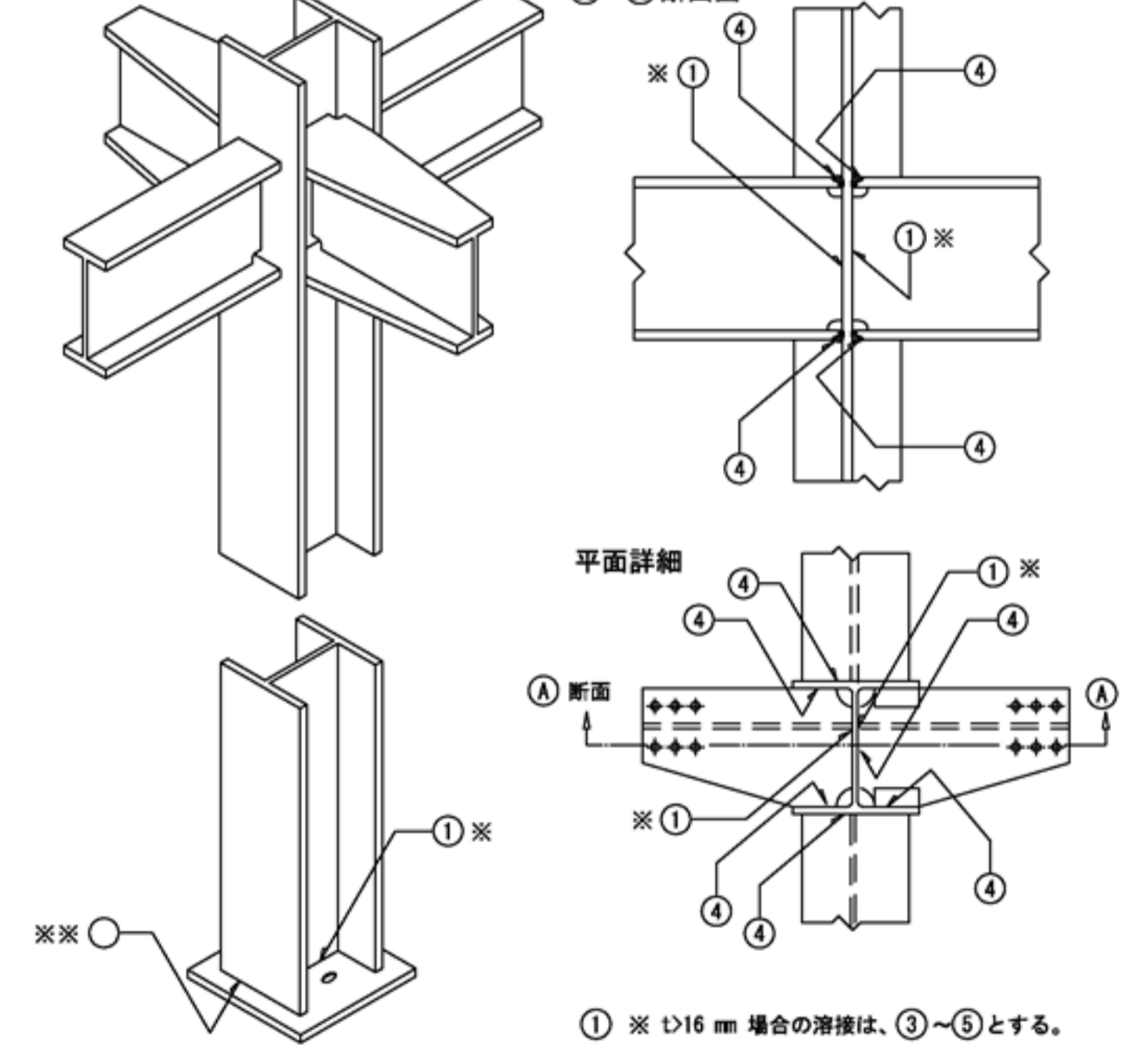
注) STKR, BCR, BCP材はJIS Z 3312, のみ使用可
 「構造設計特記仕様 6. 鉄骨工事(2) 認定または登録工場」のグレード別に定められた適用範囲と溶接条件制限事項による

●I-I H型

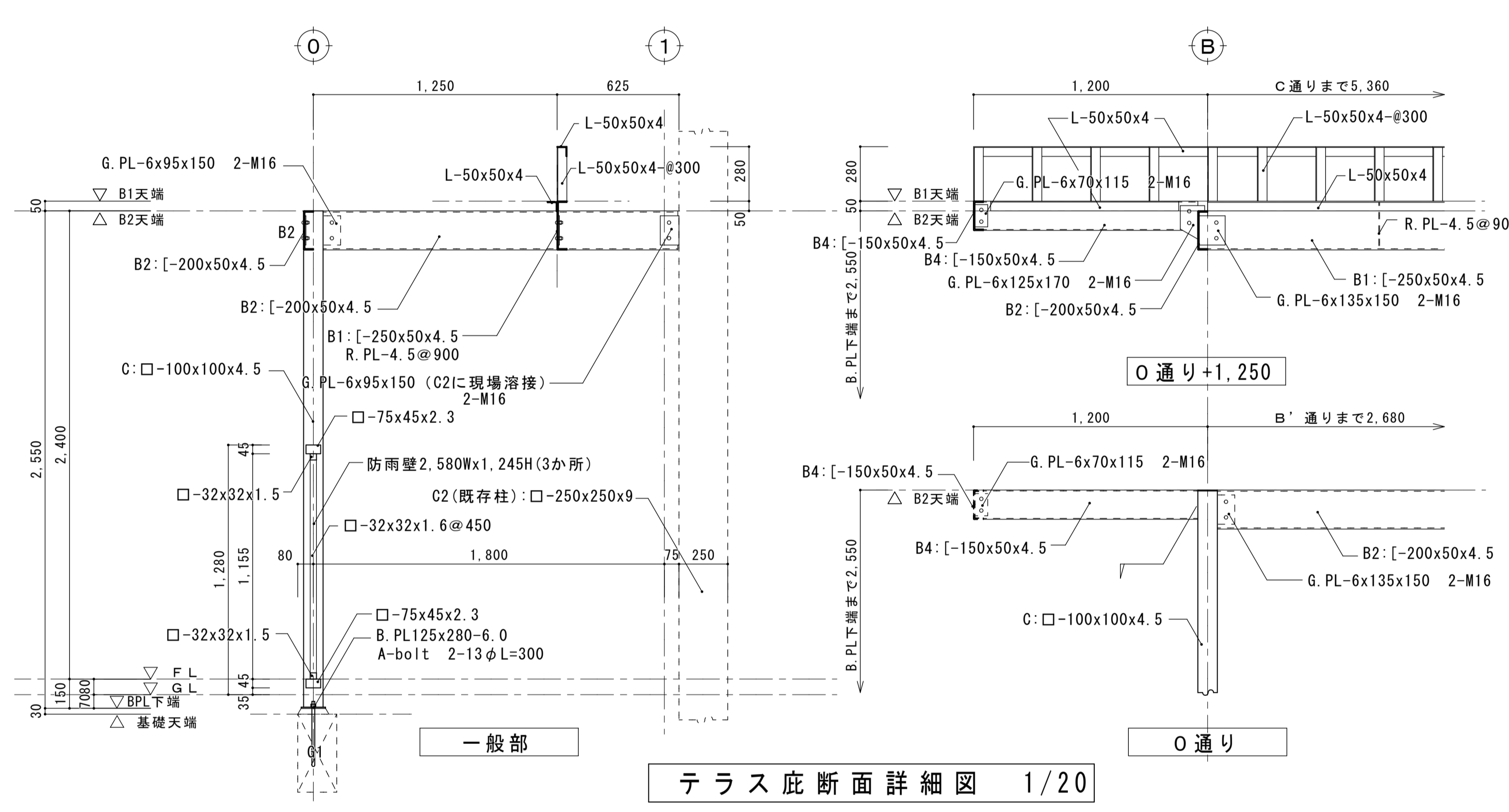
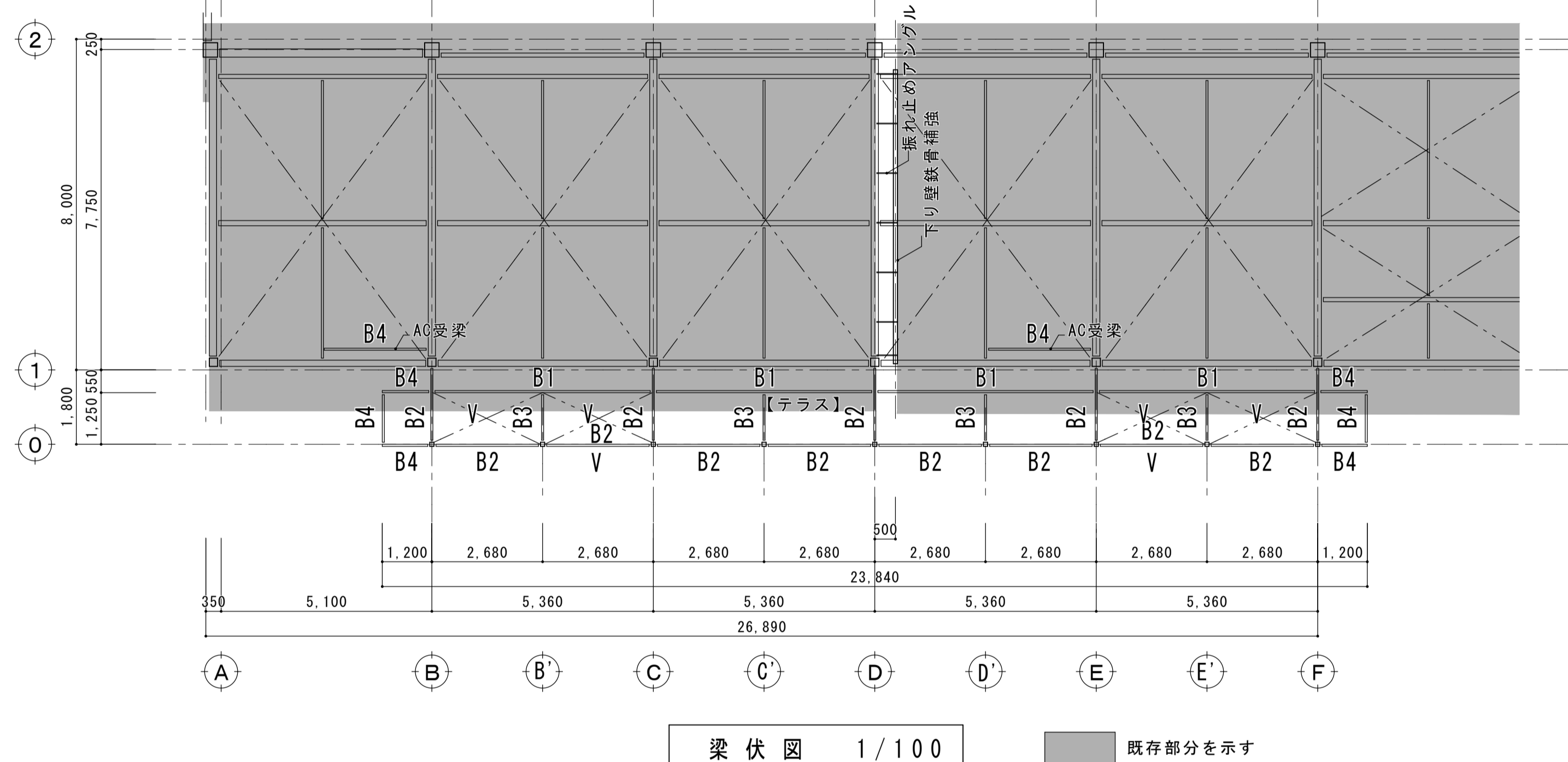
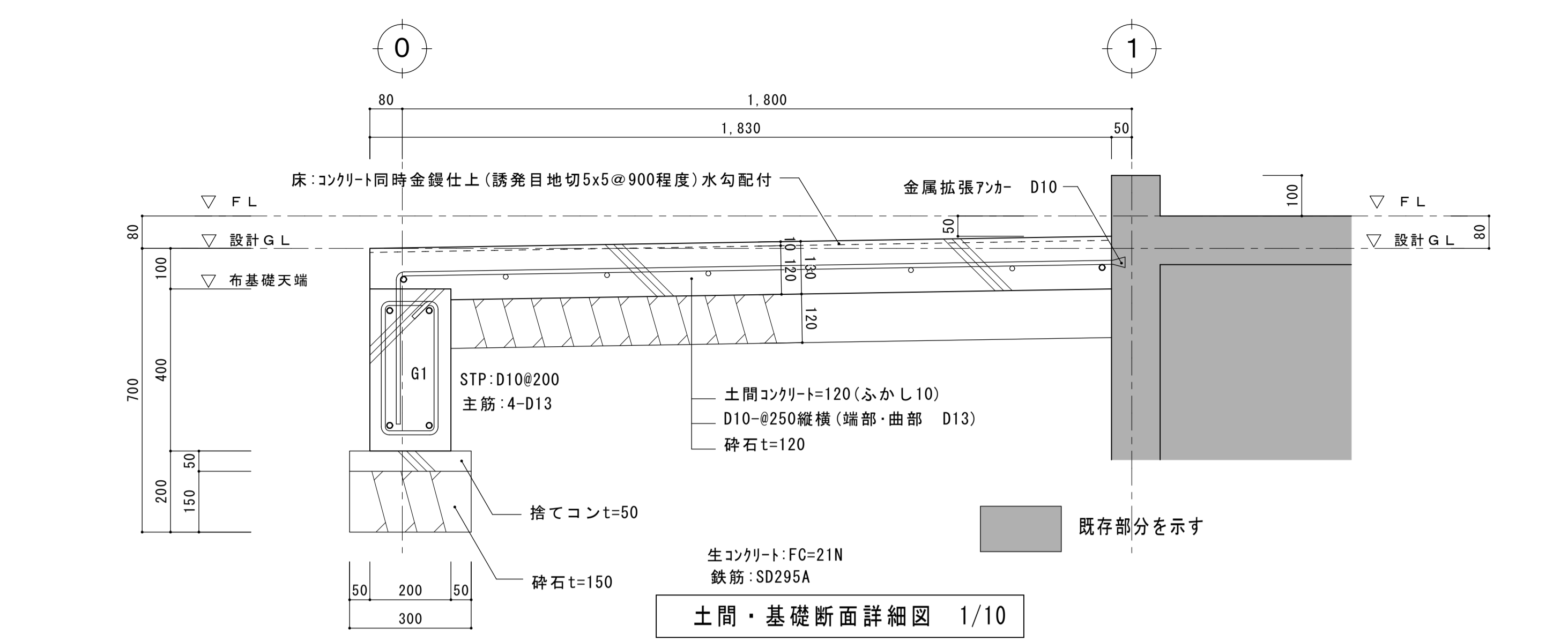
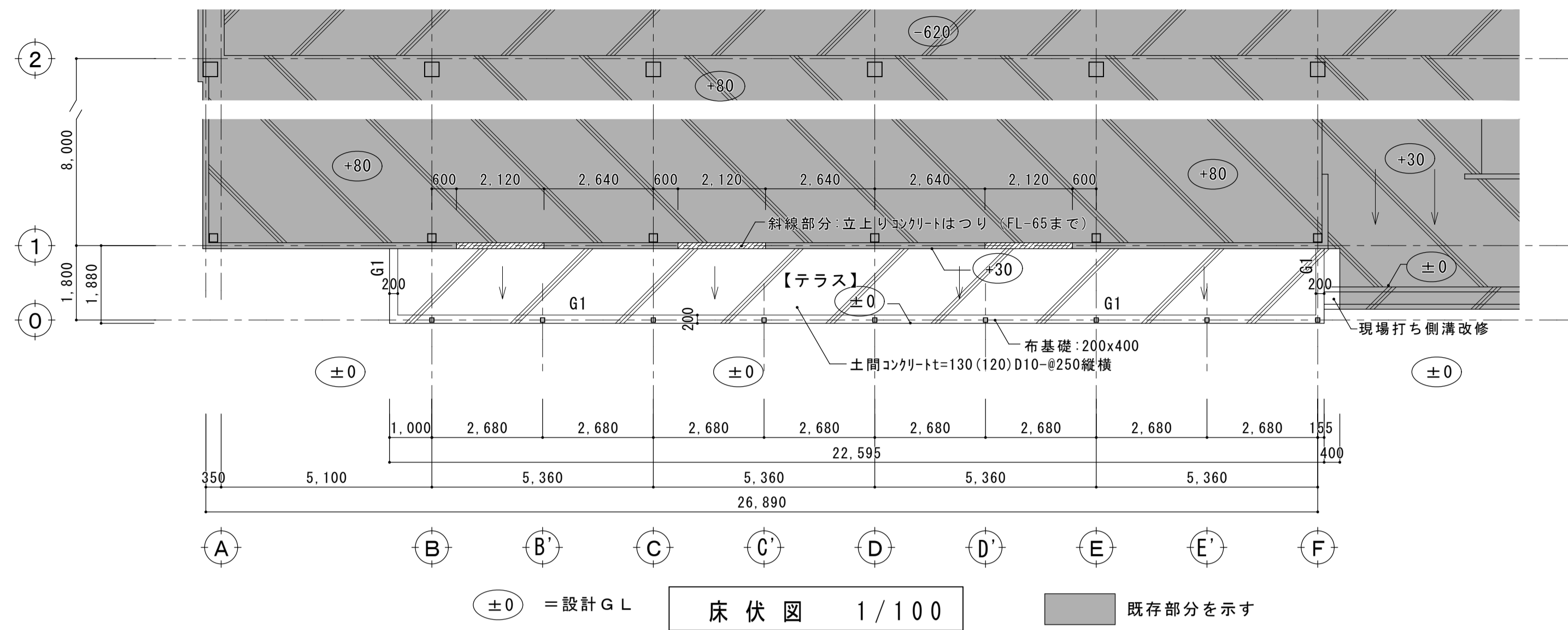


① ※ t ≤ 16 mm 場合の溶接は、②又は③~⑤とする。
 ○ ※ 印は設計者が記入すること。

●B.H方式

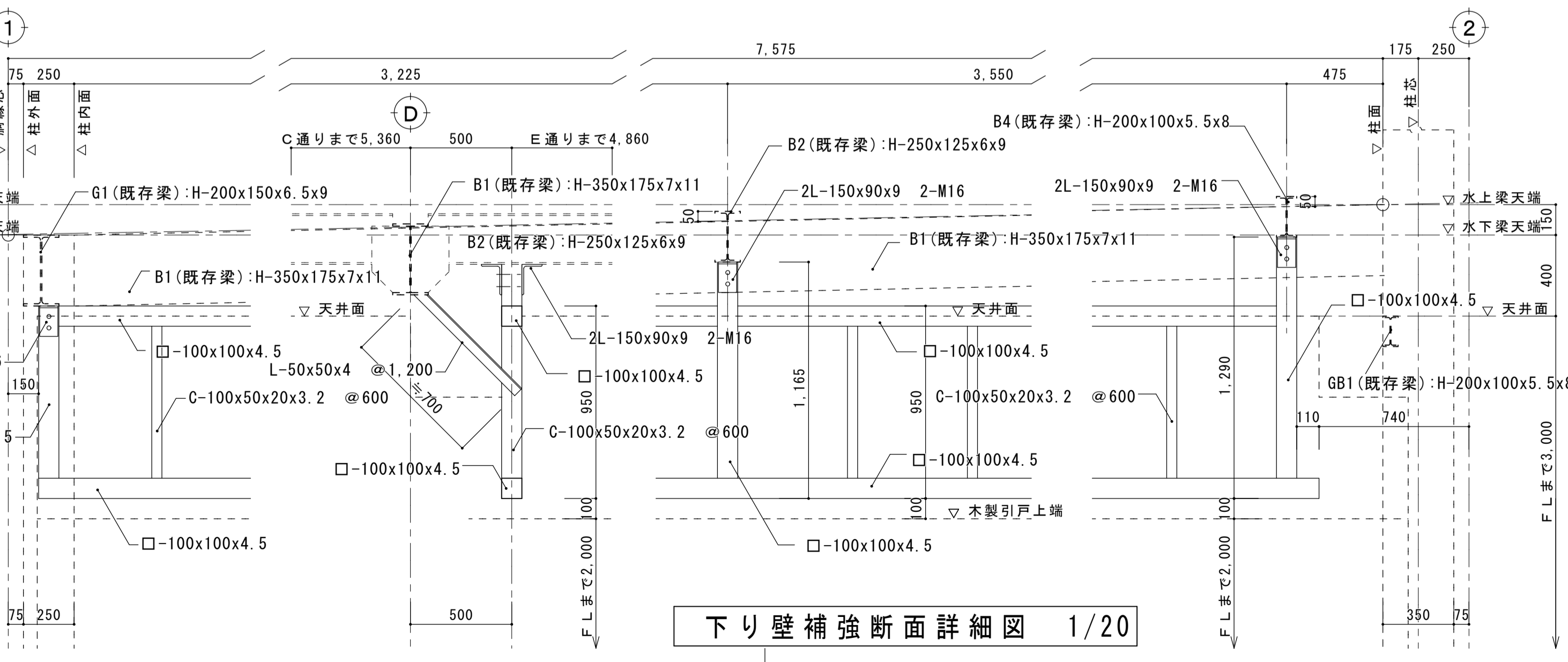
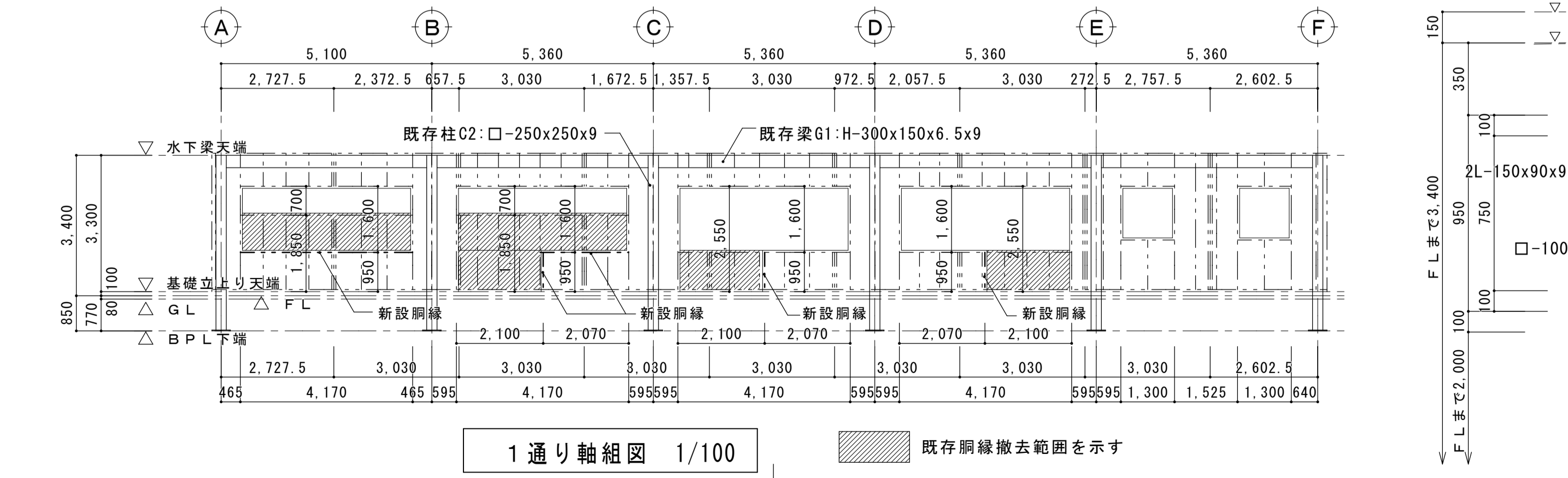


① ※ t ≤ 16 mm 場合の溶接は、③~⑤とする。

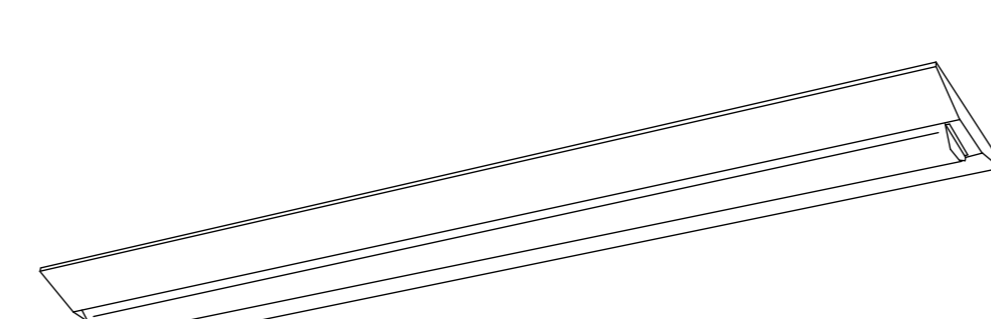
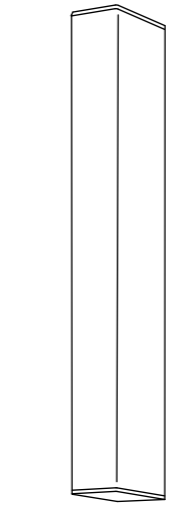
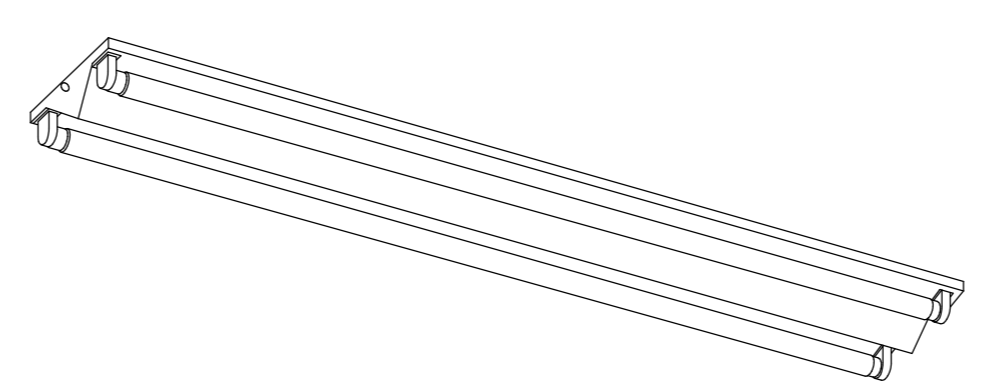


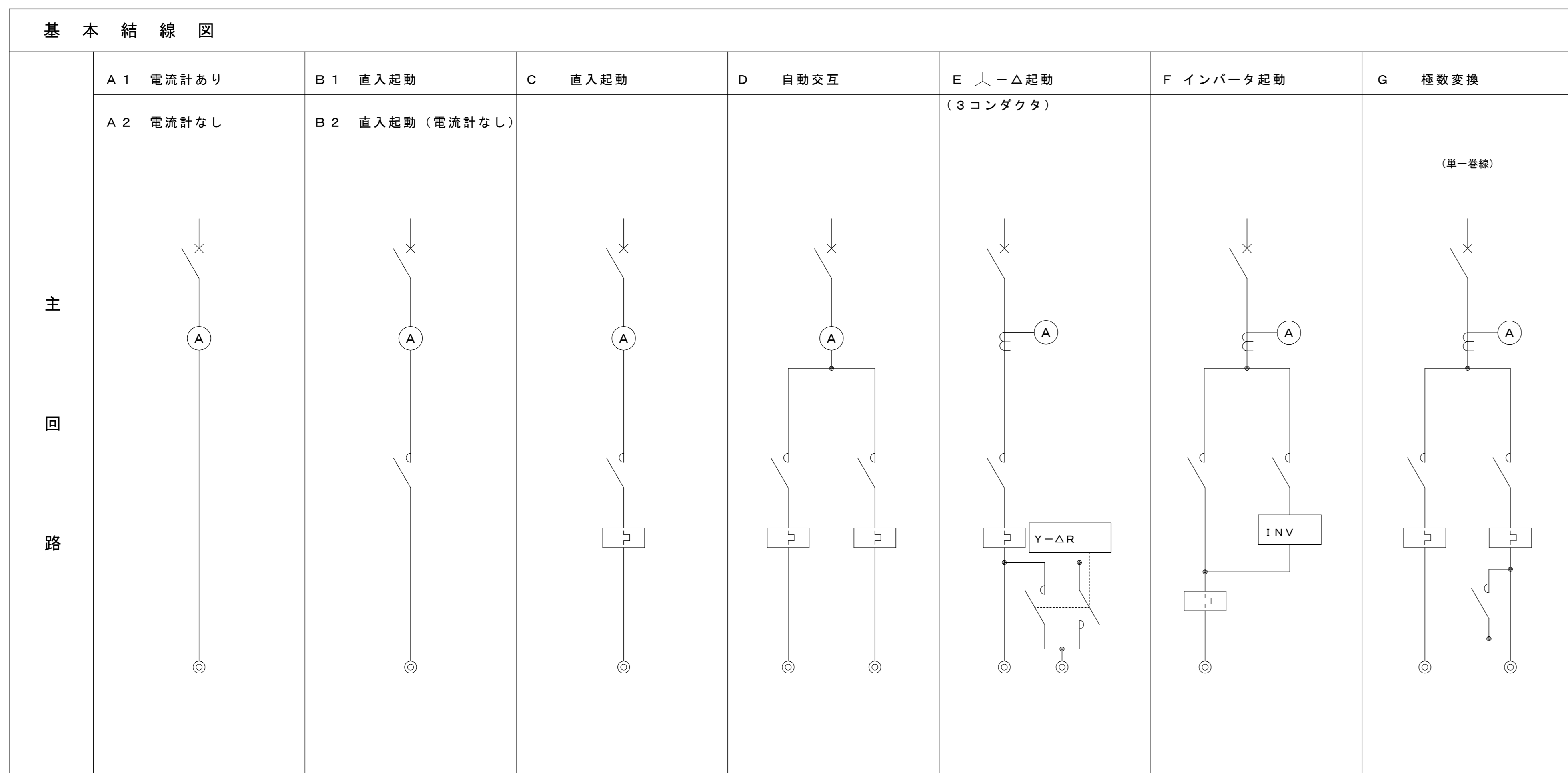
鉄骨部材リスト

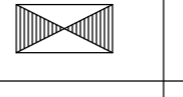
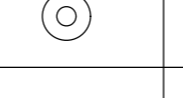

符号	規格	材質	取 合	備 考	符号・部位	規格	材質	取 合	備 考
C	□-100x100x4.5	STKR400	B. PL125x280-6.0 A-bolt 2-13φL=300		既存脚線	C-100x50x20x2.3	SSC400	L-75x75x6 (SS400) 2-M12 (普通ボルト)	@ ≒ 606
B1	[-250x50x4.5	SSC400	G. PL-6 (SS400) 2-M16	R. PL-4.5 @ ≒ 900	同上 開口廻り	C-100x50x20x3.2	SSC400	L-75x75x6 (SS400) 2-M12 (普通ボルト)	
B2	[-200x50x4.5	SSC400	G. PL-6 (SS400) 2-M16		新設脚線	C-100x50x20x3.2	SSC400	L-75x75x6 (SS400) 2-M12 (普通ボルト)	
B3	[-200x50x4.5	SSC400	G. PL-6 (SS400) 2-M16		V	1-M16 (タンハ' ヲル付)	SS400	G. PL-6 (SS400) 1-M16	
B4	[-150x50x4.5	SSC400	G. PL-6 (SS400) 2-M16						



動力制御盤リスト																		
盤名称	幹線番号	負荷				分岐開閉器容量				基本結線図記号				本制御盤		警報盤		
		機器番号	機器名称	設置階	容量(KW)	制御盤二次側配線 最大需要電力(KVA (需要率))	種類	P	A	F	A	T	主回路	操作回路	表示	表示	表示	表示
RP-4 屋内型 露出埋込兼用	CET38, E5.5 MCCB 3P 225AF/125AT	1	AC	1	8.13	CE8-4C (E31)	ELCB	3	100	75	A2							
		2	AC	1	8.13	CE8-4C (E31)	ELCB	3	100	75	A2							
		TOTAL 16.26KW																


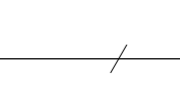
照明器具姿図	
A	B
iDシリーズ 直付形40形Dスタイル 6900lm	LEDカオ-ルライト20形
	
<p>一般タイプ、6900lmタイプ 定格出力型、電圧100~242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命：4000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵</p>	<p>防湿型・防雨型 器具光束1020lm、消費電力10.2W、電圧100~242V 5000K、Ra83、光源寿命4000時間（光束維持率85%） 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 天井直付型・壁直付型</p>
A' FHF 32Wx2 【既設移設】	
	


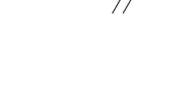


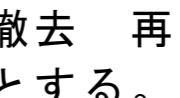
シンボル表・凡例		
記号	仕様	凡例
	電灯分電盤	埋込コンセント 2P15A x 2
	動力分電盤	埋込コンセント 2PE15/20A x 1
	ブルボックス	
	アウトレットボックス・ジョイントボックス	天井埋込スピーカ
	空調機器 (接続のみ)	天井埋込スピーカ ATT付
	照明器具 蛍光灯	アッテネータ
	照明器具 壁付蛍光灯	埋込テレビコンセント
	照明器具 ダウンライト	ジョイントボックス (カバープレート)
	照明器具 誘導灯	
	リモコンスイッチ nL	総合盤 (埋込)
	埋込スイッチ 1P	差動式スポット感知器 2種
	埋込スイッチ 3W	定温式スポット感知器 特種
	埋込スイッチ PL1P	煙スポット感知器 2種
	防水埋込スイッチ 1P	換気扇 (接続のみ)

特記なき配線は下記の通りとする

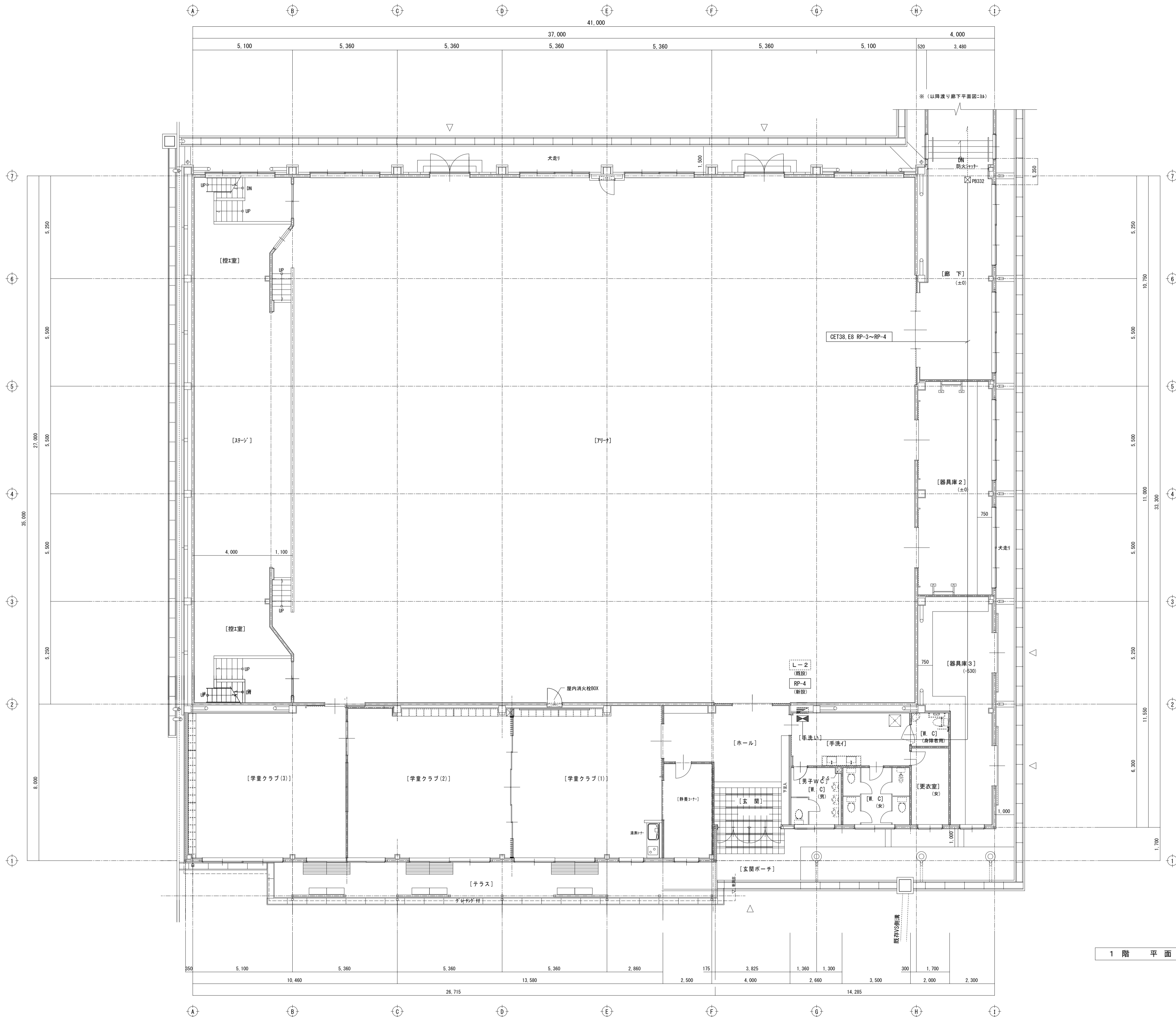
【動力】
 CE8-3C, E3.5

【電灯】
 EEF 1.6-3C
 EEF 2.0-3C
 EEF 1.6-2Cx2
 EEF 1.6-2Cx3C
 EEF 1.6-3Cx2
 EEF 1.6-2Cx2+3C

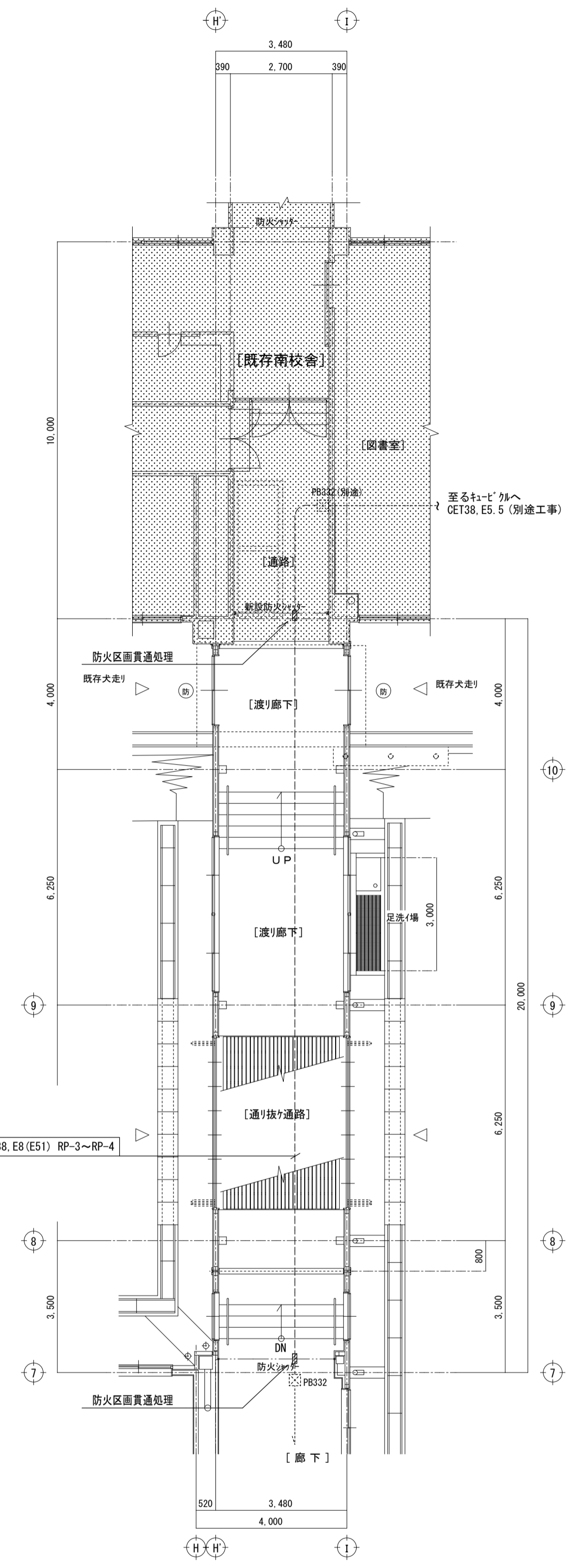
【弱電】
 EM-S-5C-FB
 EM-HP 1.2-3C

【火報】
 EM-AE 0.9-2C

・防火区画貫通箇所は、法に適した処理を施すこと。
 ・立下げ部で保護の必要な箇所は、配管にて保護すること。
 ・撤：撤去 再：撤去・再取付 移：移設 新：新設
 表記とする。
 ・実線：工事範囲 点線：既設 x：撤去

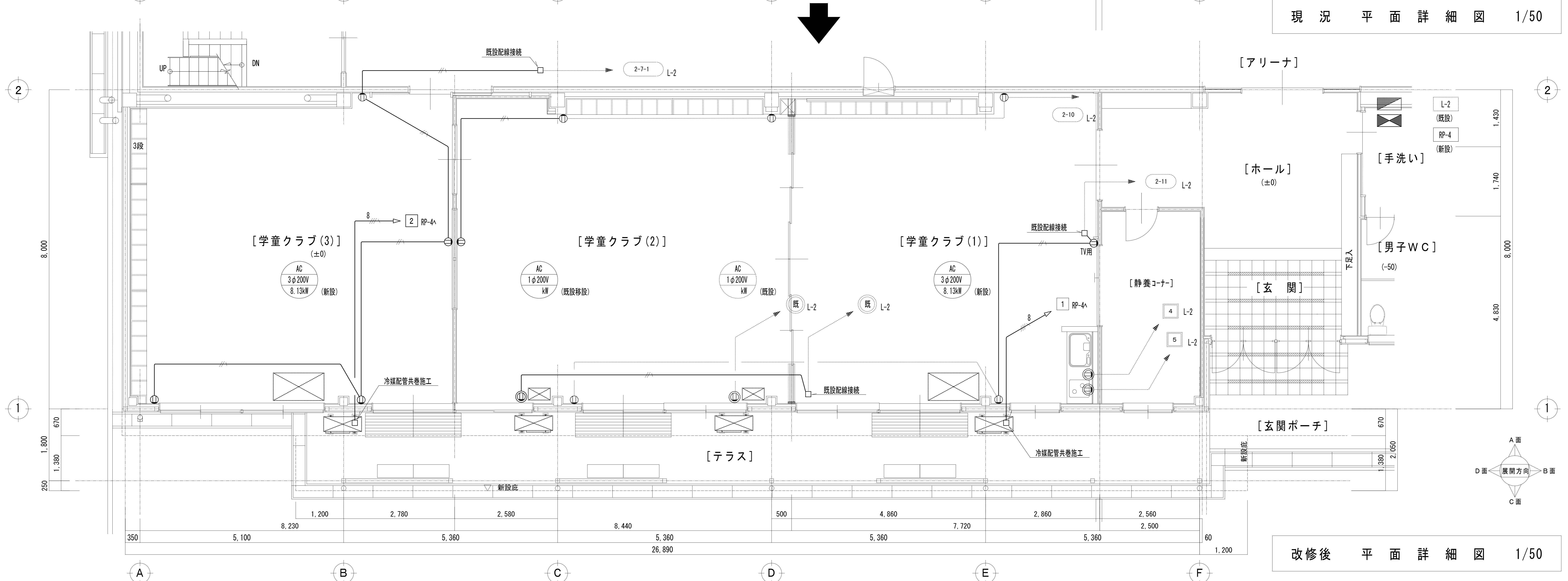
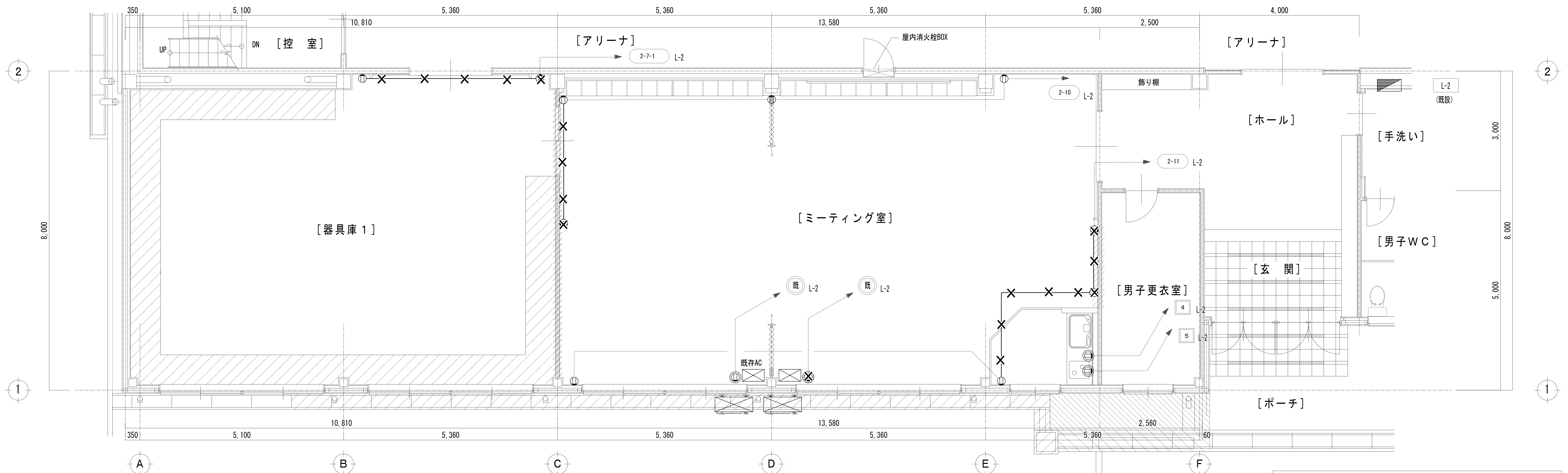


1階 平面図 S=1:100

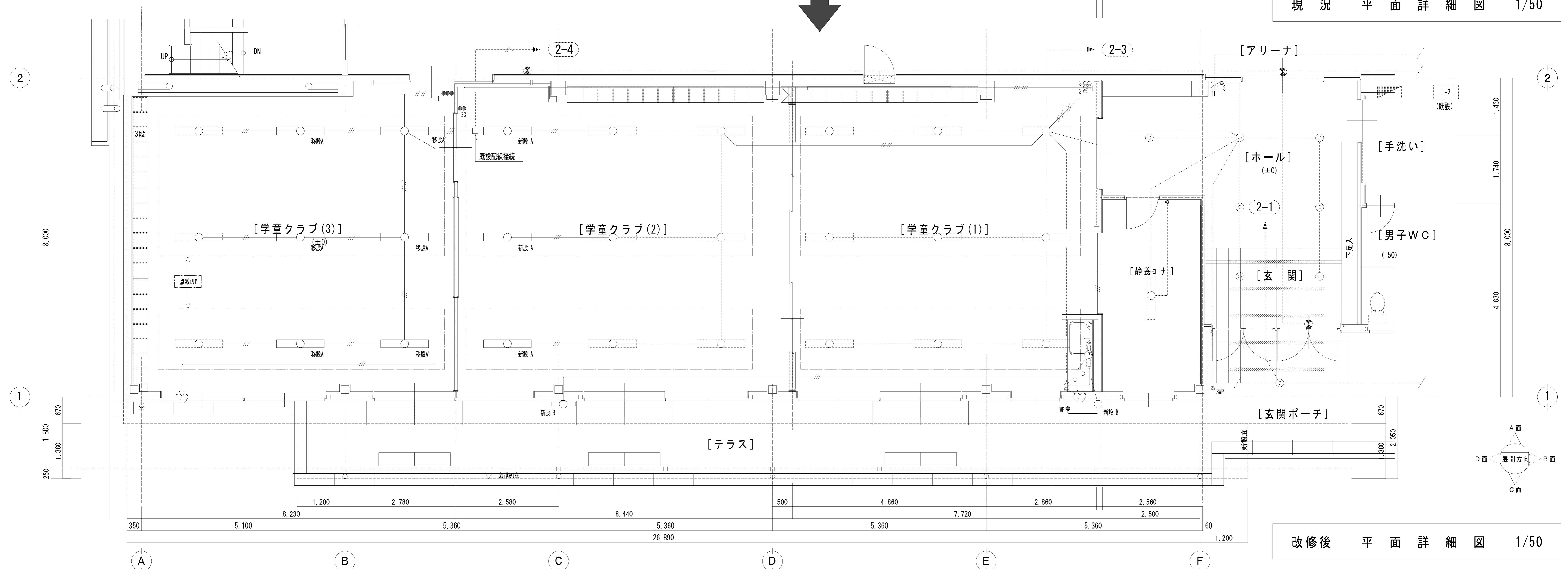
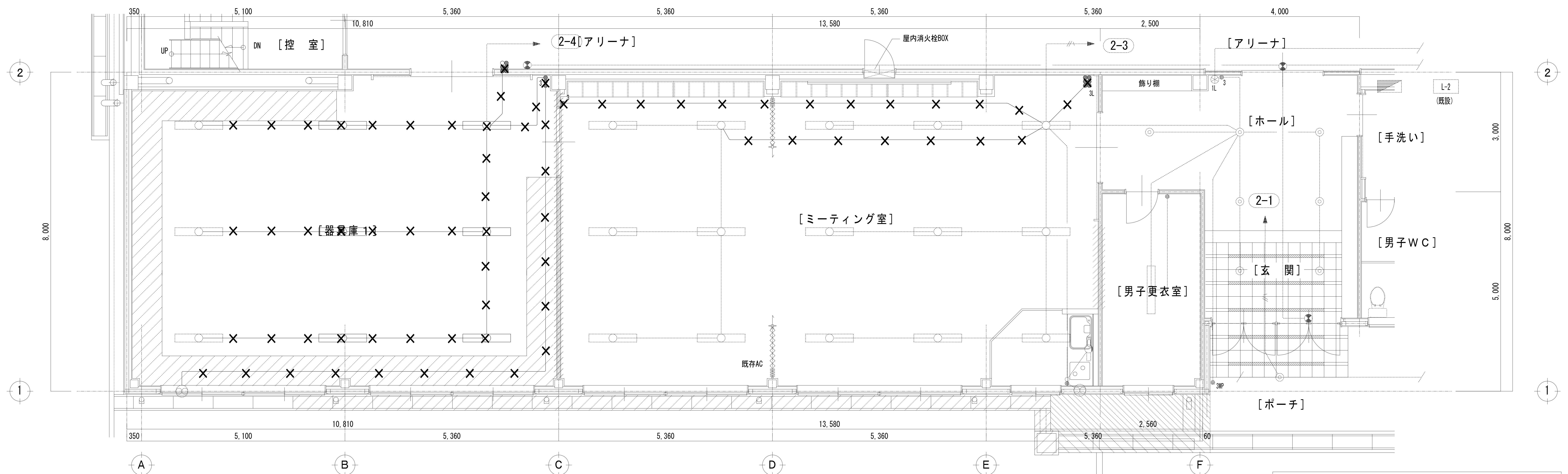


渡り廊下 平面図 S=1:100

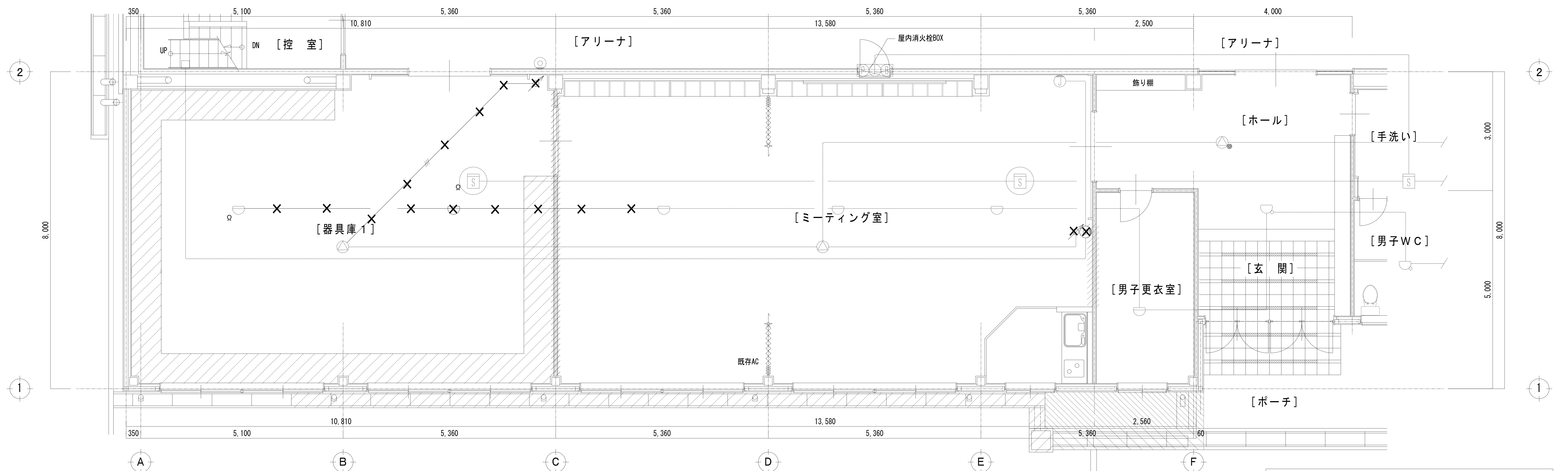
MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 幹線設備図	SCALE 1/100 A3縮小時は50%	DATE H32.2	箕輪町	SHEET NO. E-03
------------	------------------------------	---------------	-----------------------------	---------------	-----	-------------------



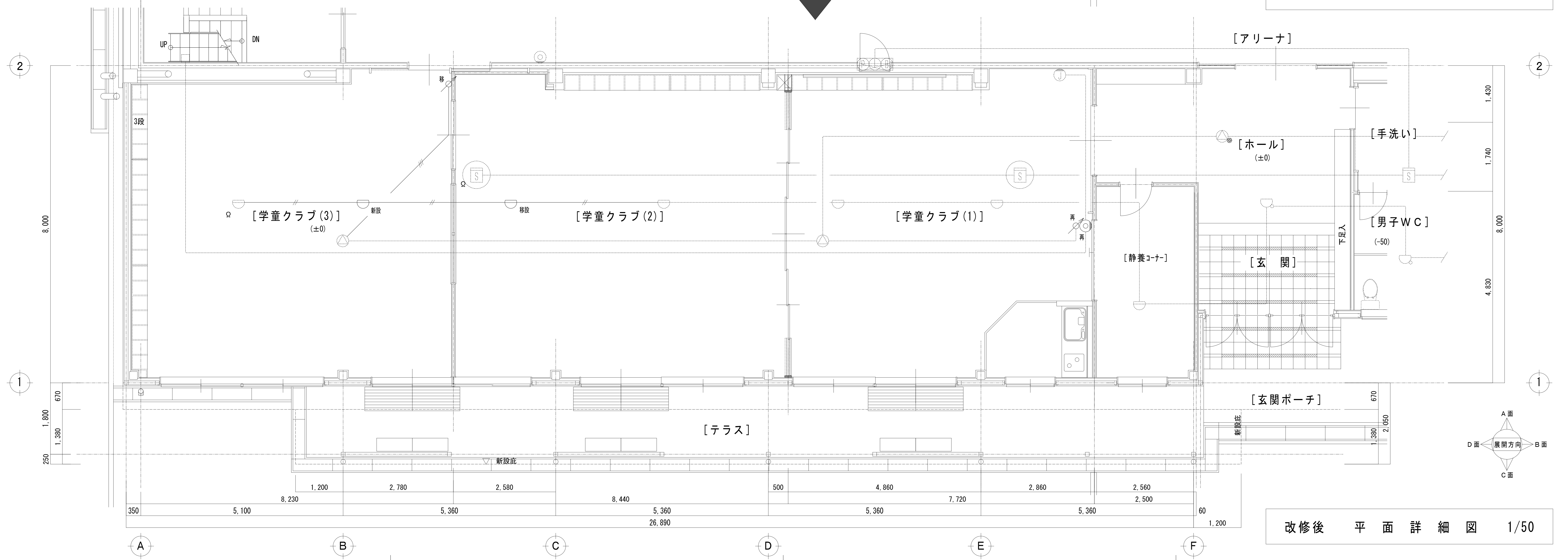
MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 動力・コンセント設備図	SCALE 1/50 A3縮小時は50%	DATE H32・2	<h1>箕輪町</h1>	SHEET NO. E-04
------------	------------------------------	---------------------	----------------------------	---------------	--------------	-------------------



MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 電灯設備図	SCALE 1/50 A3縮小時は50%	DATE H32・2	箕輪町	SHEET NO. E-05
------------	------------------------------	---------------	----------------------------	---------------	-----	-------------------



現況平面詳細図 1/50



改修後平面詳細図 1/50

MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	箕輪町	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	弱电・自動火災報知設備図	1/50	H32・2		E-06
			A3縮小時は50%			

令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事

I. 工事概要

1. 工事場所 長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪475

建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(㎡)	消防法施行令別表第一(7)	耐震分類	備考
屋内運動場		S	2	1,492.39	(7)		規模転入部分 195.12㎡
模様替部分	模様替	S	1	195.12	(7)		

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別					
	工	事	内	容		
○空気調和設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
●冷暖房設備	●-式	○-式	○-式	○-式	○-式	●-式
○暖房設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○オイル設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○換気設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○自動制御設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○衛生器具設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
●給水設備	●-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
●排水設備	●-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○給湯設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○消火設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○ガス設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○給油設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○厨房機器設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○美観美容器具設備	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○内装工事	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式
○外装工事	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式	○-式

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)

方法及び種別	設備概要
空調方式	・ 空冷ヒートポンプ
冷暖房方式	○ 空冷ヒートポンプ
暖房方式	・ 温風暖房 ・ 温水暖房 ・ F F 暖房 ・ 蓄熱式電気床暖房
換気方式	・ 局所換気
給水方式	○水道直結式 ・ 加圧式(受水槽式) ・ 高層タンク式(・ 上水 ・ 井水)
排水方式	・ 建物内汚水、雑排水(・ 分流 ・ 合流) ○ 建物外汚水、雑排水(・ 分流 ・ 合流) 浄化槽(・ 合併 ・ 単独) 放流先 ・ 公共下水 ・ 地下浸透
消火設備の種類	・ 屋内消火栓設備(乾式) ・ 消火器(建築工事) ・ スプリンクラー設備
ガスの種別	・ 都市ガス(発熱量 KJ/Nm ³ 供給事業者名:) ・ 液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/Nm ³)

5. 指定部分 無 ・ 有 (指定部分しゅん工期間 平成 年 月 日) 対象部分:

II. 図面目録

No.	図面名称
01	機械設備工事特記仕様書
02	配置図・凡例・機器表
03	現状機械設備平面図
04	改修後機械設備平面図
05	
06	
07	
08	
09	
10	
11	
12	
13	
14	

III. 工事仕様

1. 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管理課の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成25年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、 「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)(平成25年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。)及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)(平成19年版)」(以下、「標準図」という。)による。
- (2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

参考図書 ●長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成19年版)長野県住宅部施設課監修

2. 特記仕様

- (1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
- (2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、・印の付いたものは適用しない。

章 項 目 特 記 事 項

① 機 材	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料(以下、「品質性能証明資料」という。)を提出して監督職員の承認を受ける。(標準仕様書第1編第1章第4節1.4.2)ただし、(社)公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。
③ 使用材料発注先調査	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調査を作成し、監督職員の承認を受ける。

④ 化学物質を含有する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1)から5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを含有しないか、発散が極めて少ないものとする。
2) 保温材、断熱材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを含有しないか、発散が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないか、発散が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを含有しないか、発散が極めて少ないものとする。
5) 上記1)、3)、4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを含有しないか、発散が極めて少ないものとし、発散量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとし、発散量が第3種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
規制対象外	①MS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJIS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第 三 種	①MS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③JISのE0規格品 ④JISのF0規格品

⑤ ペーストシール剤
飲料水管系に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと。
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラヒドロ、クロロピオレン、フェノール、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

電気保安技術者 7 技能士の適要
⑥ 監督員事務所
⑦ 工事用電力・用水等
⑧ 足場・さん積類

⑨ 資材の保管
12 建設発生土
13 埋め戻し土・盛土
14 山留養生

⑩ 発生材処理
17 取扱説明板

⑪ 総合調整

⑫ 容量等の表示

⑬ 耐震措置

⑭ 文字入札名等

17 取扱説明板

⑮ 総合調整

⑯ 容量等の表示

⑰ 耐震措置

⑱ 容量等の表示

⑲ 耐震措置

⑳ 容量等の表示

㉑ 耐震措置

㉒ 容量等の表示

㉓ 耐震措置

㉔ 容量等の表示

㉕ 耐震措置

㉖ 容量等の表示

㉗ 耐震措置

㉘ 容量等の表示

㉙ 耐震措置

㉚ 容量等の表示

㉛ 耐震措置

㉜ 容量等の表示

26 管の埋設表示
27 溶接部の非破壊検査
28 塗 装

29 機器の基礎及び振動絶縁効率

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

10 ビストンダンパー
11 弁 類
12 温 度 計
13 圧 力 計
14 瞬 間 流 量 計
15 油 面 制 御 装 置

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

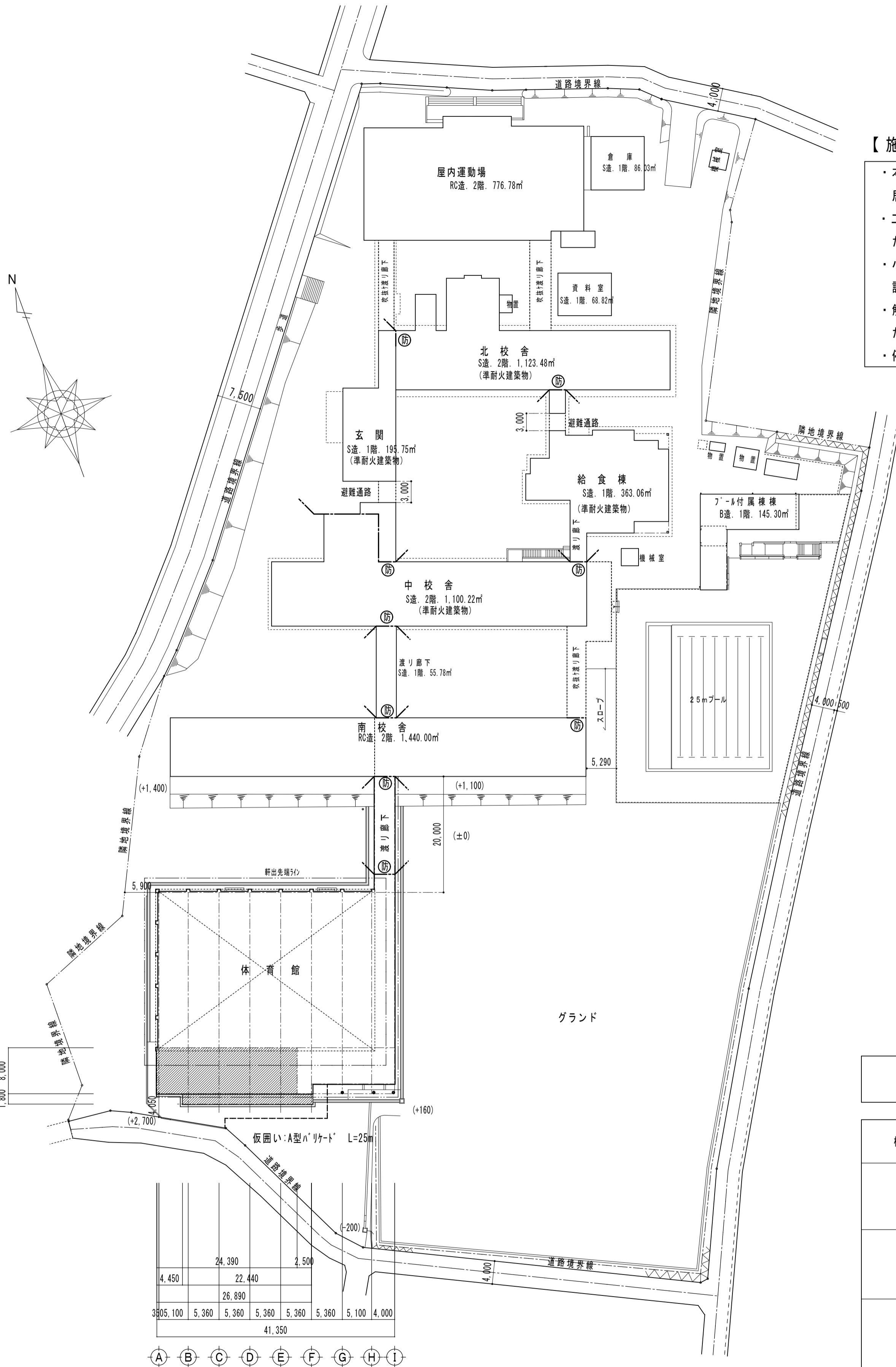
⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

⑳ 換気設備
㉑ は ね り
㉒ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

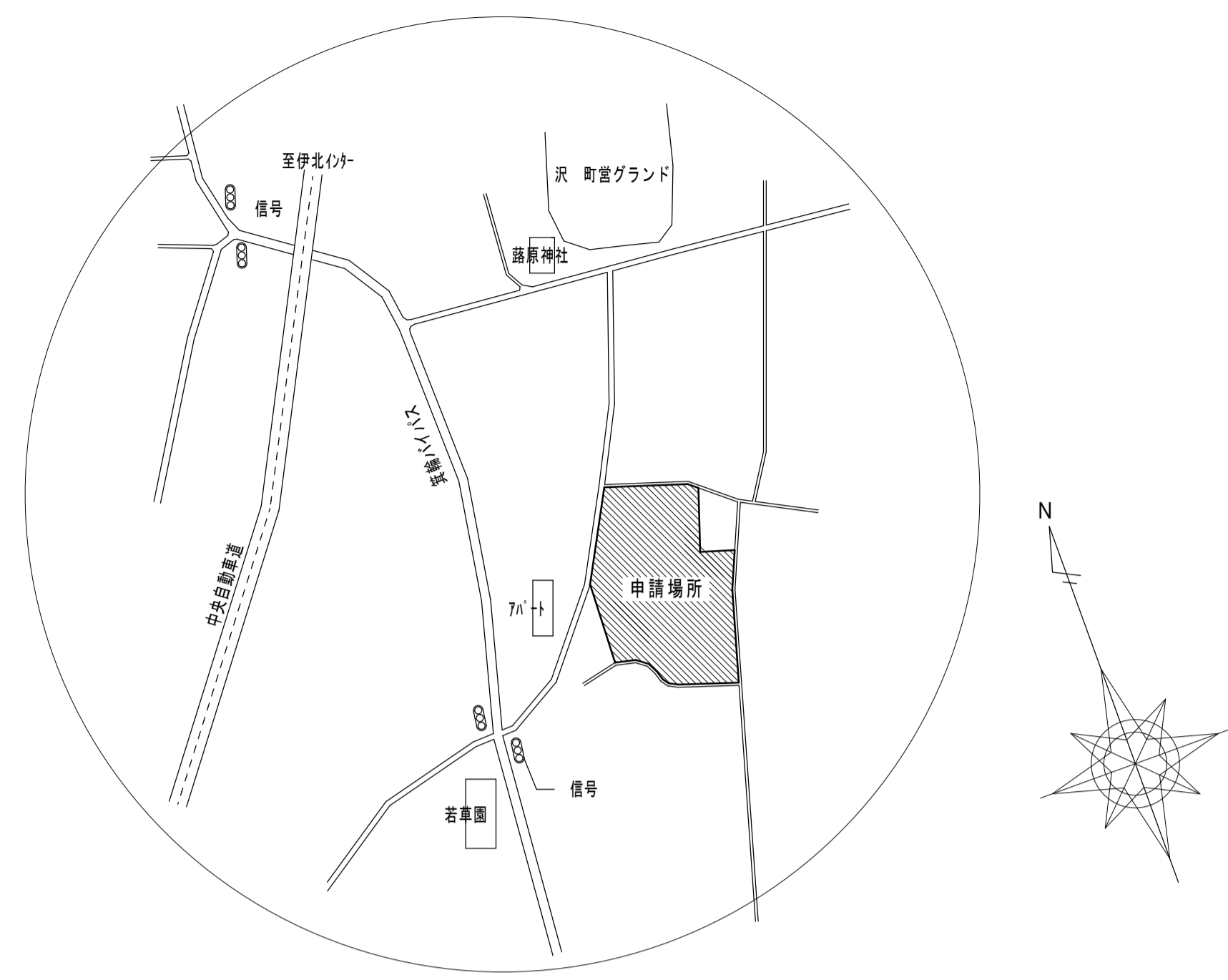
MEMORANDUM	TITLE	ITEM	SCALE	DATE	SHEET NO.
	令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	機械設備工事 特記仕様書		H32.2	M-01

箕輪町



【 施工条件 】

- ・本工事は小学校の屋内運動場の一部を改修する工事であり通常の学習活動を行っている中での居ながら工事である為、児童の安全確保・授業中の騒音等に特に留意する。
- ・工事期間中は児童クラブの活動は別室にて予定しているため、仮間仕切等の仮設は不要とする。ただし工事範囲以外の部分との取合部の工事は土日祝日等の休校日または放課後の施工とする。
- ・小学校の登下校時と工事車両の搬出入が重複しないよう時間帯の分離を図ると共に必要により誘導員等を配置し安全確保に努める。
- ・解体撤去工事等の騒音を伴う工事については、土日祝日等の休校日の作業を基本とする。ただしやむをえない場合は学校側を含め監督員・監理者と協議を行い決定する。
- ・停電及び断水を伴う工事については、事前に学校側と協議を行い日程を確認すること。



付 近 見 取 図

凡 例

記 号	名 称	仕 様 ・ 規 格		
— R —	冷 媒 管	屋内一般	冷媒用銅管(断熱材被覆銅管)	製造者標準品
— D —	ドレン管	屋内一般	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741(VP)
— — —	給 水 管	屋外埋設	水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管	JWWA K 129(HIVP)
		屋内埋設	水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管	JWWA K 116(SGP-VD) 管端防食継手
— — —	屋 外 排 水 管	地中配管	硬質塩化ビニル管	JIS K 6741(VU)

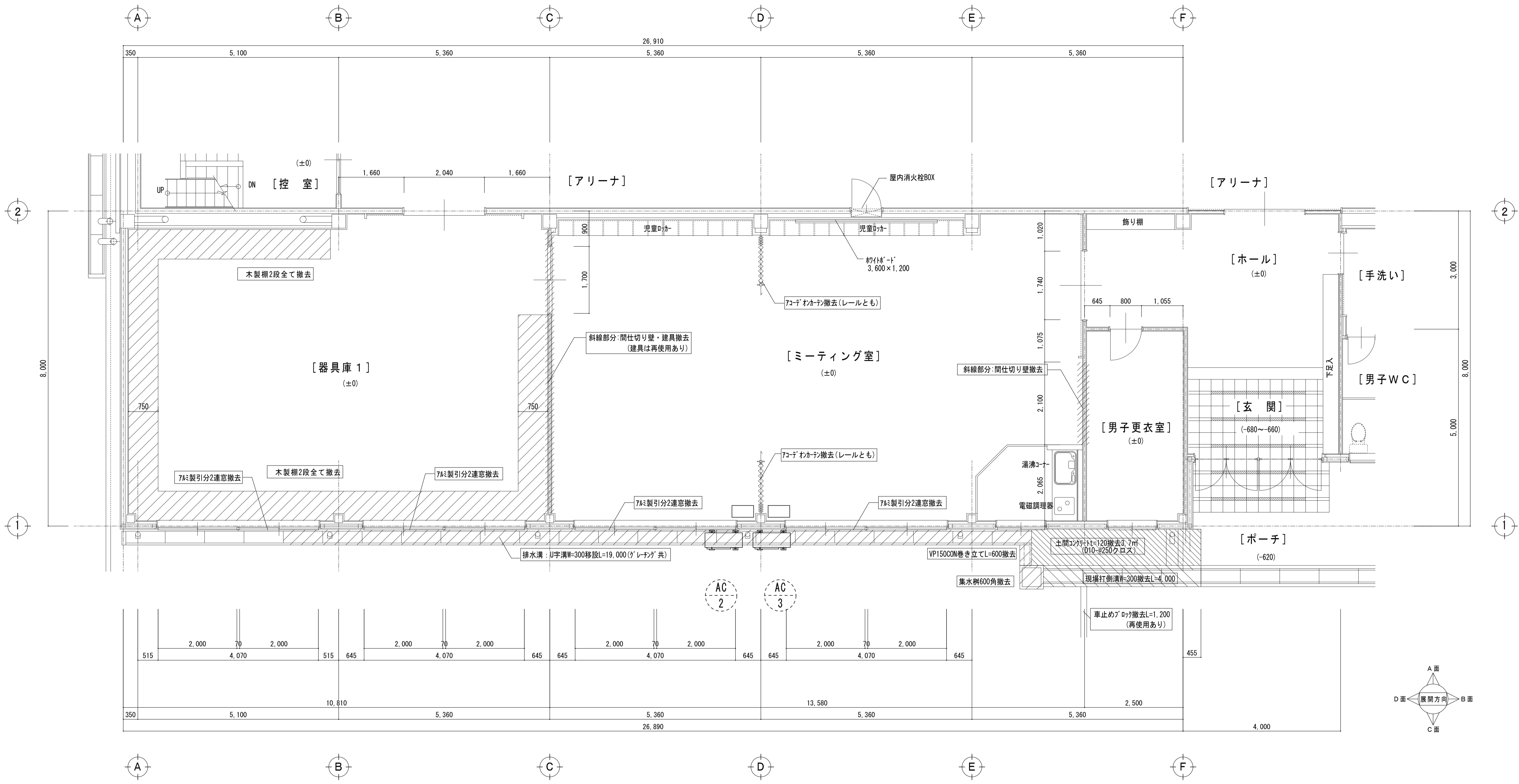
機 器 表

機器記号	名 称	機器仕様	電気特性 60HZ				設置場所 室 名	数量	参考型番	備考
			相φ	電圧V	電力	通 用				
A C-1	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン 天吊型 (寒冷地仕様)	冷房能力：標準 14.0kW 暖房能力：標準 16.0kW 冷 媒：R32φ9.6/φ15.9 付 属 品：ダクトリレーコ	3	200	8.35kw	圧縮機 FAN(外) FAN(内)	児童クラブ1 児童クラブ3	2	PCZ-HRMP160KLR	
A C-2	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン 床置型 既存品移設	冷房能力：標準 7.0kW 暖房能力：標準 8.0kW 冷 媒：R32φ9.6/φ15.9 付 属 品：本体リレーコ	1	200	3.21kw	圧縮機 FAN(外) FAN(内)	児童クラブ2	1	既存品移設	
A C-3	空冷式ヒートポンプ パッケージエアコン 床置型 既存品	冷房能力：標準 7.0kW 暖房能力：標準 8.0kW 冷 媒：R32φ9.6/φ15.9 付 属 品：本体リレーコ	1	200	3.21kw	圧縮機 FAN(外) FAN(内)	児童クラブ2	1	既存取外し再取付	

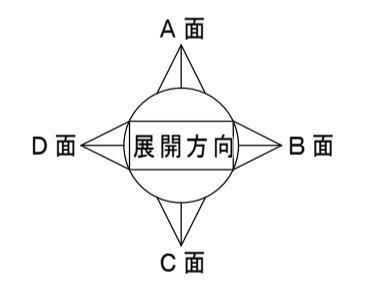
4.450	24.390	22.440	2.500
	26.890		
395.100	5.360	5.360	5.360
	5.360	5.360	5.360
	5.100	4.000	
41.350			

■ 工事範囲を示す

配 置 図 S=1:500



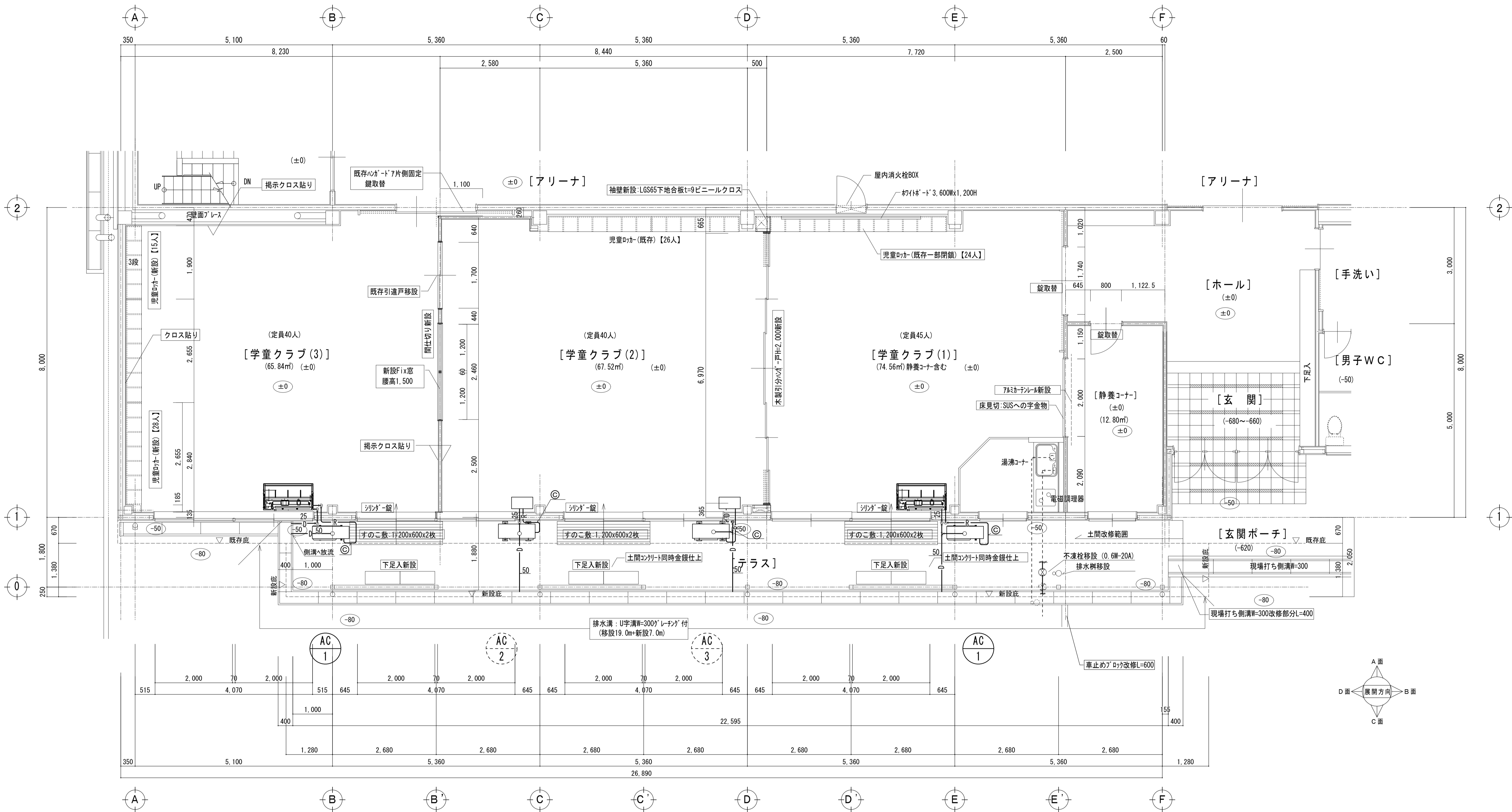
AC 2
AC 3



囲み文字は今回工事を示す

現況 機械設備平面図 1/50

MEMORANDUM	TITLE 令和元年度 学童クラブ北部教室改築工事	ITEM 現況 機械設備平面図	SCALE 1/50 A3縮小時は50%	DATE H32.2	箕輪町	SHEET NO. M-03
------------	------------------------------	--------------------	----------------------------	---------------	-----	-------------------



囲み文字は今回工事を示す

改修後 機械設備平面図 1/50

冷媒配管サイズ		
液管	ガス管	記号
6.35	9.52	(A)
6.35	12.7	(B)
9.52	15.88	(C)
9.52	25.4	(D)
12.7	25.4	(E)
15.88	28.58	(F)
15.88	31.75	(G)